

(三) 繰絲調查

品 種 名	繰 絲 法	繭 絲 長	繭 絲 織 度	添 緒 回 數	生 絲 重	生 絲 步 合	屑 物 步 合	繰 一 絲 時 間	絲 條 斑 平 均	絲 條 斑 劣 等	小 類	中 類	大 類	綜 合 點
		米	デニール	回	瓦	%	%	瓦	點	點	點	點	點	點

原蠶種管理法施行ニ關スル件

昭和十二年四月十日附
一 蠶局第五九一號蠶絲局長通牒

原蠶種管理法及同法施行規則中原種製造禁止ニ關スル規定及自家用原種製造許可ニ關スル規定等四月十五日ヨリ施行ノコトト相成候處右ハ蠶種製造者ガ同法ノ全面的施行ノ曉ニ於テ掃立ツベキ原種ノ製造ヲ爲スニ當リ用フベキ原種ノ配付請求ヲ豫メ爲スヲ要スル關係上前以テ許可ヲ與フル趣旨ニ之有候條左記御了知ノ上可然御取計相成度此段及通牒候也

追而同法第九條第二項ノ規定ハ昭和十四年ヨリ施行ノ豫定ニ有之尙右原種ノ製造ニ當リテハ別紙資格ヲ有スル原種製造ノ管理者ヲ選任セシムル豫定ニ有之候條併テ御了知相成度

記

- 一 原蠶種管理法施行規則第十五條第三號ノ「原原種ノ蠶兒ノ掃立數量及原種製造額ノ概定數ニ相當スル設備」トハ催青、蠶兒飼育、上蔭、種繭保護、發蛾調節、採種、蠶種保護等ノ目的ヲ達スル爲必要且十分ナル設備ナルコト
- 二 原蠶種管理法施行規則第十五條第七號ノ「農林大臣ニ於テ不適當ト認ムルトキ」トハ左ノ如キ場合ナルコト

原蠶種管理法施行ニ關スル件

生絲平均織度	織度偏差	織度最大偏差	再 繰	強 力	伸 度	抱 合	練 減	肉眼 檢 査
デニール	デニール	デニール	回	瓦	%	回	%	

右ノ通ニ候也

年 月 日

住 所

氏

名(名稱)印

- (一) 許可申請者ノ業務ノ經營堅實ナラザルトキ
 - (二) 許可申請者ノ信用程度甚ダシク不良ナルトキ
 - (三) 道府縣ノ蠶絲業施設ニ甚ダシク影影ヲ及ボスノ虞アルトキ
 - (四) 公益ヲ害シ又ハ害スルノ虞アルトキ
- 三 許可申請書ハ別記様式ニ依リ作成セシメ之ヲ受理シタルトキハ貴官ノ意見書及左記各號ノ事項ノ調査書ヲ添附シテ進達セラルルコト
- (一) 許可申請者ノ信用程度
 - (二) 許可申請者業務經營狀態
- 四 原蠶種管理法施行規則第十七條ノ規定ニ依ル變更許可申請書ハ別記様式ニ準ジ作成セシメ之ニ理由ヲ附記セシムルコト

様式

原種製造許可申請書

原蠶種管理法第九條第一項ノ規定ニ依リ原種ヲ製造致度候條御許可相成度此段及申請候也

年 月 日

住 所

氏

名(名稱)印

農 林 大 臣 宛

原蠶種管理法關係法規

- 一 氏名ハ名稱及住所
- 二 履歷ノ要領

注意

法人ナルトキハ其ノ定款ヲ添附スルコト

- 三 原種製造場所及原原種ノ蠶兒飼育場所、原原種ノ蠶兒ノ掃立數量及原種製造額ノ概定數、原種製造及原原種ノ蠶兒飼育ノ用ニ供スル建物ノ種類及面積並ニ構造ノ概要

原種製造場所		原種製造額概定數	
原原種ノ蠶兒飼育場所		原原種ノ蠶兒掃立數量概定數(蠶量)	
原種製造及原原種ノ蠶兒飼育ノ用ニ供スル建物	種別	蠶兒飼育ノミニ供用スルモノ	面積
		蠶兒飼育及採種ニ供用スルモノ	坪
採種ノミニ供用スルモノ	其他	面積	坪
		構造ノ概要	備考
其ノ他	面積	構造ノ概要	備考
		備考	

注意

- 一 蠶室ノ面積ハ飼育又ハ採種ニ供用スル部分ノミノ延面積ヲ記載シ其ノ他ノ建物ニ付テモ之ニ準ズルコト
- 二 「其ノ他ノ建物ノ種類」欄ニハ蠶種保護室、蠶種冷蔵庫等ニ區別シ記載スルコト
- 三 「構造ノ概要」欄ニハ木造二階建瓦葺、鐵筋コンクリート平屋建等ト記載スルコト
- 四 室ノ高サヲ備考欄ニ記載スルコト
- 五 建物ノ配置圖(縮尺二百分ノ一)及各階平面圖(縮尺

百分ノ一)ヲ添附スルコト

- 四 前號ノ原種製造場所ニ於テ製造セル原種ニ依ル普通蠶種製造場所

原種製造場所	
普通蠶種製造場所	

- 五 普通蠶種製造場所ニ於ケル原種ノ蠶兒ノ掃立數量及普通蠶種製造額ノ概定數、普通蠶種製造ノ用ニ供スル建物ノ種類及面積並ニ構造ノ概要

普通蠶種製造場所		普通蠶種製造額概定數	
原種ノ蠶兒掃立數量概定數(蠶量)		普通蠶種製造額概定數	
普通蠶種製造ノ用ニ供スル建物	種類	面積	坪
		構造ノ概要	備考
		面積	坪
		備考	

注意

三ノ注意ニ準ズルコト

原蠶種管理法施行ニ關スル件

計	夏秋蠶期	春蠶期	計	夏秋蠶期	春蠶期		

第二號

原原種配付請求書

計	夏秋蠶期	春蠶期	計	夏秋蠶期	春蠶期	時期	原原種ノ蠶兒ノ掃立	原種製造數量	原種ノ蠶兒ノ掃立
						數量	越年	不越年	普通蠶種

計	夏秋蠶期	春蠶期	計	夏秋蠶期	春蠶期	時期	原原種ノ蠶兒ノ掃立	原種製造數量	原種ノ蠶兒ノ掃立
						數量	越年	不越年	普通蠶種

右及請求候也
年 月 日

住 氏 所

名(名稱)印

蠶絲試驗場長宛

注意 普通蠶種ノ製造數量ハ原種ノ雌蛾ニ依リ之ヲ記載スベシ

原蠶種管理法施行ニ關スル件

ハ絶對ニ之ヲ使用セシメザル様配付ノ時期其ノ他ニ關シ可然措置相成度依命此段及通牒候也
追而原種製造ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シテハ右ニ違背セザル様可然指導取締相成度申添候

原種配付規程ニ關スル件

昭和十三年十二月十三日附
一三蠶局第二九九四號蠶絲局長申進

原蠶種管理法及同法施行規則中道府縣ノ行フ原種ノ製造配付ニ關スル規定其ノ他近ク施行可相成見込ニ有之候處同則第十三條ノ規定ニ依リ原種ノ配付ニ關スル規定ヲ定ムル場合ノ參考トシテ別冊原種配付規程標準及送付候條之ガ準備ニ遺憾ナキ様豫メ御手配相成度此段申進候也

原種配付規程標準

第一條 原蠶種管理法第五條第一項又ハ同法第十二條ノ規定ニ依ル原種ノ配付ハ本規程ニ依リ之ヲ行フ

第二條 本規程ニ依リ配付スベキ原種ノ料金を定メタルトキハ之ヲ告示ス

第三條 蠶種製造者原種ノ配付ヲ受ケントスルトキハ様式第一號ニ依ル請求書ヲ其ノ原種ノ蠶兒ノ掃立ヲ爲サントスル年ノ前年ノ三月三十一日迄ニ蠶業試驗場ニ提出スベシ

三 普通蠶種ヲ製造シタル後滅失、毀損其ノ他ノ事由ニ依リ之ヲ使用シ得ザルニ至リタルトキ

四 前各號ノ外特別ノ事由ニ依リ原種ノ必要ヲ生ズルニ至リタルトキ

前項ノ請求書ハ様式第一號ニ準ジ作成シ別ニ左ノ事項ヲ記載シタル理由書ヲ添付スベシ

一 事由

二 滅失又ハ毀損シタル原種ノ品種名及數量

三 蠶兒ノ掃立ヲ終リタル後普通蠶種ヲ製造スルコト能ハザルニ至リタル原種ノ品種名及數量

四 滅失、毀損其ノ他ノ事由ニ依リ使用シ得ザルニ至リタル普通蠶種ノ品種名及數量

第一項ノ規定ニ依リ原種ノ配付ノ請求アリタルトキハ蠶業試驗場長ハ遲滞ナク第四條ノ規定ニ準ジ必要ナル事項ヲ請求者ニ通知スベシ

前條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七條 本規程ニ依リ配付スル原種ハ特別ノ事由ニ依リ知事ノ認可ヲ受ケタル場合ノ外本縣外ノ蠶種製造場所ニ於テ普通蠶種ノ製造ノ用ニ供スルコトヲ得ズ

前項ノ認可ヲ受ケントスル者ハ様式第二號ニ依ル申請書ヲ知事ニ提出スベシ

原種配付規程ニ關スル件 原種配付規定標準

第四條 前條ノ規定ニ依リ原種ノ配付ノ請求アリタルトキハ蠶業試驗場長ハ配付スベキ原種ノ品種名、數量、料金、料金を納付期限、引渡期限、引渡場所其ノ他必要ナル事項ヲ請求者ニ通知スベシ

第五條 蠶種製造者前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ料金を納付期限迄ニ「料金ヲ指定ノ縣金庫ニ納入シ其ノ領收書ヲ原種ノ引渡場所ニ提示シ」(料金ニ相當スル本縣收入證紙ヲ納付書ニ貼付シ消印ヲ爲サズシテ之ヲ原種ノ引渡場所ニ提出シ)原種ノ配付ヲ受クベシ

蠶種製造者正當ノ事由ナクシテ料金を納付期限迄ニ料金を納付セズ又ハ引渡期限迄ニ原種ヲ受取ラザルトキハ原種ノ配付ノ請求ヲ取消シタルモノト看做ス
既ニ納付シタル料金を正當ノ事由アリト認ムル場合ノ外之ヲ返還セズ

第六條 蠶種製造者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ第三條ノ規定ニ拘ラズ原種ノ配付ノ請求書ヲ蠶業試驗場ニ提出スルコトヲ得

一 原種ヲ滅失又ハ毀損シタルトキ

二 原種ノ蠶兒ノ掃立ヲ終リタル後普通蠶種ヲ製造スルコト能ハザルニ至リタルトキ

第八條 蠶種製造者原蠶種管理法第十條第二項但書ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル原種又ハ原種ノ蠶兒讓渡許可申請書ヲ知事ニ提出スベシ

一 原種又ハ原種ノ蠶兒ノ別

二 品種名、原種ノ記號及番號

三 原種ヲ製造シタル道府縣及配付ヲ受ケタル道府縣

四 讓渡ノ事由

五 讓渡ノ數量(原種ノ蠶兒ノ掃立口ヲ分割シテ讓渡サントスル場合ニ於テハ掃立口ノ掃立數量及之ニ對スル割合)、價格及時期

六 讓受人ノ氏名又ハ名稱及住所

七 讓受人ノ普通蠶種製造場所及原種ノ蠶兒飼育場所

原種ノ蠶兒ヲ讓渡サントスル場合ニ在リテハ前項各號ニ掲グル事項ノ外掃立時期、掃立口ノ記號及其ノ蠶兒飼育場所ヲ記載スベシ

第一項ノ申請書ハ様式第三號ニ依リ作成スベシ

第一項及第二項ノ書類ノ外知事ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第九條 前條ノ規定ニ依リ原種又ハ原種ノ蠶兒ノ讓渡ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者前條第一項第五號及第六號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ知事ノ許可ヲ受クベシ

原蠶種管理法關係法規

右御認可相成度此段及申請候也

年 月 日

住 所
氏 所

名 (名 稱) 印

知 事 宛

注 意

認可ヲ受ケントスル原種ガ未ダ配付ヲ受ケザルモノナルトキハ「配付ヲ受ケタル時期」欄ヲ「配付請求ノ期日」ニ改メ其ノ年月日ヲ記載スベシ

第三號

原種(原種ノ蠶兒)讓渡許可申請書

一 事 由

許可ヲ受ケントスル原種(原種ノ蠶兒)

計	品 種 名	原 種		原 種 ノ 蠶 兒		讓 渡		讓 受		
		番 記 號	製 造 シ タ 道 府 縣	配 付 ヲ 受 ケ タ ル 道 府 縣	時 期 立 ノ 記 號	飼 育 場 所	數 量 價 格 時 期	住 所 及 氏 名 (名 稱)	原 種 ノ 蠶 兒 飼 育 場 所	普 通 蠶 種 製 造 場 所
					月 日			年 月		

右御許可相成度此段及申請候也

年 月 日

住 所
氏 所

名 (名 稱) 印

注 意

知 事 宛

- 一 原種ヲ讓渡サントスル場合ハ本表中「原種ノ蠶兒」欄ノ記載ヲ要セズ
- 二 讓渡數量ハ原種ナルトキハ蠶數、原種ノ蠶兒ナルトキハ掃立蠶數トス但シ掃立口ヲ分割シテ讓渡サントスル場合ニ於テハ掃立口ノ掃立數量及之ニ對スル割合ヲ記載スベシ
- 三 讓渡サントスル原種又ハ原種ノ蠶兒ガ他人ヨリ讓受ケタルモノナルトキハ讓渡人ノ住所、氏名(名稱)及讓受ケノ數量、價格並ニ年月日ヲ附記スベシ

原蠶種管理法施行ニ關スル件

昭和十四年一月十日附
一四蠶局第一五號蠶絲局長通牒

原蠶種管理法及同法施行規則中道府縣ノ行フ原種ノ製造配付、原種ノ料金及原種製造ノ許可ヲ受ケタル者ノ行フ原種ノ製造等ニ關スル規定ハ昭和十四年一月十五日ヨリ施行ノコトト相成候右ハ左記御了知ノ上取扱相成度此段及通牒候也

記

- 一 原蠶種管理法施行規則第二條第二項ノ規定ニ依ル認可申請書ハ様式第一號ニ依リ作成スルコト
- 認可申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セントスルトキハ農

原蠶種管理法施行ニ關スル件

- 二 原蠶種管理法施行規則第十四條但書ノ規定ニ依ル認可ハ蠶種製造者ガ天災、不可抗力又ハ已ムヲ得ザル事由ニ依リ當該道府縣ノ區域外ニ於テ蠶種ノ製造ヲ爲ス必要アリト認メタル場合ニ之ヲ爲ス方針ナルコト
- 三 原蠶種管理法施行規則第十八條第二項ノ規定ニ依ル原種製造ノ管理者ノ認可申請書ニハ履歷書ヲ添附セシムルコト
- 四 原蠶種管理法施行規則第二十條ノ「特別ノ事由」トハ左ノ如キ場合ナルコト

林大臣ノ承認ヲ受クルコト

原蠶種管理法關係法規

- 一 原種製造ノ許可ヲ受ケタルモ原種ヲ製造シ得ルニ至ラザルトキ
- 二 原種製造ノ業務ヲ休止シタルトキ
- 三 天災其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ依リ原種ヲ製造スルコト能ハザルトキ
- 四 故意又ハ重大ナル過失ニ因ルニ非ズシテ原種ヲ滅失又ハ毀損シタルトキ
- 前項ニ掲グル事由ニ依リ農林大臣ノ許可ヲ受ケントスル者アル場合ハ其ノ申請書ニ貴官ノ意見ヲ具シ進達スルコト
- 五 原蠶種管理法施行規則第二十四條ノ規定ニ依ル許可申請書ハ様式第三號ニ依リ作成セシメ同則第二十六條ノ規定ニ依ル許可申請書ハ様式第四號ニ依リ作成スルコト
- 六 原蠶種管理法施行規則第三十七條ノ規定ニ依ル成績書ハ様式第五號ニ依リ作成シ同則第三十八條ノ規定ニ依ル成績書ハ様式第六號ニ依リ作成セシムルコト
- 七 原蠶種管理法施行規則第三十九條第一號ノ規定ニ依ル届出ハ様式第七號ニ、同條第二號ノ規定ニ依ル届出ハ様式第八號ニ依リ同則第四十條第六號ノ規定ニ依ル届出ハ様式第九號ニ、同條第七號及第八號ノ規定ニ依

二 掃立數量及蠶種製造額ノ概定數

(イ) 掃立數量

春蠶期	夏秋蠶期	計
蛾	蛾	蛾

(ロ) 蠶種製造額

春蠶期	夏秋蠶期	計
蛾	蛾	蛾

注意

本表ハ蠶種製造場所毎ニ之ヲ記載スルコト
 三 蠶種製造又ハ蠶兒飼育ノ用ニ供スル建物ノ種類及平面積並ニ構造ノ概要

(イ) 蠶種製造場所

建物ノ種類	棟數	平面積(延)	構造ノ概要
		坪	
計			

原蠶種管理法施行ニ關スル件

様式 第一號

ル届出ハ様式第十號ニ依ラシムルコト

一八〇

一 蠶種製造場所又ハ蠶兒飼育場所

(イ) 蠶種製造場所

名	稱	所在地

(ロ) 蠶兒飼育場所

所在郡市町村字名	場所數

注意

- 一 本表ハ蠶種製造場所毎ニ之ヲ記載スルコト
- 二 「建物ノ種類」欄ニハ建物ヲ採種室、蠶種保護室、蠶種冷蔵庫等ニ區別シ記載スルコト
- 三 「構造ノ概要」欄ニハ木造二階建瓦葺、鐵筋コンクリト平屋建等ト記載スルコト
- 四 建物ノ配置圖及各階平面圖(縮尺二百分ノ一)ヲ添付スルコト

(ロ) 蠶兒飼育場所

棟數	平面積(延)	構造ノ概要
	坪	

注意

- 一 「平面積」欄ニハ蠶兒飼育ニ供用スル室ノ平面積ヲ記載スルコト
- 二 「構造ノ概要」欄ニハ木造二階建瓦葺何棟、木造平屋建茅葺何棟等ト記載スルコト

計	品 種 名	原原種ノ配付ヲ受ケタル時期	譲 渡		譲 受 人
			數 量	價 格	
		年 月	蛾	錢	年 月

二 事由

注意

- 一 原原種ノ蠶兒又ハ原原種ヨリ産出シタル繭ヲ譲渡シタル場合ハ其ノ蠶兒ノ掃立時期及飼育場所ヲ附記スルコト
- 二 譲渡數量ハ原原種ナルトキハ蛾數、其ノ蠶兒ナルトキハ掃立蛾數、原原種ヨリ産出シタル繭ナルトキハ其ノ重量(疋)トス但シ掃立口ヲ分割シテ蠶兒ヲ譲渡シタル場合ニ於テハ掃立數量及之ニ對スル割合ヲ記載スルコト
- 三 譲受人ガ蠶種製造者ナルトキハ其ノ住所及氏名(名稱)ヲ記載スルコト

第八號

計	品 種 名	記 號	製造シタル道府縣名	譲 渡		配 付
				數 量	價 格	
		番 號	道 府 縣 名	蛾	錢	年 月
				蛾	錢	年 月

(實數)

第九號

原原種(原原種ノ蠶兒)(原原種ヨリ産出シタル繭)譲渡届

計	品 種 名	原原種ノ配付ヲ受ケタル時期	原原種ノ蠶兒(原原種ヨリ産出シタル繭)	譲 渡		譲 受 人
				掃立時期	飼育場所	
		年 月	日	蛾	錢	年 月
				蛾	錢	年 月

右及届出候也

年月日

住所

氏

名(名稱)印

農林大臣宛

注意

- 一 譲渡數量ハ原原種ナルトキハ蛾數、原原種ノ蠶兒ナルトキハ掃立蛾數、原原種ヨリ産出シタル繭ナルトキハ其ノ重量(疋)トス但シ掃立口ヲ分割シテ蠶兒ヲ譲渡シタル場合ニ於テハ掃立口ノ掃立數量及之ニ對スル割合ヲ記載スルニト
- 二 譲渡シタル原原種、原原種ノ蠶兒又ハ原原種ヨリ産出シタル繭ガ他人ヨリ譲受ケタルモノナルトキハ譲渡人ノ住所及氏名(名稱)並ニ譲受ケノ年月日、數量及價格ヲ附記スルコト

原蠶種管理法施行ニ關スル件

原蠶種管理法關係法規

一 蠶種製造豫定届、蠶兒掃立届、普通蠶種製造成績書及原種製造又ハ原原種ノ蠶兒飼育用建物使用休止届ヲ左ノ各號ニ示ス處ニ依リ農林大臣ニ提出スルコト

- 様式 經由官廳 提出期限
- (一) 蠶種製造豫定届 第一號 蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル地方長官 毎年三月三十一迄
 - (二) 蠶兒掃立届 第二號 蠶兒飼育場所所在地ヲ管轄スル地方長官 掃立後十日以内
 - (三) 普通蠶種製造成績書 第三號 蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル地方長官 製造シタル年ノ翌年ノ三月三十一迄
 - (四) 原種製造又ハ原原種ノ蠶兒飼育用建物使用休止届 第四號 原種製造又ハ原原種ノ蠶兒飼育場所所在地ヲ管轄スル地方長官 休止ノ事由發生シタルトキ

蠶絲業法施行規則第五十條第二項ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ前項ノ書類ヲ提出スル者ハ昭和十一年十二月二十六日附蠶局第二一四五號通牒ニ基キ提出スル書類中蠶種製造豫定届及蠶兒掃立届ニ付テハ爾今之ヲ要セザルコト

二 原種製造、原原種ノ蠶兒飼育、原種製造及原原種ノ蠶兒飼育、原種保護並ニ原種冷蔵ノ用ニ供スル建物又ハ室ニハ様式第五號ニ依ル標札ヲ掲グルニト

三 原原種ノ蠶兒飼育場所ガ原種製造場所以外ニ在リテ之ガ管理ノ爲原種製造ノ管理者ヲ其ノ飼育場所所在地ニ駐在セシムル場合ニハ其ノ地ニ管理事務所ヲ設クルコト

前項ノ管理事務所ニハ様式第六號ニ依ル標札ヲ掲グルコト

四 原種製造又ハ原原種ノ蠶兒飼育ノ用ニ供スル建物ニ關シ設計書ニ依リ變更ノ許可ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ其ノ建物ノ配置圖、各階平面圖、建圖、斷面圖及仕様書各二通ヲ添付スルコト

前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者（設計書ニ依リ原種製造ノ許可ヲ受ケタル者ヲ含ム）ハ該建物完成シタルトキハ其ノ建物ノ各階平面圖及仕様書各二通ヲ添付シタル工事竣工届ヲ遲滞ナク農林大臣ニ提出スルコト

前項ニ依リ提出スベキ工事竣工届ハ其ノ建物ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スルコト

様式 第一號

蠶種製造豫定届（提出期限 毎年三月三十一日）
蠶種製造場所

計	夏秋蠶期	春蠶期	原種製造額豫定數			普通蠶種製造額豫定數		
			越年	不越年	計	越年	不越年	計
			蛾	蛾	蛾	蛾	蛾	蛾

右及届出候也
年 月 日

住 所
氏

名 (名 稱) 印

農 林 大 臣 宛

備考

本表ハ蠶種製造場所別ニ之ヲ作成スルコト

自家用原種製造ニ關スル件

原蠶種管理法關係法規

第二號

蠶兒掃立屆(提出期限 掃立後十日以内)

一 原 原 種

蠶兒飼育場所	飼育擔當者	掃立口數	品種名	掃立月日	掃立蛾數	掃立蟻量
				至自 月 月 日 日	蛾	瓦
計						

二 原 種

蠶兒飼育場所	場所數	掃立口數	品種名	掃立月日	掃立蛾數	掃立蟻量
縣都市町村名				至自 月 月 日 日	蛾(瓦)	瓦
計						

住所
氏 所

名(名稱)印

右及届出候也
年 月 日

農林大臣宛

第三號

普通蠶種製造成績書(提出期限 製造シタル年ノ翌年ノ三月三十一日)

蠶種製造場所

計	原種ノ配付 ヲ受ケタル 期及數量	原種ノ 越年ノ 別	原種ノ 掃立 數量	原種ノ 蠶兒飼育 收滿數量	交配形式	越年ノ別			普通蠶種製造			
						合格	不合格	其他	合格	不合格	其他	
	時期 年月	數量 蛾	時期 年月	總額 收滿		越年 計	越年 計	越年 計	越年 計	越年 計	越年 計	越年 計
						不越年 計	不越年 計	不越年 計	不越年 計	不越年 計	不越年 計	不越年 計

右及報告候也
年 月 日

住所
氏 所

名(名稱)印

農林大臣宛

備考

自家用原種製造ニ關スル件

原蠶種管理法關係法規

- 一 本表ハ蠶種製造場所別ニ之ヲ作成スルコト
- 二 原原種ノ配付ヲ受ケタル時期ヲ異ニスル毎ニ別行ニ記載スルコト
- 三 左ノ場合ニ該當スルモノアルトキハ本表ニ準ジ各別ニ之ヲ作成シ且其ノ旨ヲ記載スルコト
 - (一) 原原種、原原種ノ蠶兒又ハ原原種ヨリ産出シタル繭ヲ譲受ケ製造シタル原種ヲ用ヒテ普通蠶種ヲ製造シタルトキ
 - (二) 道府縣ヨリ原種ノ配付ヲ受ケ普通蠶種ヲ製造シタルトキ
 - (三) 原種製造ノ許可ヲ受ケタル者ノ製造シタル原種又ハ其ノ蠶兒ヲ譲受ケ普通蠶種ヲ製造シタルトキ
 - (四) 道府縣ヨリ配付セラレタル原種又ハ其ノ蠶兒ヲ譲受ケ普通蠶種ヲ製造シタルトキ
 - (五) 原種ヨリ産出シタル繭ヲ譲受ケ普通蠶種ヲ製造シタルトキ
- 四 普通蠶種ノ製造數量ハ原種ノ雌蛾ニ依リ之ヲ記載スルコト

第四號

原種製造（原原種ノ蠶兒飼育）用建物使用休止届

（提出期限 休止ノ事由發生シタルトキ）

原種製造（原原種ノ蠶兒飼育）場所所在地	蠶室平面積 坪	休止期間	休止ノ事由

右及届出候也
年 月 日

住所 氏

名（名稱）印

農林大臣宛

第五號

原種製造場所

（原原種ノ蠶兒飼育場所）（原種製造及原原種ノ蠶兒飼育場所）（原種保護室）（原種冷蔵庫）

縦二〇糎以上
横五糎以上

第六號

原原種ノ蠶兒飼育管理事務所 住所

氏（名稱）

縦四〇糎以上
横一〇糎以上

家用原種製造ニ關スル件

自家用原種製造ニ關スル件

昭和十四年三月十八日蠶業課長申進
標記ノ件ニ關シテハ本日別途蠶絲局長ヨリ之ガ取扱方ニ付
通牒相成候處尙左記事項御了知相成度此段申進候也

- 一 原蠶種管理法施行規則第三十八條ノ規定ニ依リ提出ス
ベキ原種製造成績書(昭和十四年一月十日附蠶局第一五
號地方長官宛蠶絲局長通牒左記六參照)ハ蠶種製造場所
別ニ記載スルコト
- 二 原種製造成績書及普通蠶種製造成績書中收繭數量ノ種
繭欄ニハ原種又ハ普通蠶種ノ製造ノ用ニ供シタル數量ニ
付テノミ記載スルコト
- 三 蠶種製造豫定届、蠶兒持立届、原種製造成績書及普通
蠶種製造成績書ハ原蠶種管理法ニ基キ配付ヲ受ケ又ハ製
造シタル蠶種ニ付記載スルコト

蠶品種改良獎勵規則

昭和十五年四月二十七日農林省令第二十三號

第一條 農林大臣ハ蠶品種ノ改良事業ヲ獎勵スル爲本則ニ

ニ前年度ノ事業成績及收支決算ヲ記載シタル書類ヲ農林
大臣ニ提出スベシ

第八條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當ス
ル場合ニ於テハ農林大臣ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ全部
又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本則ノ規定ニ違反シタルトキ
 - 二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
 - 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
 - 四 支出額ガ豫算額ニ比シ減少シタルトキ
- 第九條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ道府縣ヨ
リ提出スルモノヲ除クノ外地方長官ヲ經由スベシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五條中二月末日迄トアルハ昭和十五年度ニ限り五月十五
日迄トス

依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付シ又ハ褒狀
及表彰金ヲ授與ス

第二條 獎勵金ハ道府縣及農林大臣ノ適當ト認ムル者ノ試
驗場、學校其ノ他ノ施設ニ於テ行フ蠶品種選出育成事業
ニ要スル費用ニ對シ之ヲ交付ス

第三條 褒狀及表彰金ハ優良蠶品種ノ選出育成ヲ爲シタル
者ニ對シ之ヲ授與ス

第四條 獎勵金ノ額ハ道府縣ニ對シテハ其ノ費用ノ三分ノ
二以内、其ノ他ノ者ニ對シテハ其ノ費用ノ二分ノ一以内
トス

第五條 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ノ事
項ヲ記載シタル書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ之ヲ農林
大臣ニ提出スベシ

一 事業計畫

二 收支豫算

前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類及物料ノ提
出ヲ命ズルコトアルベシ

第六條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者前條第一項ノ書類ニ記
載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林
大臣ノ認可ヲ受クベシ

第七條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ翌年度六月三十日迄

第三章 蠶絲試驗場及道府縣蠶業試驗場關係法規

蠶絲試驗場官制

大正三年六月十七日勅令第二百三十三號
 改正正正正正正正正正正正正正正正正正
 昭昭和和和和和和和和和和和和和和和和和
 十三年五月勅令第三百二十八號
 二年三月勅令第三百二十三號
 九年三月勅令第三百二十三號
 八年三月勅令第三百二十三號
 七年三月勅令第三百二十三號
 六年三月勅令第三百二十三號
 五年三月勅令第三百二十三號
 四年三月勅令第三百二十三號
 三年三月勅令第三百二十三號
 二年三月勅令第三百二十三號
 元年三月勅令第三百二十三號

第一條 蠶絲試驗場ハ農林大臣ノ管理ニ屬シ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 栽桑、養蠶、蠶種製造、製絲其ノ他蠶絲業ニ關スル試驗及調査
- 二 原蠶種ノ製造及配付
- 三 桑ノ接穂及苗木ノ生産及配付
- 四 桑葉、繭、絹纖維、製絲用水其ノ他蠶絲業ニ關係アル物料ノ分析

蠶絲試驗場官制

五 講習及講話

第二條 蠶絲試驗場ニ左ノ職員ヲ置ク

場長 一人ヲ勅任ト爲ス

技師 專任 二十二人 奏任
 技手 專任 三十七人 判任

第三條 場長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ農林大臣ノ指揮監督ヲ承ケ場中全般ノ事務ヲ掌理ス

第四條 技師ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第五條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス

第六條 屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第七條 農林大臣ハ必要ト認ムル地ニ蠶絲試驗場支場又ハ其ノ出張所ヲ置キ本場ノ事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

第八條 蠶絲試驗場ノ位置並支場及出張所ノ位置及名稱ハ農林大臣之ヲ定ム

附 則
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 原蠶種製造所官制ハ之ヲ廢止ス
 本令施行ノ際現ニ原蠶種製造所技師、技手又ハ書記ノ職ニ在ル者別ニ辭令書ヲ交付セラレサルトキハ各蠶業試驗場技師、技手又ハ書記ニ同官等俸給ヲ以テ任セラレタルモノトス

蠶絲試驗場ノ位置並ニ支場及出張所ノ位置及名稱

大正三年六月十七日農商務省告示第百八十號
 改正 大正十三年十二月同第百八十一號
 改正 大正十三年十二月同第百八十二號
 改正 昭和七年十一月農林省告示第百五十二號
 改正 昭和九年十二月同第百五十三號
 改正 昭和十二年五月同第百七十三號

名	稱	位	置
蠶絲試驗場	東京市杉並區高圓寺二丁目		
蠶絲試驗場福島支場	福島縣福島市		
蠶絲試驗場松本支場	長野縣松本市		
蠶絲試驗場熊本支場	熊本縣熊本市		
蠶絲試驗場前橋支場	群馬縣前橋市		
蠶絲試驗場綾部支場	京都府何鹿郡綾部町		
蠶絲試驗場明石支場	兵庫縣明石市		
蠶絲試驗場宮崎支場	宮崎縣宮崎市		
蠶絲試驗場新庄支場	山形縣最上郡新庄町		
蠶絲試驗場武豊支場	愛知縣知多郡武豊町		
蠶絲試驗場福島支場	福島縣信夫郡飯坂町及中野村地		
出張所			

蠶絲試驗場附屬試育所ノ位置及名稱

大正十三年十二月二十日農商務省告示第百八十二號
 改正 昭和六年十二月同第百七十三號
 改正 昭和九年五月同第百七十四號

名	稱	位	置
蠶絲試驗場小淵澤試育所	山梨縣北巨摩郡小淵澤村		
蠶絲試驗場沖繩試育所	沖繩縣島尻郡眞和志村		
蠶絲試驗場臺灣試育所	臺灣新竹州大湖郡大湖庄		

蠶絲試驗場處務規程

- 大正三年十月七日農商務省訓令第十號
 改正 大正七年七月同第百九十三號
 改正 大正八年九月同第百九十五號
 改正 大正十三年十二月同第百九十七號
 改正 昭和五年三月農林省訓令第二號
 改正 昭和十二年二月農林省訓令第一號
- 第一條 蠶絲試驗場ニ左ノ部課ヲ置ク
 - 一 桑樹部
 - 一 生理部
 - 一 病理部
 - 一 製絲部

一 化學部
 一 蠶種部
 一 庶務課

- 第二條 桑樹部ニ於テハ桑樹ニ關スル試驗調査及講習講話ノ事務ヲ掌ル
- 第三條 生理部ニ於テハ蠶ノ種類並生理ニ關スル試驗調査及講習講話ノ事務ヲ掌ル
- 第四條 病理部ニ於テハ蠶ノ病理ニ關スル試驗調査及講習講話ノ事務ヲ掌ル
- 第五條 製絲部ニ於テハ製絲並ニ組織維ニ關スル試驗調査及講習講話ノ事務ヲ掌ル
- 第六條 化學部ニ於テハ蠶絲ニ關スル化學的試驗調査、分析及講習講話ノ事務ヲ掌ル
- 第七條 蠶種部ニ於テハ原蠶種ノ製造配付及原蠶種ニ關スル講習講話ノ事務ヲ掌ル
- 第八條 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 官印ノ保管ニ關スル事項
 - 二 場員ノ進退身分ニ關スル事項
 - 三 場内取締ニ關スル事項
 - 四 文書ノ接受、發送及保管ニ關スル事項
 - 五 豫算及決算並ニ會計ニ關スル事項

蠶絲試驗場處務細則

- 大正三年十月七日蠶達第二號
 改正 大正九年四月同第百九號
 改正 昭和五年三月同第百四號
 昭和十二年二月同第百四號
- 第一條 桑樹部ノ主掌事務左ノ如シ
 - 一 桑樹ニ關スル試驗及調査
 - 第二條 生理部ノ主掌事務左ノ如シ
 - 一 蠶ノ種類及生理ニ關スル試驗及調査

- 二 氣象ノ觀測ニ關スル事項
- 第三條 病理部ノ主掌事務左ノ如シ
 - 一 蠶ノ病理消毒其ノ他蠶病豫防ニ關スル試驗及調査
 - 二 桑樹ノ病蟲害ニ關スル試驗及調査
 - 三 蠶種ノ検査ニ關スル事項
- 第四條 製絲部ノ主掌事務左ノ如シ
 - 一 製絲並ニ絹織維ニ關スル試驗及調査
- 第五條 化學部ノ主掌事務左ノ如シ
 - 一 蠶絲業ニ關スル化學的試驗、調査及分析
- 第六條 蠶種部ノ主掌事務左ノ如シ
 - 一 蠶種ノ製造保護及配付ニ關スル事項
- 第七條 庶務課ノ主掌事務左ノ如シ
 - 一 文書ノ受授、發送及保管ニ關スル事項
 - 二 場員ノ進退出張ニ關スル事項
 - 三 官印ノ保管ニ關スル事項
 - 四 會計事務ニ關スル事項
 - 五 物品會計ニ關スル事項
 - 六 國有財産ニ關スル事項
 - 七 事務報告成案並編纂ニ關スル事項
 - 八 報告類ノ保管ニ關スル事項
 - 九 圖書類ノ保管ニ關スル事項

- 十 統計ニ關スル事項
- 十一 場内取締ニ關スル事項
- 十二 傭人ノ傭罷ニ關スル事項
- 十三 不用品ノ處分ニ關スル事項
- 十四 他部ノ主掌ニ屬セサル事項
- 第八條 委託試驗、講習、講話、標本及事業報告成案並編纂ニ關スル事務ハ其ノ管掌ニ從ヒ各部ニ於テ之ヲ掌ル
- 第九條 文書ノ接受、發送ハ庶務課ニ於テ之ヲ取扱フベシ
- 第十條 本場ニ到達スル文書ハ掛員ニ於テ接受シ親展文書ヲ除クノ外之ヲ開封シ簿冊ニ登錄シタル後場長ノ指揮ヲ受ケ之ヲ各部主任又ハ庶務課長ニ配付スベシ
- 第十一條 文書ニ金券印紙又ハ物品等ヲ添附シタルモノアルトキハ其ノ旨ヲ簿冊ニ登錄シ文書ト共ニ配付スベシ
- 第十二條 各部主任又ハ庶務課長文書ヲ受ケタルトキハ之ヲ査閲シ處分ノ要旨ヲ示シテ掛員ニ交付シ其ノ處分案ヲ作ラシメ重要ナルモノニ就テハ部課中回議ノ上庶務課長ニ回付スベシ
- 發議ヲ要スルトキ亦前項ニ同シ
- 第十三條 庶務課長前條ノ文書ヲ受ケタルトキハ場長ノ決裁ヲ受ケ掛員ヲシテ其ノ處理ヲ爲サムベシ
- 第十四條 各部主任又ハ庶務課長ニ於テ接受シタル文書ハ

- 連クトモ接受ノ日ヨリ五日以内(休暇日ヲ除ク)ニ之ヲ處理スベシ
- 事件ノ種類ニ依リ前項ノ期限内ニ處理シ難キモノアルトキハ場長ノ許可ヲ受クベシ
- 第十五條 文書掛員ニ於テ發送ヲ要スル文書ヲ受ケタルトキハ即日淨書校正ヲ爲シ簿冊ニ登錄ノ上發送スベシ但シ文書輻輳シテ即日施行シ難キトキハ場長ノ指揮ヲ受ケ之ヲ處理スベシ
- 第十六條 文書ニ添附スベキ附屬書又ハ圖表等ハ主務部課ニ於テ調製スベシ
- 第十七條 場員名ヲ以テ發送スル文書ハ其ノ封筒ニ所屬ノ部主任又ハ課長ノ檢印ヲ受クベシ
- 第十八條 文書ハ部課ノ名ヲ以テ發送スルコトヲ得ス
- 第十九條 秘密文書ニシテ發送ヲ要スベキモノハ庶務課長ニ於テ淨書檢印ヲ爲シ封緘ノ上發送ノ手續ヲ爲スベシ
- 第二十條 文書ハ完結ノ都度類別ニ依リ會計ニ關スル文書ハ會計年度毎ニ其ノ他ノ文書ハ曆年度毎ニ之ヲ一括編綴スベシ但シ一事件ニシテ翌年度ニ連續スルモノハ完結ノ年ニ於テ編綴スベシ
- 第二十一條 文書ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ保存スベシ
 - 第一類 永久保存 諸達其ノ他例規徵證ニ徵スベキ文書

- 並報告材料及調査參考ニ供スベキ文書
- 第二類 二十ヶ年保存 會計ニ關スル文書
- 第三類 七ヶ年保存 例規ニ依リ處理シタルモノ
- 第四類 一ヶ年保存 一時限リ處辨ニ關スルモノ
- 第二十二條 文書保存期間ハ處分完結ノ翌年ヨリ起算ス其ノ期間滿了シタルトキハ庶務課長之ヲ調査シ關係部主任ニ合議ノ上場長ノ決裁ヲ得テ廢棄ノ手續ヲ爲スベシ
- 第二十三條 保存文書貸附期間ハ特別ノ理由アルモノノ外三十日以内トシ貸附ノ際證書ヲ徵スベシ
- 第二十四條 圖書ハ掛員ニ於テ受入、貸借其ノ他諸般ノ整理ヲ爲スベシ
- 圖書保管規定ハ別ニ之ヲ定ム
- 第二十五條 物品ノ購入、修繕又ハ傭人ノ雇入ヲ要スルトキハ物品取扱主任ニ於テ其ノ員數、理由ヲ記シ關係部主任ノ檢印ヲ受ケ庶務課長ニ回付スベシ
- 第二十六條 庶務課長ニ於テ前條ノ書類ヲ受ケタルトキハ場長ノ決裁ヲ得テ購入修繕又ハ傭人ノ手續ヲ爲スベシ
- 第二十七條 物品取扱主任ハ其ノ主管ノ物品ニ就キ毎年二月物品會計官更立會ノ上臺帳ニ就キ現品ヲ照査スベシ
- 第二十八條 場員出勤後直ニ出勤簿ニ捺印スベシ
- 第二十九條 場員退職ノトキハ各自其ノ取扱ノ書類物品ヲ

收藏シ重要ナル印鑰ノ類ハ宿直員ニ其ノ保管ヲ託スベシ
第三十條 場員病氣其ノ他己ムヲ得ザル事故ニ依リ缺勤ス
ルトキハ即日其ノ旨場長ニ届出ツベシ但シ病氣缺勤一週
間以上ニ涉ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘテ届出ツベシ爾
後二週間毎ニ亦同ジ

第三十一條 場員出張シタルトキハ歸着後直ニ口頭ヲ以テ
概要ヲ復命シ且復命書ヲ一週間以内ニ場長ニ差出スベシ
若シ一週間以内ニ差出シ難キ事情アルトキハ其ノ旨場長
ニ届出ツベシ又特ニ大臣ヨリ命令アリタルトキハ場長ヲ
經テ大臣ニ復命スベシ

第三十二條 場員旅費ノ概算渡ヲ受ケタルトキハ歸着後七
日以内ニ精算書ヲ差出スベシ

第三十三條 場員ヨリ大臣ニ提出スベキ願、伺、届等ハ場
長ヲ經由スベシ

第三十四條 養蠶期中ハ總テ休暇ヲ廢ス但シ休暇ヲ得ムト
スルモノハ其ノ事由ヲ具シ場長ノ許可ヲ受クベシ

第三十五條 一般執務時間ノ外場員執務時間ノ増加並備人
ノ服務時間及休日ハ別ニ之ヲ定ム

第三十六條 宿直ハ判任官以下ノ場員輪番ニ之ヲ勤務スベ
シ
宿直規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四條 支場長ハ左ニ掲グル事項ヲ專決處理スルコトヲ得
但シ特ニ重要ノ關係アルモノ又ハ事ノ異例ニ屬スルモノ
ハ此ノ限ニ在ラズ

一 場員ノ受驗、看護歸省、墓參、轉地療養、旅行願及
除服出仕ニ關スル件

二 場員ノ大正十一年閣令第六號ノ規定ニ依ル休暇ニ關
スル件

三 場員ノ十四日以内ノ内國出張ニ關スル件

四 常備人ノ備罷及給與ニ關スル件

五 圖書、印刷物又ハ標本等ノ領收ニ關スル件

六 五百圓ヲ超エザル印刷物ノ調製、物件ノ賣買、貸借、
運搬又ハ職工、人夫ノ雇傭ニ關スル件

七 建物其ノ他ノ營造物ニシテ二百圓ヲ超エザル修繕ニ
關スル件

八 價格二百圓ヲ超エザル物品ノ亡失又ハ毀損ニ關スル
件但シ故意又ハ怠慢ニ因ルモノヲ除ク

九 本場及支場相互間ニ於ケル物品ノ保管轉換ニ關スル
件

十 場員ノ受託出張ニ關スル件

第五條 支場長ハ前條第三號、第四號及第八號ノ事項ヲ處
理シタルトキハ其ノ都度場長ニ報告スベシ

蠶絲試驗場支場處務規程 蠶絲試驗場桑ノ接穗及苗木配付規程

第三十七條 看護歸省、墓參、轉地療養又ハ旅行ヲ爲サム
トスルトキハ其ノ事由、日數、旅行先ヲ明記シ場長ノ許
可ヲ受クベシ但シ轉地療養ノ場合ニハ醫師ノ診斷書ヲ添
附スベシ

第三十八條 忌服ヲ受ケタルモノハ其ノ續柄ヲ記載シ届出
ツベシ

蠶絲試驗場支場處務規程

昭和十年一月三十一日一〇蠶達第三號
改正 昭和十二年二月一二同 第三號

第一條 蠶絲試驗支場ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 桑樹ノ試驗ニ關スル事項

二 蠶種ノ試驗ニ關スル事項

三 養蠶ノ試驗ニ關スル事項

四 原蠶種ノ製造ニ關スル事項

五 桑樹及蠶ノ試驗委託ニ關スル事項

六 講習講話ニ關スル事項

第二條 支場長事故アルトキハ部下ノ官吏ヲシテ其ノ事務
ヲ代決セシムルコトヲ得

第三條 支場長ハ主管事務ニ付官廳其ノ他ニ照會往復スル
コトヲ得

支場長受託出張ヲ許可シタルトキハ出張事項及旅費ノ概
算、申請者ヲ場長ニ報告スベシ

第六條 支場長ハ場員ノ事務分擔ヲ定メ場長ノ承認ヲ受ク
ベシ

第七條 支場長會計事務規程第二十七條ニ依リ物品取扱主
任ヲ命ジタルトキハ其ノ都度場長ニ報告スベシ

第八條 支場長ハ前年度ノ事業成績ヲ編纂シ四月十五日迄
ニ場長ニ報告スベシ

附 則
本規程ハ出張所、試育所、桑園ニ之ヲ準用ス
大正十四年三月一四蠶達第三號出張所處務規程ハ之ヲ廢止
ス

蠶絲試驗場桑ノ接穗及苗木配付規程

大正十二年三月七日農商務省告示第五二號
改正 大正十四年一月一七號
昭和十二年二月農林省告示第四七號

第一條 蠶絲試驗場ニ於テ生産スル桑ノ接穗及苗木ハ道府
縣ノ蠶業試驗場又ハ之ニ相當スル機關ニ對シ無償ニ之
ヲ配付ス

第二條 前條ニ依リ配付スベキ桑ノ接穗及苗木ノ品種左ノ
如シ

國桑第拾參號

國桑第七拾號

- 第三條 桑ノ接穂又ハ苗木ノ配付ヲ受ケムトスルモノハ毎年十一月末日迄ニ蠶絲試驗場ニ請求書ヲ提出スベシ
- 第四條 蠶絲試驗場長ハ一月末日迄ニ配付スベキ品種名及數量ヲ決定シ之ヲ前條ノ請求者ニ通知スベシ
- 第五條 桑ノ接穂又ハ苗木ノ配付ヲ受ケタルモノハ之ヲ親木トシテ接穂又ハ苗木ヲ生産配付シ様式第一號ニ依リ配付ノ成績ヲ蠶絲試驗場ニ報告スベシ
- 第六條 新品種ノ桑ノ接穂又ハ苗木ノ配付ヲ受ケタルモノハ各品種毎ニ第二號様式ニ依リ其ノ成績ヲ蠶絲試驗場ニ報告スベシ

様式第一號

桑ノ接穂(苗木)配付成績

- 一 品種別配付者數
- 一 品種別數量

様式第二號

栽植調査

- 一 發芽期
- 一 葉質
- 一 節間
- 一 落葉期

一月三十一日迄ニ様式第一號ニ依リ請求書ヲ蠶絲試驗場ニ差出スベシ

第三條 蠶絲試驗場長ハ第一條ニ依リ配付スベキモノト決定シタルモノニ對シ十一月三十日迄ニ其ノ品種、蛾數、代金納付期限、引渡期限及引渡場所ヲ通知スベシ

第四條 蠶種ハ組合セテ之ヲ配付ス但シ特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 配付スベキ原蠶種ノ品種、其ノ組合セ及價格ハ別ニ之ヲ告示ス

第六條 第一條ニ依リ蠶種ノ配付ヲ受ケタルモノハ之ヲ原種トシテ蠶種ヲ製造配付シ配付決定後遲滞ナク様式第三號ニ依リ報告書ヲ蠶絲試驗場ニ差出スベシ

第七條 第一條ニ依リ配付ヲ受ケタル蠶種新品種ナルトキハ一種ニ付五蛾以上交雜シタル蠶種ヲ製造シ且之ヲ飼育シ各品種ニ付普通繭五十顆ヲ添附シ飼育終了後二箇月以内ニ様式第二號ニ依リ報告書ヲ蠶絲試驗場ニ差出スベシ

様式第一號

蠶種配付請求書

蠶絲試驗場蠶種配付規程

備考

- 一 本調査ハ栽植第二年日ニ於テ行フコト
- 二 發芽期ハ芽ノ半數開口狀ニ達シタル月日
- 三 葉質ハ春蠶第五齡期ニ於ケル厚薄硬軟等
- 四 節間ハ發育中様ノ技條ニ付春蠶第五齡期ニ於テ中央ヨリ上方十節間ノ長サ
- 五 落葉期ハ自然ニ半數落葉シタル月日
- 六 對照ノ爲栽植地附近ニ於ケル市平種ニ付前五項ヲ調査記載スルコト
- 七 本調査ハ同一品種ニ付テハ一回ニテ足ル

蠶絲試驗場蠶種配付規程

- 第一條 蠶絲試驗場ニ於テ製造スル一代交雜蠶種用原蠶種又ハ交雜原蠶種用原蠶種ハ道府縣ノ蠶業試驗場又ハ之ニ相當スル機關ニ對シ有償ニテ之ヲ配付ス
- 第二條 前條ニ依リ蠶種ノ配付ヲ受ケムトスルモノハ毎年

改正	大正三年十二月二十九日農商務省告示第三四四號
改正	大正五年二月
改正	大正六年三月
改正	大正十一年一月
改正	大正十四年一月
改正	昭和九年十二月
改正	昭和十二年二月

 同 農林省告示第四五九號
 同 農林省告示第四七號

一 國蠶何號ト國蠶何號トノ一代交雜蠶種何蛾(又ハ國蠶何號トノ國蠶何號トノ原蠶種何蛾)

一 何々 各何蛾(同上)

一 何々 各何蛾(同上)

右ノ蠶種飼育致度候條御配付相成度此段及請求候也

年月日

請求者 氏 名

様式第二號

蠶絲試驗場長宛

飼育成績

- 一 品種名
 - 一 掃立蛾數又ハ蠶量
 - 一 飼育成績ノ大要

(蠶兒ノ發育、經過日數、給桑量、飼育中並上簇後減蠶數等可成詳細ニ記載スベシ)
 - 一 各齡中ノ天候並濕度ノ大要
 - 一 收繭量、普通繭、同功繭、屑繭ノ重量並顆數
 - 一 繭調査

普通繭一升ノ重量(上簇後八日)及顆數、普通繭百斤ノ顆數及繭層量(上簇後八日)
- 備考
- 一 第一條ノ原蠶種ニ依リ交雜シタル蠶種ノ場合ニハ「飼育成績」ヲ「交雜シタル蠶種ノ飼育成績」トナ

ル者

(ニ) 三箇年以上器械製絲ニ從事シ現ニ教婦ノ職ニア
ル者若ハ將來教婦ヲラントスル者

第七條 左記ノ者ハ入場ヲ許サズ

- 一 傳染性疾患アル者
- 二 身體發育不完全ニシテ作業ニ堪ヘザル者
- 三 精神ニ異狀アル者若ハ言語ノ障礙甚ダシキ者
- 四 視力又ハ聽力ニ障碍アル者

第八條 志願者ハ第壹號及第貳號書式ニヨル自筆ノ願書並
ニ履歷書ニ第參號書式ノ推薦書、戶籍抄本及第四號書式
ノ身體検査證ヲ添ヘ指定ノ期日迄ニ之ヲ本場ニ差出スベ
シ

第九條 志願者ニ對シ銓衡ノ上假入場ヲ許可シ更ニ本場ニ
於テ學力及技術ノ試験並ニ身體検査ヲ行ヒタル上入場ヲ
許可ス

第十條 假入場許可ノ通知ヲ受ケタル者ハ直チニ本場宛請
書ヲ差出スベシ

第十一條 講習生ハ入場後十日以内ニ第五號書式ニヨリ保
證書ヲ認メ之ヲ本場ニ差出スベシ保證人ノ一名ハ入場者
ヲ推薦シタル工場主若ハ團體代表者又ハ入場者ノ父兄タ
ルベク一名ハ東京市若ハ其隣接町村ニ住シ本場ニ於テ適

當ト認メタル者タルベシ

第十二條 講習ヲ終リタルトキハ試験ヲ行ヒ合格者ニハ修
得證書ヲ授與ス

第十三條 講習生ニシテ品行不良若ハ修得ノ見込ナシト認
メタル者ハ之ヲ退場セシム

(第壹號書式)

志願書

私儀今般御場煮繭分業沈繰法講習生志願ニ付入場御許可
相成度別紙履歷書、推薦書、戶籍抄本及身體検査證相添
ヘ此段相願候也

年月日

本籍地

住所(何製絲場主又ハ組合長)

氏名

年月日生

(第貳號書式)

履歷書

本籍地
住所(何製絲場主又ハ組合長)
住所(戶主又ハ戶主トノ續柄)
氏名

氏名

(第四號書式)

身體検査證

現住所

氏名

年月日生

- 一 何年何月何學校又ハ何某ニ就キ何々修業或ハ卒業
- 一 何年何月何學校何講習所若ハ何講習會ニ於テ製絲ニ
關スル學理又ハ技術ノ講習ヲ受ケ或ハ卒業證書ヲ受ケ
- 賞
- 一 何年何月ヨリ何製絲場ニ於テ者繭又ハ繰絲ニ從事ス
- 一 何年何月何所ニ於テ何々ノ職ニ從事ス
- 賞
- 一 何年何月何所ニ於テ何々賞罰ヲ受ケ
- 右之通相違無之候也

年月日

右

氏名印

(第參號書式)
推薦書

現住所

氏名

今般右之者貴場煮繭分業沈繰法講習生志願ノ處適當ノ者
ト認メ候ニ付推薦候也

年月日

蠶絲試驗場分業煮繭沈繰法講習規程(蠶絲試驗場內規)

(第五號書式)

保證書

本籍地
住所(何製絲場主又ハ組合長)
住所(戶主又ハ戶主トノ續柄)
住所(何製絲場主又ハ組合長)
氏名

住所

醫師氏名印

右ノ者今般御場煮繭分業沈線法講習生トシテ入場御許可
相成候ニ就テハ御規則堅ク遵守セシムベキハ勿論專心勉勵
可爲致候尙又本人在場中ニ係ル一切ノ事件ハ私共ニ於テ引
受可申仍テ保證書差出候也
年 月 日

住所 何製絲場主(何團體
代表者)又ハ父兄
保證人 氏 名印
住所 氏 名印
保證人 氏 名印

蠶絲試驗場分析手数料ノ件

大正九年二月二十日勅令第二〇號
改正 大正十一年四月勅令第二一五號
改正 昭和十二年一月勅令第四號
第一條 蠶絲試驗場ニ分析ノ依頼ヲ爲ス者ハ左ノ區別ニ從
ヒ手数料ヲ納ムベシ
一 水分又ハ灰分全量ノ定量分析 每一件五十錢
二 前號以外ノ定量分析每一件一成分三圓一成分ヲ増ス
毎ニ二圓ヲ加フ

- ルトキハ第二號書式ニ準ジ手数料納付書ヲ作り大正九年
勅令第三十號ニ依ル相當收入印紙ヲ貼付シテ差出スベシ
四 分析ノ爲差出スベキ供試品ノ數量左ノ如シ但シ蠶絲試
驗場長ニ於テ必要ト認ムルトキハ之ヲ増加セシムルコト
アルベシ
桑(葉、枝條、根ノ類) 乾燥セルモノ 一五〇匁
蠶(卵、蠶兒、蛹、蛾ノ類) 乾燥セルモノ 一〇〇匁
絹絲(繭層、生絲、屑絲、眞綿ノ類) 六〇匁
水(製絲用水、煮繭湯、繰絲湯ノ類) 五升
五 供試品ハ成分ヲ知ラントスルモノノ全部ヲ代表スルニ
足ル様之ヲ採取スベシ
六 供試品ハ輸送ノ途中乾燥、吸濕、腐敗又ハ醱酵ニ依リ
成分ニ變化ヲ來サザル様其ノ調製、荷造、輸送等ニ注意
スベシ
七 水ハ清潔ニ洗滌シタル硝子製ノ容器ニ入レ「コルク」又
ハ護謨栓ヲ施シ破損セザル様送付スベシ
八 供試品ハ之ヲ返戻セズ但シ分析ノ依頼ニ應ゼザルモノ
ニ付テハ其ノ旨通知ノ日ヨリ二週間以内ニ請求アルモノ
ニ限り之ヲ返戻ス
九 分析ノ成績ハ之ヲ依頼者ニ交付ス
(第一號書式)

蠶絲試驗場分析依頼者心得

第二條 手数料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムベシ
附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

蠶絲試驗場ニ於テ分析ノ依頼ニ
應スル件

大正九年二月二十四日農商務省告示第三四號
改正 昭和十二年二月一日農林省告示第四七號
大正九年二月二十日ヨリ左記ニ於テ桑葉、繭、生絲、製絲
用水其ノ他蠶絲業ニ關係アル物料ノ分析依頼ニ應ズ
蠶絲試驗場 東京市杉並區高圓寺

蠶絲試驗場分析依頼者心得

大正九年二月二十四日農商務省告示第三五號
改正 昭和十二年二月一日農林省告示第四七號
一 分析ノ依頼ヲ爲ス者ハ第一號書式ニ準ジ依頼書ヲ作り
供試品ヲ添ヘ蠶絲試驗場ニ申出ツベシ
二 蠶絲試驗場長ニ於テ分析ヲ爲スノ必要ナシト認メ又ハ
分析ヲ爲スコト能ハザルトキハ依頼ニ應ゼザルコトアル
ベシ
三 蠶絲試驗場長ヨリ分析ノ依頼ニ應ズル旨ヲ通知シタ

分析依頼書

- 一 供試品名
二 生産地者ハ製造地名
三 生産人若ハ製造人名
四 分析ヲ要スル成分
五 分析依頼ノ理由
右分析相成度此段及依頼候也

年 月 日 住所 職業 氏 名印

蠶絲試驗場長宛

(第二號書式)

此處ニ收
入印紙ヲ
貼付シ消
印スヘシ
分析手数料納付書

何年何月何日附及依頼候何々分析ノ儀許可相成候ニ付右
手数料納付候也

年 月 日 住所 氏 名印

蠶絲試驗場長宛

蠶絲試驗場依頼分析事務取扱心得

大正九年二月二十九日蠶達第八號
改正昭和十二年二月一日同第三號

- 第一條 化學部ニ於テ分析依頼書ヲ接受シタルトキハ豫メ供試品ヲ點檢シ分析スベキ成分ノ適否ヲ調査シ依頼ニ應ズベキモノハ依頼者ニ其旨ヲ通知スルト共ニ手数料ノ金額ヲ示シ納付書ノ差出方ヲ通知スベシ
- 第二條 供試品點檢ノ結果分析ノ必要ヲ認めザル成分アルトキハ其依頼ニ應ゼザル旨ヲ通知スベシ
- 第三條 供試品ノ性質上尙分析ノ必要ヲ認ムル成分アルトキハ其旨依頼者ニ注意スベシ
- 第四條 依頼分析ハ總テ其手数料ヲ納付シタル後之ニ着手スベシ
- 第五條 分析手数料納付書ニ貼付セル收入印紙ノ消印洩レヲ發見シ又ハ消印セルモ不完全ナルモノト認めタルトキハ化學部ニ於テ左ノ消印ヲ施スヘシ

消印
蠶絲試驗場

第六條 化學部ニ於テ分析ヲ終了シタルトキハ別紙第一號

勿論收入印紙ヲ貼付セル納付書ヲ接受シタルトキハ其金額ヲ明記スベシ
第十四條 庶務課ニ於テハ別紙第五號書式ノ供試品接受及交付簿ヲ設ケ供試品ノ接受ノ顛末ヲ明記スベシ

書式ニ依リ分析成績調書ヲ製シ經伺ノ上別紙第二號書式ノ分析成績書ヲ作り依頼者ニ交付ノ手續ヲ爲スベシ

第七條 分析成績書ニ表示スベキ數字ハ原品ノ百分率又ハ十萬分率ヲ以テシ單位以下二位迄ヲ記載スベシ

第八條 依頼者ヨリ紛失等ノ理由ヲ以テ分析成績書ノ再度交付ヲ請求シタルトキハ化學部ニ於テ之ガ謄本ヲ作成シ交付ノ手續ヲ爲スベシ但シ謄本ニハ末尾ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ證明シ場長及分析主任者ノ捺印ヲ省略スベシ

第九條 分析ノ結果依頼者ニ於テ生産又ハ製造上ノ注意其他此ノ種ノ意見ヲ承合シタキ旨申出ヅルトキハ口頭(依頼者出頭請求ノ場合)又ハ成案經伺ノ上其需ニ應ズルコトヲ得

第十條 依頼分析品ハ供試殘餘ノ幾分ヲ硝子瓶ニ容レ成ルベク防腐法ヲ施シ滿一ケ年以上保存スベシ

第十一條 分析主任者ハ分析日誌ヲ備ヘ毎ニ分析上ノ功程ヲ記載スベシ

第十二條 化學部ニ於テハ別紙第三號書式ノ分析臺帳ヲ設備シ毎ニ其要件ヲ記載スベシ尙別紙第四號ノ書式ノ功程表ヲ作製シ場長ニ報告スベシ

第十三條 庶務課ニ於テ分析依頼書又ハ分析手数料納付書ヲ接受シタルトキハ其受發ノ顛末ヲ件名簿ニ明記スルハ

分析番號		蠶絲試驗場 (第一號書式分析調書)				昭和年月日主任	
許可	昭和年月日	品名	依頼者	備考	平均	場長	庶務課
實驗終了	昭和年月日						
分析成分	回数						

昭和年月日施行

定量分析成績
原品
分中

道府縣蠶業試驗場規程公布ノ件

大正十一年十一月二十一日附農第一二二〇一號通牒

今回道府縣蠶業試驗場規程ヲ公布シ原蠶種製造所規程ヲ廢止セラレ候處右ハ蠶絲業ノ現況ニ鑑ミ從來ノ設備ヲ地方蠶絲業技術ノ中樞機關トシテ利用スルノ得策ナルヲ認メタル次第ニ有之候條從前ノ如ク原蠶種ノ製造配付ヲ行フト共ニ試驗、調査、講習又ハ指導等ノ業務ヲモ行ハシメラレ候様致度此段及通牒候也

追テ本規程公布ノ結果蠶絲業法施行規則及蠶絲業獎勵費交付規則中ニ於テ原蠶種製造所トアルハ蠶業試驗場ト解釋シ處理相成度此段申添ヘ候

道府縣蠶業試驗場規程中改正ニ

關スル件

昭和十五年一月十八日附一五蠶局第八一號蠶絲局長通牒

昭和十五年一月十八日附農林省令第六號ヲ以テ道府縣蠶業試驗場規程中改正相成候處爾今同規程第五條ノ道府縣蠶業試驗場又ハ支場ニハ其ノ分場、飼育所等ヲ含ムモノトシテ取扱相成度此段及通牒候也

第四章

蠶絲業獎勵關係規則

蠶絲業改良獎勵關係規則

勢ナカラス不便ヲ感スルノミナラス往々事務ノ滯滞ヲ來シ
處理上錯誤ヲ招クノ事實ヲ生シ延テ立法ノ趣旨ヲ貫徹シ難
キ憂有之候ニ付テハ之方完備ヲ期スル爲大正九年度ヨリ地
方蠶病豫防ニ關スル經費トシテ蠶業取締所ノ設備費ヲ計上
セラレタル場合ニハ之ニ對シテモ相當補助セラレル筈ニ有
之候條明年度事業計畫ノ御參考迄ニ特ニ御承知置キ相成度
依命此段及通牒候也

蠶絲業改良施設助成規則

昭和十五年六月八日農林省令第四十一號

第一條 農林大臣ハ蠶絲業ノ改良發達ニ資スル目的ヲ以テ
左ニ掲グル事項ヲ助成スル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範
圍内ニ於テ道府縣ニ補助金ヲ交付ス

- 一 桑園ノ改良
- 二 原蠶種ノ製造配付
- 第二條 桑園ノ改良ニ關スル補助金ハ道府縣ノ左ニ掲グル
費用ニ對シ之ヲ交付ス
- 一 桑園改良獎勵事務ニ従事スル專任職員ノ設置ニ要ス
ル費用
- 二 農林大臣ノ定ムル條件ニ依ル桑ニ關スル試験又ハ調
査ニ要スル費用

- 三 桑園ノ改設獎勵、指導桑園ノ設置、桑ノ接穂又ハ苗
ノ生産配付其ノ他桑園ノ改良ニ關スル事業ニ要スル費
用
- 四 道府縣養蠶業組合聯合會、養蠶業組合其ノ他ノ團體
ノ桑園改良施設ニ要スル費用ニ對シ交付スル獎勵金
- 第三條 原蠶種ノ製造配付ニ關スル補助金ハ道府縣ノ行フ
原蠶種ノ製造配付ニ従事スル職員ノ設置ニ要スル費用ニ
對シ之ヲ交付ス
- 第四條 補助金ノ額ハ道府縣ノ費用ノ二分ノ一以內トス
- 第五條 補助金ノ交付ヲ受ケントスル道府縣ハ申請書ニ左
ニ掲グル事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シ毎年二月末日迄
ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ
- 一 事業計畫及其ノ施行方法
- 二 收支豫算
- 三 獎勵及監督ニ關スル規程
- 四 第二條第四號ノ場合ニ於テハ前各號ノ事項ノ外其ノ
團體ノ行フ事項ノ要領

前項ノ書類ニ記載シタル事項ニ變更アリタルトキハ滯滞
ナク之ヲ農林大臣ニ報告スベシ

第六條 補助金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ收支決算書及事
業成績書ヲ翌年度六月三十日迄ニ農林大臣ニ提出スベシ

第七條 補助金ノ交付ヲ受ケタル道府縣補助金ノ交付ヲ受
ケテ支出シタル費用又ハ獎勵金ヲ返納セシメタルトキハ
事由ヲ具シ其ノ旨ヲ遲滞ナク農林大臣ニ報告スベシ

第八條 補助金ノ交付ヲ受ケタル道府縣左ノ各號ノ一ニ該
當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ既ニ交付シタル補助金ノ
全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本則ノ規定ニ違反シタルトキ
- 二 補助金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 四 支出額ガ豫算額ニ比シ減少シタルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五條中二月末日迄トアルハ昭和十五年度ニ限り六月三十
日迄トス

蠶絲業改良獎勵費交付規則ハ之ヲ廢止ス
蠶絲業改良獎勵費交付規則ニ依リ獎勵金ノ交付ヲ受ケ又ハ
交付ノ申請ヲ爲シタル道府縣ハ本則ニ依リ補助金ノ交付ヲ
受ケ又ハ交付ノ申請ヲ爲シタルモノト看做ス

蠶絲業改良施設助成ニ關スル件

昭和十五年六月八日一五蠶局
第一〇六一號蠶絲局長通牒

蠶絲業改良施設助成規則

蠶絲業改良施設助成ニ關スル件

- 一 規則第二條第一號ノ桑園改良事務ニ従事スル專任職員
ノ設置ニ要スル費用ニ對スル補助金ハ蠶絲業ニ關スル學
識經驗アル者ニシテ地方農林技師又ハ農林技手タル者ノ
俸給及旅費ニ對シ交付スルコト
- 二 規則第三條ノ原蠶種ノ製造配付ニ關スル補助金ハ府縣
蠶業試驗場（北海道農事試驗場ヲ含ム）ノ職員ニシテ左
ニ掲グル者ノ俸給ニ對シ交付スルコト
- （一） 蠶業試驗場及同支場長但シ場長又ハ支場長他ニ本務
ヲ有スルトキハ他ノ專任擔當者ヲ以テ之ニ代フルヲ得
ルコト
- （二） 分場、飼育所又ハ製造所等ニシテ支場ト同様ノ内容
ヲ有スルモノノ場長、所長等

今般蠶絲業改良施設助成規則公布相成候處右ハ原蠶種管理
法ノ實施ニ依リ道府縣ニ於テ直接原種ノ製造配付ノ衝ニ當
ル者ノ責任ハ愈々加重セラレタルヲ以テ之方適材ヲ得該職
員ノ充實ヲ圖ル爲國庫補助金ヲ増額交付スルコトト相成右
ニ關聯シ從來ノ蠶絲業改良獎勵費交付規則ヲ廢止シ新ニ之
ニ代ルヘキ助成規則ヲ制定セラレタル次第ニ有之候條之方
取扱ニ付テハ左記御了知ノ上本施設ノ目的達成上遺憾ナキ
ナクセラレ度此段及通牒候也

蠶絲業改良獎勵關係規則

- (三) 前各號ニ掲グル者以外ノ者ニシテ特ニ當省ト打合セテ經タルモノ
- 三 規則第四條ノ補助金ノ額ハ桑園ノ改良ニ關スルモノニ在リテハ當分ノ間左記ニ依ルコト
 - (一) 規則第二條第一號ノ費用ニ對スル補助金ハ專任職員ノ俸給及旅費ノ三分ノ一以內
 - (二) 規則第二條第二號ノ費用ニ對スル補助金ハ試驗又ハ調査ニ要スル費用ノ二分ノ一以內
 - (三) 規則第二條第三號ノ費用ニ對スル補助金ハ事業ニ要スル費用ノ三分ノ一以內
 - (四) 規則第二條第四號ノ獎勵金ニ對スル補助金ハ獎勵金ノ五分ノ一以內
- 四 桑園改良獎勵事務ニ從事スル專任職員中地方農林技師及原蠶種ノ製造配付ニ從事スル職員ニシテ補助金ノ交付ヲ受ケントスル者ニ付テハ豫メ蠶絲局長ノ承認ヲ受ケルコト但シ昭和十四年度ニ於テ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ニ付テハ之ヲ要セザルコト
- 右承認ヲ受ケントスルトキハ其ノ官職、氏名、俸給、事務分擔及勤務場所ヲ記載シタル書類ニ履歷書ヲ添附シ提出スルコト
- 五 規則第五條ニ依リ提出スベキ事業計畫書中原蠶種ノ製

- 造配付ニ關スルモノハ別記様式第一號ニ依リ、收支豫算書中桑園ノ改良ニ關スルモノハ別記様式第二號ニ依リ、其ノ他ノモノニ付テハ適宜ノ様式ニ依ルコト
- 尙收支豫算書ニハ別記様式第三號ニ依リ調書ヲ添附スルコト
- 六 規則第六條ニ依リ提出スベキ收支決算書及事業成績書中桑園ノ改良ニ關スルモノハ様式第二號及第四號ニ依リ原蠶種ノ製造配付ニ關スル事業成績書ハ様式第一號ニ準ズルコト
- 七 本則ニ基キ提出スベキ書類ハ桑園ノ改良ニ關スルモノト原蠶種ノ製造配付ニ關スルモノトニ區別シ提出スルコト
- 八 補助金ハ昭和十五年度ニ在リテモ四月一日ヨリノ費用ニ對シ交付スルコト
- 九 昭和十四年度以前ニ於テ蠶絲業改良獎勵費交付規則ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ノ同則ニ依リ爲スベキ事項ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ルコト

(別記)

第一號

事業計畫書(原蠶種ノ製造配付ニ關スルモノ)

原種製造場所名 又ハ原種ノ蠶 飼育場所名	場所長	技師	技手	其ノ他	備考
本場	名	名	名	名	
、、、支場					
、、、分場					
、、、飼育所					
、、、					
、、、					
、、、					
、、、					
、、、					

注意

- 一 支場又ハ分場等ニシテ二箇所以上アル場合ニ在リテハ之ヲ別行ニ記載スルコト
- 二 原蠶種管理法施行規則第二條但書ノ認可ヲ受ケ原種ノ製造ヲ爲サントスル場合ニ付テモ之ヲ記載シ其ノ旨備考欄ニ附記スルコト
- 三 技師及技手欄ニハ場、所長ヲ除キタル者數ニ付記載スルコト
- 四 兼務者アル場合ニ於テハ其ノ員數ヲ表示スルコト
- 五 分場又ハ飼育所等ニ付テハ其ノ所屬スル本場又ハ支場等ノ名稱ヲ備考欄ニ記載スルコト

蠶絲業改良施設助成ニ關スル件

原種製造場所 又ハ原種ノ蠶 飼育場所	種蠶 期	種蠶 期	種蠶 期	種蠶 期	種蠶 期	種蠶 期	種蠶 期	種蠶 期	備考
本場	期	期	期	期	期	期	期	期	
、、、支場									
、、、分場									
、、、飼育所									
、、、									
、、、									
、、、									
、、、									
、、、									
合計									

第二號

收支豫算書(決算書)(桑園ノ改良ニ關スルモノ)

科 目	豫算額		前年度		備考
	額	圓	額	圓	
裁桑專任 費	圓	圓	圓	圓	
職員	圓	圓	圓	圓	
比較	圓	圓	圓	圓	
減	圓	圓	圓	圓	
備考					

俸給	
旅費	
指定試驗費	
桑園ノ改設獎勵、指導桑園ノ設置、接穂又ハ苗ノ生産配付其ノ他桑園ノ改良ニ關スル事業	
他桑園ノ改良ニ關スル事業	
接穂又ハ苗ノ生産配付其ノ他桑園ノ改良ニ關スル事業	
桑園ノ改設獎勵、指導桑園ノ設置、接穂又ハ苗ノ生産配付其ノ他桑園ノ改良ニ關スル事業	
下級團體ニ對スル獎勵費	

注意

- 一 指定試験費ニ付テハ其ノ明細書ヲ添附スルコト
- 二 桑園ノ改設獎勵、指導桑園ノ設置、桑ノ接穂又ハ苗ノ生産配付其ノ他桑園改良ニ關スル事業費ハ事業別ニ其ノ費用ヲ明ニスルコト

第三號

補助ヲ受ケントスル者ニ關スル調書

官職	氏名	俸給	事務分擔	勤務場所	履歴ノ要	備考

繭生産費低減施設獎勵規則

昭和十一年六月廿七日農林省令第十一號
改正 昭和十五年七月六日農林省令第五十二號

第一條

農林大臣ハ繭生産費ノ低減ニ資スル目的ヲ以テ左ニ掲グル事項ヲ獎勵スル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ道府縣ニ助成金ヲ交付ス

一 稚蠶共同桑園ノ設置

二 稚蠶共同飼育所ノ設置

三 蠶蛆驅除豫防施設

四 繭質改善施設

第二條

稚蠶共同桑園ノ設置ニ關スル助成金ハ道府縣ガ養蠶實行組合ノ稚蠶共同桑園ノ設置ニ關シ道府縣養蠶業組合聯合會、養蠶業組合、養蠶實行組合其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ノ支出スル費用又ハ養蠶實行組合ノ要スル費用ニ對シ交付スル補助金又ハ獎勵金ニ對シ之ヲ交付ス

第三條

稚蠶共同飼育所ノ設置ニ關スル助成金ハ道府縣ガ養蠶實行組合ノ稚蠶共同飼育所ノ新築、増築、改築、移築又ハ買入ニ要スル費用ニ對シ交付スル獎勵金ニ對シ之ヲ交付ス

繭生産費低減施設獎勵規則

注意 俸給ハ現在支給額ヲ記載ノコト

第四號

事業成績書 桑園ノ改良ニ關スルモノ

事業別	箇所數	段別	備考
桑園ノ改設 指導桑園ノ設置 桑ノ接穂又ハ苗ノ生産配付			
穂木園			
苗圃			

注意 桑ノ接穂又ハ苗ノ生産配付ヲ行ヒタル場合ハ其ノ配付數量、指導桑園ノ設置ヲ爲シタル場合ハ之ニ依リ行ヒタル指導回数及指導人員其ノ他ノ桑園改良事業ヲ行ヒタル場合ハ重要ト認ムル事項ヲ備考欄ニ記載スルコト

第四條

蠶蛆驅除豫防施設ニ關スル助成金ハ道府縣ノ左ニ掲グル經費ニ對シ之ヲ交付ス

一 蠶蛆驅除豫防ニ關スル調査、宣傳、督勵等ノ施設ニ要スル費用

二 簡易殺蛹乾繭器、殺蛆器又ハ蠶蛆捕獲器ノ設置其ノ他蠶蛆驅除豫防施設ニ關シ道府縣養蠶業組合聯合會、養蠶業組合、養蠶實行組合其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ノ支出スル費用ニ對シ交付スル補助金又ハ獎勵金

第五條

繭質改善施設ニ關スル助成金ハ道府縣ガ左ニ掲グル事業ヲ行フコトヲ條件トシテ養蠶實行組合其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ニ對シ交付スル獎勵金ニ對シ之ヲ交付ス

一 組合員ノ掃立蠶種ノ統一

二 組合員ノ蠶室及蠶具ノ消毒

三 組合員ノ蠶種ノ共同催青及稚蠶共同飼育

四 組合員ノ上簇改良施設

五 組合員ノ産繭ノ共同處理

第六條

助成金ノ額ハ道府縣ノ經費ノ二分ノ一以内トス

第七條

助成金ノ交付ヲ受ケントスル道府縣ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出ス

- 一 事業ノ計畫及其ノ施行方法書
 - 二 經費豫算書
 - 三 獎勵、補助及監督ニ關スル規程
 - 四 道府縣養蠶業組合聯合會、養蠶業組合其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ニ對シ補助金ヲ交付スル場合ニ於テハ前各號ノ書類ノ外其ノ團體ノ行フ事項ノ要領ニ付前各號ニ準ズル書類
- 前項各號ノ書類ニ記載シタル事項ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク農林大臣ニ報告スベシ
- 第八條 第三條ノ助成金交付ノ許可ヲ受ケタル道府縣助成金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ請求書ニ經費精算書ヲ添ヘ翌年度四月十日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ
- 第九條 第二條、第四條又ハ第五條ノ助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ經費決算書及事業成績書ヲ翌年度六月三十日迄ニ農林大臣ニ提出スベシ
- 第十條 不正ノ手段ニ依リ獎勵金又ハ補助金ノ交付ヲ受ケ又ハ受ケントシタルノ事實ヲ認知シタルトキハ其ノ處分ニ付豫メ農林大臣ニ協議スベシ
- 第十一條 助成金交付ノ許可ヲ受ケタル道府縣又ハ助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ

於テハ農林大臣ハ助成金交付ノ許可ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル助成金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本則又ハ助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 二 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 三 決算額ガ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第七條中二月末日迄トアルハ昭和十一年度ニ限り七月三十一日迄トス

稚蠶共同桑園設置獎勵規則及稚蠶共同飼育所設置獎勵規則ハ之ヲ廢止ス

稚蠶共同桑園設置獎勵規則及稚蠶共同飼育所設置獎勵規則ニ基キ獎勵金ノ交付ヲ受ケ又ハ交付ノ申請ヲ爲シタル道府縣ハ本則ニ依リ助成金ノ交付ヲ受ケ又ハ交付ノ申請ヲ爲シタルモノト看做ス

附則

昭和十五年七月六日農林省令第五十二號附則)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三條ノ改正規定ニ依ル助成金交付ノ申請ニ付テハ第七條中二月末日迄トアルハ昭和十五年度ニ限り七月三十一日迄トス

繭生產費低減施設獎勵規則ニ關スル件

昭和十一年六月二十七日附一蠶第五四八號蠶絲局長依命通牒
改正 昭和十五年七月六日附一五蠶局第一三二四號蠶絲局長通牒

今般繭生產費低減施設獎勵規則公布相成候處右ハ左記ニ依リ處理相成度依命此段及通牒候也

- 第一 助成金交付ノ申請ハ稚蠶共同桑園ノ設置、稚蠶共同飼育所ノ設置、蠶蛆驅除豫防施設又ハ繭質改善施設ニ關スルモノニ區別シ之ヲ爲スコト
- 第二 規則中農林大臣ノ適當ト認ムル團體トアルハ第二條ノ場合ニ在リテハ農會、第四條ノ場合ニ在リテハ町村、農會又ハ蠶蛆驅除豫防目的トスル組合、第五條ノ場合

- ニ在リテハ產業組合タルコト
- 第三 稚蠶共同飼育所ハ左ノ條件ニ該當スルモノニシテ設置組合ハ稚蠶共同飼育ニ必要ナル共同桑園ヲ設置スルコト
- イ 規模ハ蠶量四〇〇瓦以上ノ蠶兒ヲ二眠起迄飼育スルコトヲ得ルモノタルコト
- ロ 構造ハ春蠶及夏秋蠶ノ飼育ニ適スルモノタルコト
- 第四 繭質改善施設ヲ爲ス團體ハ一年ニ二蠶期以上其ノ事業ヲ行フモノニシテ一蠶期成ベク上繭千五百貫以上ヲ生産スルモノタルコト
- 第五 規則第七條及第九條ノ經費豫算書及經費決算書ハ様式第一號ニ依ルコト
- 第六 規則第八條ノ經費精算書ハ様式第二號ニ依ルコト
- 第七 規則第九條ノ事業成績書ハ様式第三號ニ依ルコト

第一號 經費豫算書(經費決算書)

豫算額	前年度豫算額	増	減	摘要
(決算額)	(豫算額)	圓	圓	
圓	圓	圓	圓	

繭生產費低減施設獎勵規則ニ關スル件

蠶絲業改良獎勵關係規則

第二號

經費精算書

豫算額	精算額	比較	摘要
圓	圓	圓	圓

內譯

設置組合名稱	員組數	名稱所在地	共同		飼育所		獎勵金摘要
			敷地面積	建物棟數	建物面積	建築費	
計			平方米	平方米	平方米	圓	

備考 摘要欄ニハ新築、増築、改築、移築又ハ買入ノ別ヲ記載スルコト

第三號

事業成績書

稚蠶共同桑園設置ニ關スルモノ
箇所數及段別

獎勵團體	道府縣	養蠶業組合	道府縣養蠶業組合聯合會	農會	合計	設置組合		箇所數	段別
						組合數	組合員數		
道府縣	春蠶	稚蠶	共同桑園	實數	道府縣	春蠶	稚蠶	共同桑園	實數
	夏蠶	稚蠶	共同桑園	實數		道府縣	夏蠶	稚蠶	共同桑園
養蠶業組合	春蠶	稚蠶	共同桑園	實數	養蠶業組合	春蠶	稚蠶	共同桑園	實數
	夏蠶	稚蠶	共同桑園	實數		養蠶業組合	夏蠶	稚蠶	共同桑園
道府縣養蠶業組合聯合會	春蠶	稚蠶	共同桑園	實數	道府縣養蠶業組合聯合會	春蠶	稚蠶	共同桑園	實數
	夏蠶	稚蠶	共同桑園	實數		道府縣養蠶業組合聯合會	夏蠶	稚蠶	共同桑園
農會	春蠶	稚蠶	共同桑園	實數	農會	春蠶	稚蠶	共同桑園	實數
	夏蠶	稚蠶	共同桑園	實數		農會	夏蠶	稚蠶	共同桑園
合計	春蠶	稚蠶	共同桑園	實數	合計	春蠶	稚蠶	共同桑園	實數
	夏蠶	稚蠶	共同桑園	實數		合計	夏蠶	稚蠶	共同桑園

蠶蛆驅除豫防施設ニ關スルモノ

事業ノ概要	設置數	設置員數	設置個數	總額	國內	道府縣	團體
簡易殺蛹乾繭器				圓			
殺蛆器				圓			
蠶蛆捕獲器				圓			

繭生產費低減施設獎勵規則ニ關スル件

計	買	督	宣	調
	上	勵	傳	查

備考

- 一 督勵ノ事業ノ概要欄ニハ督勵員ノ設置ヲ爲シタル者、督勵員數、一人當手當等ヲ記載スルコト
- 二 買上ノ事業ノ概要欄ニハ買上ヲ爲シタル者、買上數量、單價等ヲ記載スルコト

其ノ一

事

種蠶共同飼育	蠶種ノ共同催青	蠶室及蠶具ノ消毒	掃立蠶種ノ統一	項目	成績	績

上蒞改良施設

摘要

備考

摘要欄ニハ事業實施團體數及事業實施團體員數ヲ記載スルコト
其ノ二

蠶期別	蠶種掃立數 量	上蒞生産數 (生滿量)	同		上		理		法		別	數	量
			乾滿販賣	組合製絲	委託製絲	特約取引	其	他	販	賣			
春蠶期			貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	計		
夏蠶期													
秋蠶期													
晚秋蠶期													
計													

雪害地桑苗圃設置獎勵ニ關スル件

昭和十年四月二十七日附一〇蠶
第三一三四號次官依命通牒

雪害地桑苗圃設置獎勵ニ關スル件

東北其ノ他積雪甚シキ地方ニ於ケル桑ノ雪害ヲ防除シ養蠶經營ノ安定ニ資スルノ緊要ナルヲ認メ今般耐寒性桑品種ノ育成配付ノ目的ヲ以テスル桑苗圃ノ設置ヲ獎勵スルコトト相成候處右ハ左記要項ニ依リ之ヲ實施スルコトト相成候ニ

蠶絲業改良獎勵關係規則

第九條 獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者獎勵金ノ交付ヲ受ケル前ニ於テ其ノ事業又ハ物件ヲ第二條ノ法人又ハ組合ニ讓渡セントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受ケベシ
 獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者解散シタルトキハ許可ハ其ノ效力ヲ失フ但シ合併後存続シ又ハ合併ニ因リ設立シタル法人ガ事業ノ承繼ニ付農林大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ解散シタル法人ト同一ノ事業ヲ行フ法人ガ獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル物件ノ讓受ニ付農林大臣ノ認可ヲ受ケタルトキ亦同シ
 前二項ノ認可アリタルトキハ承繼人又ハ讓受人ヲ以テ獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者ト看做ス
 第十條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ事業計畫書ニ記載シタル目的ニ從ヒ其ノ設備ヲ使用スルコトヲ要ス
 第十一條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者其ノ事業ヲ廢止シ又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケテ施設シタル設備ニ重要ナル變更ヲ加ヘ若ハ之ヲ讓渡セントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受ケベシ
 第十二條 左ノ場合ニ於テハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ農林大臣ニ届出ヅベシ
 一 定款又ハ規約ヲ變更シタルトキ
 二 事業ヲ休止シ又ハ休止シタル事業ヲ開始シタルトキ

三 代表者ニ變更アリタルトキ
 第十三條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ每事業年度經過後遲滞ナク事業報告書ヲ農林大臣ニ提出スベシ
 第十四條 農林大臣又ハ地方長官ハ必要アリト認ムルトキハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ何時ニテモ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類、帳簿又ハ事業執行若ハ財產ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
 第十五條 前五條ノ規定ニ依ル義務ノ存続期間ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ五年間トス
 第十六條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ地方長官ヲ經由スベシ
 第十七條 獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ獎勵金交付ノ許可ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ全部若ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ
 一 本則ノ規定又ハ本則ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルトキ
 二 獎勵金ノ交付ノ條件ニ違反シタルトキ
 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
 附則
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四條中二月末日迄トアルハ昭和十一年度ニ限り九月三十日迄トス

蠶種業共同施設獎勵ニ關スル件

昭和十一年八月十五日蠶局第一三一六號蠶絲局長通牒

蠶絲業者ヲシテ共同ノ施設ヲ行ハシムル爲昭和十一年蠶絲業法改正法律中ニ蠶絲共同施設組合ニ關スル規定ヲ設ケ近ク之ガ實施ノ運下可相成等ノ處今般農林省令第十八號ヲ以テ蠶種業共同施設獎勵規則ヲ制定公布相成候ニ付テハ左記事項御了知ノ上本施設ノ目的達成ノ爲御配意相成度此段及通牒候也

追テ貴管下ニ於テ獎勵金ノ交付ヲ受ケ本施設ヲ爲サントスル者アル場合ハ其ノ計畫ヲ具シ豫メ當省ト打合セ相成度

記

- 一 獎勵金ハ蠶種製造者ノ組織スル蠶絲共同施設組合ニ對シ優先的ニ交付スル方針ナルコト
- 二 獎勵金交付申請書ヲ進達セラルル場合ハ本施設ニ關シ副申ヲ爲シ且道府縣ノ補助、獎勵又ハ指導ノ計畫ニ付記載シタル書類ヲ添附スルコト
- 三 獎勵金交付申請書ニ添附スベキ事業計畫書、事業施設

蠶種業共同施設獎勵ニ關スル件

行方法書、設備要領書及費用豫算書並ニ費用精算書ハ別紙様式ニ依リ作成セシムルコト
 四 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ蠶種製造ニ關シ學識經驗アル主任技術者ヲ設置スルコト
 (様式)

- (一) 名稱及事務所
 名 稱
 事 務 所
- (二) 施設ノ目的及種類
 施設ノ目的
 施設ノ種類
- (三) 蠶種ノ製造場所、保護室、冷藏庫、人工孵化場及取扱場所ノ所在地

種 別	所 在 地	備 考

蠶絲業改良獎勵關係規則

- (六) 敷地、建物其ノ他ノ設備
- (イ) 敷地ノ面積
- (ロ) 建物ノ種類、面積及構造並ニ建物ノ配置圖

所在地	種類	面積(延坪)	構造ノ概要	備考
		坪		

建物ノ配置圖別紙添附ノ通

- 注意 一 建物ノ種類ハ蠶室、蠶種保護室、蠶種冷藏庫、蠶種人工孵化場、蠶種取扱場所等ニ區別シ記載スルコト
- 二 地下室アル場合ハ其ノ面積ヲ面積欄ニ内書スルコト
- 三 構造ノ概要欄ニハ木造瓦葺平屋建等ト記載スルコト
- 四 備考欄ニ既設、新設、増設、改設、買入及借受ノ別ヲ記載スルコト
- 五 後年度計畫ノモノニ付テハ年次別ニ本表ニ準ジ記載スルコト
- (ハ) 蠶種保護室又ハ蠶種冷藏庫ノ設備ノ概要及其ノ能力

種類	室數	室ノ面積(坪)	設備	能力
		坪		

注意 一 設備欄ニハ蠶種保護室ニ付テハ室ノ構造、冷却装置ノ有無蠶種冷藏庫ニ付テハ冷却機ノ種類、名稱、

- 冷却能力及動力等ニ付記載スルコト
- 二 後年度計畫ノモノニ付テハ年次別ニ本表ニ準ジ記載スルコト
- (ニ) 蠶種人工孵化場ノ設備ノ概要及其ノ能力

孵化装置ノ種類	一日施行能力(水備)	備考

- 注意 一 用水欄ニハ井戸水、河水等ノ區別ヲ記載シ蠶種乾燥場所ヲ特設スルモノニ在リテハ其ノ概要ヲ備考欄ニ記載スルコト
- 二 後年度計畫ノモノニ付テハ年次別ニ本表ニ準ジ記載スルコト
- (七) 普通蠶種ノ販賣

計	道府		販賣先	販賣豫定數量	同豫約現物ノ別
	組内	組外			
			春蠶種		
			夏蠶種		
			秋蠶種		
			計		
			養蠶者		
			養蠶業行組合		
			養蠶業組合		
			其ノ他蠶絲業關係團體		
			製絲業者		
			其ノ他		
			計		
			現物		

注意 豫約ヲ爲ス養蠶業組合、其ノ他蠶絲業關係團體及製絲業者ノ住所、名稱(氏名)及其ノ契約又ハ協定ノ内蠶種業共同施設獎勵ニ關スル件

蠶絲業改良獎勵關係規則

容等ヲ附記スルコト

(八) 蠶種ノ製造、保護及販賣以外ノ事業

(イ) 物品ノ共同購入

品目、員數、金額等ニ付記載スルコト

(ロ) 出穀繭共同販賣

販賣豫定數量、販賣先等ニ付記載スルコト

(ハ) 資金ノ貸付

貸付金額、資金借入先、貸付ヲ爲スベキ用途等ニ付記載スルコト

(ニ) ……

(九) 起業費ノ收支概算

(イ) 收 入

科 目	金 額	備 考
計		

(ロ) 支 出

科 目	金 額	備 考
計		

(十) 事業費ノ收支概算

(イ) 收 入

科 目	金 額	備 考
計		

(ロ) 支 出

科 目	金 額	備 考
計		

(十一) 其ノ他事業計畫ニ關スル事項

事業施行方法書

(一) 種 繭 生 産

桑園ノ改良、蠶病ノ驅除豫防、蠶品種ノ統一、飼育方法ノ改善及統制、蠶ノ雌雄鑑別、共同飼育分場ノ設置其ノ他ニ付記載スルコト

(二) 種繭ノ受入及調査

種繭ノ受入方法並ニ種繭ノ調査及等級決定方法其ノ他ニ付記載スルコト

(三) 病毒除去方法

補正検査、豫知検査其ノ他病毒除去方法ニ付記載設備要領書

(二) 建物ノ種類、面積、構造、圖面及仕様書

所 在 地	種 類	面 積		構 造 ノ 概 要	備 考
		一 階 坪	二 階 坪		

圖面及仕様書別紙添附ノ通

注 意 一 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル建物ニ付テ

蠶種業共同施設獎勵ニ關スル件

ノミ記載スルコト

二 建物ノ種類ハ蠶室、蠶種保護室、蠶種冷

スルコト

(四) 蠶種ノ製造方法及組合員ノ從業關係

種繭ノ選別方法、採種形式、蠶種製造ニ關シ組合員又ハ其ノ家族ノ從業關係其ノ他ニ付記載スルコト

(五) 蠶種ノ販賣方法

販路ノ擴充確保ニ關スル方法其ノ他ニ付記載スルコト

(六) 蠶種賣上金ノ配分方法

(七) 事業ノ施行ニ關スル規定

(八) 其ノ他事業施行ニ關スル事項

蠶絲業改良獎勵關係規則

- 藏庫、蠶種人工孵化場、蠶種取扱場所等
- ニ區別シ同種類ノ建物ガ二棟以上ノ場合ハ記號ヲ附シ一棟毎ニ記載スルコト
- 三、構造ノ概要欄ニハ木造瓦葺平屋建等ト記載スルコト
- 四、備考欄ニハ新設、増設、改設及買入ノ別並ニ買入ノモノニ付テハ其ノ賣主ノ住所氏名ヲ記載スルコト
- 五、圖面（各階平面圖、建圖及斷面圖）及仕様書ハ各二通添付スルコト

(一) 蠶種保護室、蠶種冷藏庫及蠶種人工孵化場ノ設備並ニ圖面

種類	面積	單價	金額	備考
計				
	坪(延)	圓	圓	
				增 比 減 較

圖面別紙添付ノ通

- 注意 一、獎勵金ノ交付ヲ受ケントスルモノニ付テノミ記載スルコト
- 二、設備欄ニハ蠶種保護室ニ付テハ室ノ構造、蠶種冷藏庫ニ付テハ冷却機ノ種類、名

- 稱、冷却能力及動力、蠶種人工孵化場ニ付テハ孵化装置ノ概要等ヲ記載スルコト
- 三、備考欄ノ記載及添付スベキ圖面ハ(一)ニ準ズルコト

(三) 起工豫定年月
(四) 竣工又ハ買入ノ豫定年月

費用豫算書

(一) 建物

種類	面積	單價	金額	備考
計				
	坪(延)	圓	圓	
				增 比 減 較

(二) 其ノ他ノ設備

種類	員數	單價	金額	備考
計				
		圓	圓	
				增 比 減 較

(三) 總計金額

- 注意 一、獎勵金ノ交付ヲ受ケントスルモノニ付テノミ記載スルコト
- 二、備考欄ニハ新設、増設、改設及買入ノ別ヲ記載スルコト

費用精算書

(一) 建物

種類	面積	豫算額	精算額	備考
計				
	坪(延)	圓	圓	
				增 比 減 較

(二) 其ノ他ノ設備

種類	員數	豫算額	精算額	備考
計				
		圓	圓	
				增 比 減 較

(三) 總計金額

蠶兒飼育分場改善施設助成ニ關スル件

蠶兒飼育分場改善施設助成ニ關スル件

- 注意 一、助成金交付ノ許可ヲ受ケ竣工又ハ買入ヲ了シタルモノニ付テノミ記載スルコト
- 二、備考欄ニハ新設、増設、改設又ハ買入ノ別ヲ記載スルコト

昭和十五年六月四日一五蠶第五〇三五號
蠶絲局長 依命 通牒

政府ハ中小蠶種業者ノ事業經營ノ合理化ヲ圖リ以テ優良蠶種ノ普及ニ資センガ爲昭和十一年度以降蠶種共同施設組合ノ設置ヲ獎勵シツ、アルモ更ニ同組合ノ蠶兒飼育分場ノ改善ヲ促スノ要アルヲ認メ本年度ヨリ別紙要項ニ依リ國庫ヨリ助成金ヲ交付スルコト、相成候ニ付テハ右御了知ノ上本施設ノ目的達成上遺憾ナキヲ期セラレ度依命此段及通牒候也

蠶兒飼育分場改善施設助成金交付要項

第一 農林大臣ハ優良蠶種ノ普及ヲ圖ル目的ヲ以テ蠶種共

蠶絲業改良獎勵關係規則

前項各號ノ書類ニ記載シタル事項ニ變更アリタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ農林大臣ニ報告スベシ
 第五條 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ様式第一號ニ依ル事業成績書及様式第三號ニ依ル經費決算書ヲ翌年六月三十日迄ニ農林大臣ニ提出スベシ
 第六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ交付シタル助成金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ
 一 本則又ハ助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

二 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
 三 決算額ガ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ
 附 則 (昭和九年四月二十二日農林省令第五號)
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 第四條中二月末日迄トアルハ昭和九年度ニ限り六月三十日迄トス
 附 則 (昭和十二年四月十四日農林省令第十號)
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

様式

第一號

事業計畫書(事業成績書)
 (イ) 第二條第一號ニ依ルモノ

指導員設置組合ノ名稱	指導員設置員數	設置費			道府縣ノ補助金	補助率	指導員設置組合及同組合員數	摘要
		平均一人當設置費	總額	補助金				
計		圓	圓	圓	圓	割		
		俸給	其他	計				
		圓	圓	圓				

(ロ) 第二條第二號ニ依ルモノ

指導員設置組合ノ名稱	指導員設置員數	設置費			道府縣補助金	補助率	指導員設置組合及同組合員數	摘要
		平均一人當設置費	總額	補助金				
計		圓	圓	圓	圓	割		
		俸給	其他	計				
		圓	圓	圓				

第二號 經費豫算書

第二條第一號ノ補助金	第二條第二號ノ補助金	計	豫算額		前年度豫算額		比較		摘要
			圓	圓	圓	圓	増	減	

第三號

經費決算書

養蠶實行組合指導員設置助成規則

計	第二條第一號ノ補助金	圓	豫算額	總額	圓	內	國庫助成金	圓	道府縣負擔額	圓	比	較	摘要

養蠶實行組合指導員設置助成規則ニ關スル件

(昭和九年四月二十三日九蠶第二五〇七號) 蠶絲局長 依命 通牒

今般養蠶實行組合指導員設置助成規則公布相成候處右ハ左記ニ依リ處理相成度依命此段及通牒候也

- 一、養蠶實行組合指導員ハ養蠶業組合ニ之ヲ常置シ實地指導ニ當ルモノナルコトヲ要ス
- 二、養蠶實行組合指導員ハ左ノ資格ヲ有スル者タルコトヲ要ス

- (一) 實業專門學校若ハ之ト同等以上ノ學校又ハ元農商務省蠶業講習所本科ノ卒業生ニシテ養蠶ニ關スル學科目及實習ヲ修メタルモノ
- (二) 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニシテ一年以上養蠶ノ實務ニ從事シタルモノ
 - (イ) 尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年若ハ高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年ノ實業學校又ハ之ト同等以上ノ實業學校ノ卒業生ニシテ養蠶ニ關スル學科(養蠶科又ハ蠶業科等)ヲ修メタルモノ
 - (ロ) 元農商務省蠶業講習所ノ養蠶別科、東京高等蠶絲學校ノ養蠶實科又ハ京都高等蠶絲學校ノ蠶業實科

(大正十三年以前ノ別科ヲ含ム)ヲ卒業シタル者

實業專門學校ノ養蠶科又ハ蠶種科ノ選科生トシテ蠶體解剖學及蠶體生理學、蠶體病理學、養蠶學、蠶種學、栽桑學、蠶體解剖學及蠶體生理學實驗、蠶體病理學實驗、蠶種學實驗、養蠶實習、蠶種製造實習、圃場實習ヲ修メタルモノ

(三) 道府縣蠶業試驗場其ノ他地方長官ノ適當ト認ムル學校、試驗場又ハ講習所等ニ於テ一年以上ノ期間ニ依リ養蠶ニ關スル學科目及實習ヲ修メタル者ニシテ二年以上養蠶ノ實務ニ從事シタルモノ

重要農林水產物増産助成規則

(昭和十四年四月六日) 農林省令第十九號
 (昭和十四年六月二十八日) 農林省令第三十九號
 (昭和十四年十二月二十二日) 農林省令第七十一號改正
 (昭和十五年六月七日) 農林省令第三十九號改正

第一條 農林大臣ハ重要農林水產物ノ増産ヲ確保スル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ助成金ヲ交付ス

第二條 助成金ハ左ニ掲ケル施設ニ關スル道府縣ノ費用又ハ補助金ニ對シ道府縣ニ之ヲ交付ス但シ別ニ國庫ヨリ獎

養蠶實行組合指導員設置助成規則ニ關スル件——重要農林水產物増産助成規則 二五七

- 勵金、補助金又ハ助成金ノ交付ヲ受クベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 米穀及小麥ノ増産獎勵施設
- 二 藪増産獎勵施設
- 三 木炭(瓦斯用木炭ヲ含ム以下同シ)増産獎勵施設
- 四 牛、豚及家兔改良増殖獎勵施設
- 五 沿岸漁獲物増産獎勵施設
- 六 農林漁業用資材配給調整施設
- 七 農山漁村勞力調整施設
- 第三條 前條第一號ノ施設ニ關スル助成金ハ左ニ掲ケル費用又ハ補助金ニ對シ之ヲ交付ス
 - 一 小麥ノ増産獎勵金ニ對シ交付スル道府縣ノ補助金
 - 二 米穀増産施設耕地事業ニ付支出スル道府縣ノ費用又ハ補助金
 - 三 稻ノ多收品種種子ノ購入ニ付交付スル道府縣ノ補助金
 - 四 水稻温床苗代ノ設置ニ付交付スル道府縣ノ補助金
 - 五 稻熱病、稻螟蟲、稻泥負蟲及稻葉潛蠅ノ防除ニ付交付スル道府縣ノ補助金
 - 六 稻ノ病害蟲防除用噴霧機ノ購入ニ付交付スル道府縣ノ補助金

- 七 稻ノ耕種改善實踐獎勵施設ニ付支出スル道府縣ノ費用又ハ補助金
- 八 主要農産物生産計畫遂行ニ關スル部落團體活動促進施設ニ付交付スル道府縣ノ補助金
- 九 主要食糧農産物ノ増産ニ關スル指導督勵施設ニ付支出スル道府縣ノ費用又ハ補助金
- 助成金ノ交付ヲ受クベキ前項第一號ニ掲グル道府縣ノ補助金ハ市町村其ノ他ノ團體ガ部落團體又ハ之ニ準スル團體ニ對シ増産獎勵金ヲ交付スル場合ニ於テ其ノ費用ニ對シ市町村其ノ他ノ團體ニ交付スルモノニ限ル
- 第四條 第二條第二號ノ施設ニ關スル助成金ハ左ニ掲グル費用又ハ補助金ニ對シ之ヲ交付ス
 - 一 違作防止施設（違作共濟用蠶兒飼育及蠶病防除ニ關スル施設）ニ付交付スル道府縣ノ補助金
 - 二 速成桑園ノ設置ニ付交付スル道府縣ノ補助金
 - 三 桑ノ病害蟲防除ニ付交付スル道府縣ノ補助金
 - 四 繭増産共勵選奨施設ニ付支出スル道府縣ノ費用又ハ補助金
 - 五 繭ノ増産ニ關スル指導督勵施設ニ付支出スル道府縣ノ費用又ハ補助金
- 第五條 第二條第三號ノ施設ニ關スル助成金ハ左ニ掲グル

- 費用又ハ補助金ニ對シ之ヲ交付ス
 - 一 道府縣ノ製炭ニ要スル費用又ハ市町村等ノ製炭ニ付交付スル道府縣ノ補助金
 - 二 前號ノ製炭ニ關スル指導監督施設ニ付支出スル道府縣ノ費用
 - 三 製炭從業者ノ移動施設ニ付交付スル道府縣ノ補助金
 - 四 集合式又ハ連通式炭窯、改良炭窯、伏燒窯及特殊工業炭製造窯ノ構築ニ付交付スル道府縣ノ補助金
 - 五 木炭ノ簡易運搬施設ニ付交付スル道府縣ノ補助金
 - 六 雪中製炭施設ニ付交付スル道府縣ノ補助金
 - 七 炭窯構築及製炭技術ニ關スル實地傳習施設ニ要スル道府縣ノ費用
 - 八 木炭ノ増産ニ關スル指導督勵ニ要スル道府縣ノ費用前項第一號ノ費用又ハ補助金ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ其ノ製炭施設ニ依リ生産シタル木炭ニ付農林大臣別ニ其ノ處分ノ條件ヲ定メタルトキハ之ニ從ヒ處分シ又ハ處分セシムベキモノトス
- 第六條 第二條第四號ノ施設ニ關スル助成金ハ左ニ掲グル費用又ハ補助金ニ對シ之ヲ交付ス
 - 一 牛ノ繁殖及育成ノ指導督勵施設ニ付支出スル道府縣ノ費用又ハ補助金

- 二 牛ノ共同育成施設ニ付交付スル道府縣ノ補助金
- 三 牡犢育成施設ニ付交付スル道府縣ノ補助金
- 四 牛ノ繁殖障害除去施設ニ付支出スル道府縣ノ費用又ハ補助金
 - 一 豚及家兔ノ改良増殖指導督勵ニ要スル道府縣ノ費用
 - 二 豚及家兔繁殖配付施設ニ要スル道府縣ノ費用
- 第六條 第二條第五號ノ施設ニ關スル助成金ハ左ニ掲グル費用又ハ補助金ニ對シ之ヲ交付ス
 - 一 沿岸漁獲物増産ノ指導ニ要スル道府縣ノ費用
 - 二 淺海貝藻類ノ害敵驅除ニ要スル道府縣ノ費用
 - 三 漁業用餌料ノ購入、漁具漁法ノ改良、深部着生てんぐさノ採取及魚巢ノ設置ニ付交付スル道府縣ノ補助金
- 第八條 第二條第六號ノ施設ニ關スル助成金ハ左ニ掲グル費用又ハ補助金ニ對シ之ヲ交付ス
 - 一 農林漁業用資材ノ配給調整施設ニ付支出スル道府縣ノ費用又ハ補助金
 - 二 漁業用藁製品ノ共同購入又ハ購入斡旋ニ付交付スル道府縣ノ補助金
 - 三 國內産漁業用染料材ノ蒐集ニ付交付スル道府縣ノ補助金
 - 四 漁業用資材ノ合理的の使用消費ノ指導督勵施設ニ付支

- 出スル道府縣ノ費用
 - 第九條 第二條第七號ノ施設ニ關スル助成金ハ左ニ掲グル費用又ハ補助金ニ對シ之ヲ交付ス
 - 一 農山漁村勞力ノ調整調査施設ニ付支出スル道府縣ノ費用又ハ補助金
 - 二 農山漁村勤勞奉仕施設ニ付支出スル道府縣ノ費用又ハ補助金
 - 三 集團的移動勞力施設ニ付支出スル道府縣ノ費用又ハ補助金
 - 四 農業機械ノ移動配給調整及修理施設ニ付支出スル道府縣ノ費用又ハ補助金ニシテ左ニ掲グルモノ
 - (一) 農業機械共同利用斡旋指導施設ニ付支出スル費用又ハ補助金
 - (二) 農業機械ノ共同利用ニ伴フ改装整備ニ付交付スル補助金
 - (三) 共同利用ノ目的ヲ以テスル既存農業機械ノ買入又ハ借入ニ付交付スル補助金
 - (四) 農機具巡回修理班ノ設置ニ付支出スル費用又ハ補助金
 - 五 共同利用改良農具ノ購入ニ付交付スル道府縣ノ補助金
 - 六 共同畜力利用機具ノ購入ニ付交付スル道府縣ノ補助

- 金
- 七 沿岸小型漁船用共同曳船ノ建造又ハ購入ニ付交付スル道府縣ノ補助金
- 八 共同簡易小水力利用設備ニ付交付スル道府縣ノ補助金
- 九 應召農家ノ爲ニスル養蠶共同施設ニ付交付スル道府縣ノ補助金
- 十 農地ノ交換分合ノ指導幹旋施設ニ付支出スル道府縣ノ費用又ハ補助金
- 十一 農耕馬ノ賃借幹旋ニ關スル施設ニ付支出スル道府縣ノ費用又ハ補助金
- 第十條 削除
- 第十一條 第二條第一號ノ施設ニ關スル助成金ノ額ハ左ノ標準ニ依ル
 - 一 小麥ノ増産獎勵金ニ付テハ市町村別ノ生産基準數量ニ對スル増産數量ノ道府縣ノ總量ニ應ジ一石當七十錢以內
 - 二 米穀増産施設耕地事業ニ付テハ
 - (一) 水田造成、陸稻開畑、暗渠排水、床締、客土及農用公共施設新設改良ノ事業ニ付支出スル道府縣ノ費用ニ對シ其ノ費用ノ十分ノ四以內、道府縣ノ補助金

- ニ對シ其ノ事業ニ要スル費用ノ十分ノ四以內ニシテ補助金ノ範圍内
- (二) 一ノ事業ノ調査設計、指導監督其ノ他ノ事業補助ニ要スル道府縣ノ費用ノ二分ノ一以內
- 三 稻ノ多收品種種子ノ購入ニ付テハ種子購入費ノ三分ノ二以內ニシテ一反當四十錢以內
- 四 水稻温床苗代ノ設置ニ付テハ框及障子代ノ五分ノ二以內ニシテ一坪當一圓五十錢以內
- 五 稻熱病ノ防除ニ付テハ藥劑購入費ノ四分ノ一以內ニシテ一反當三十六錢以內、稻螟虫ノ防除ニ付テハ誘蛾燈點火ニ依ルモノニ付誘蛾燈購入費、石油其ノ他ノ燃料購入費、配電工事費及電燈料金ノ四分ノ一以內ニシテ一反當新設ノ場合三十五錢以內、既設ノ場合二十七錢以內、葉梢變色莖摘採ニ依ルモノニ付莖切取鎌購入費ノ二分ノ一以內ニシテ一反當八錢以內及摘採獎勵金一反當五錢以內、稻泥負虫ノ防除ニ付テハ藥劑購入費ノ四分ノ一以內ニシテ一反當二十錢以內、稻葉潜蠅ノ防除ニ付テハ藥劑購入費ノ四分ノ一以內ニシテ一反當七十五錢以內
- 六 稻ノ病害蟲防除用噴霧機ノ購入ニ付テハ購入費ノ二分ノ一以內ニシテ一臺當四十圓以內

- 七 稻ノ耕種改善實踐獎勵施設ニ付テハ其ノ費用ノ範圍内
- 八 部落團體活動促進施設ニ付テハ當該道府縣ニ付一圓體當平均十五圓以內
- 九 主要食糧農産物ノ増産ニ關スル指導督勵施設ニ付テハ道府縣ノ費用ニ對シ指導專任職員ノ設置ニ要スル費用ノ三分ノ二以內、知識ノ普及向上施設ニ要スル費用ノ五分ノ四以內、道府縣ノ補助金ニ對シ知識ノ普及向上施設ニ關スル補助金ノ五分ノ四以內
- 第十二條 第二條第二號ノ施設ニ關スル助成金ノ額ハ左ノ標準ニ依ル
 - 一 違作防止施設ニ付テハ其ノ費用ノ三分ノ一以內ニシテ一團體當五十圓以內
 - 二 速成桑園ノ設置ニ付テハ其ノ費用ノ四分ノ一以內ニシテ一反當九圓以內
 - 三 桑ノ病害蟲防除ニ付テハ藥劑購入費ノ四分ノ一以內ニシテ一反當五十錢以內
 - 四 繭ノ増産共勵選奨施設ニ付テハ道府縣ノ費用ニ對シ一道府縣當五千圓以內、道府縣ノ補助金ニ對シ一養蠶業組合聯合會又ハ大日本蠶絲會支會當五千圓以內
 - 五 繭ノ増産ニ關スル指導督勵施設ニ付テハ道府縣ノ費用

- 用ニ對シ一道府縣當三千圓以內、道府縣ノ補助金ニ對シ一養蠶業組合聯合會當六百圓以內、一養蠶業組合當三百圓以內
- 第十三條 第二條第三號ノ施設ニ關スル助成金ノ額ハ左ノ標準ニ依ル
 - 一 道府縣又ハ市町村等ノ製炭ニ付テハ其ノ費用ノ三分ノ一以內
 - 二 前號ノ製炭ニ關スル指導監督施設ニ付テハ專任職員ノ設置ニ要スル費用ノ二分ノ一以內
 - 三 製炭從業者ノ移動施設ニ付テハ其ノ費用ノ三分ノ一以內
 - 四 炭窯ノ構築ニ付テハ其ノ費用ノ四分ノ一以內
 - 五 木炭ノ簡易運搬施設ニ付テハ其ノ費用ノ四分ノ一以內
 - 六 雪中製炭施設ニ付テハ其ノ費用ノ四分ノ一以內
 - 七 實地傳習施設ニ付テハ其ノ費用ノ二分ノ一以內
 - 八 木炭ノ増産ニ關スル指導督勵ニ付テハ其ノ費用ノ二分ノ一以內
- 第十四條 第二條第四號ノ施設ニ關スル助成金ノ額ハ左ノ標準ニ依ル
 - 一 牛ノ繁殖及育成指導督勵施設ニ付テハ指導專任職員

- ノ設置ニ要スル費用ノ二分ノ一以内、牛ニ關スル知識ノ普及向上施設ニ要スル費用ノ範圍内
 - 二 牛ノ共同育成施設ニ付テハ其ノ費用ノ二分ノ一以内
 - 三 牡犢育成施設ニ付テハ其ノ費用ノ二分ノ一以内
 - 四 牛ノ繁殖障害除去施設ニ付テハ其ノ費用ノ二分ノ一以内
 - 五 豚及家兔ノ改良増殖指導督勵施設ニ付テハ之ニ關スル職員ノ旅費ノ二分ノ一以内、豚及家兔ニ關スル知識ノ普及向上施設ニ要スル費用ノ範圍内
 - 六 豚及家兔繁殖配付施設ニ付テハ其ノ費用ノ二分ノ一以内
- 第十五條 第二條第五號ノ施設ニ關スル助成金ノ額ハ左ノ標準ニ依ル
- 一 沿岸漁獲物増産ノ指導ニ付テハ指導職員ノ旅費ノ範圍内
 - 二 淺海貝藻類ノ害敵驅除ニ付テハひとて又ハかしげんノ採取量十貫當十錢以内いしもノ採取量十貫當五錢以内
 - 三 漁業用餌料ノ購入ニ付テハ撒餌及釣餌ノ購入費ノ二分ノ一以内、漁具漁法ノ改良ニ付テハ撒餌漁業其ノ他多獲漁業ニ適スル網具、釣具等ノ仕立ニ要スル費用ノ範圍内

- 二分ノ一以内、深部着生てんぐさノ採取ニ付テハ深部着生てんぐさ採取量一貫當四錢以内、魚巢設置ニ付テハ其ノ費用ノ二分ノ一以内
- 第十六條 第二條第六號ノ施設ニ關スル助成金ノ額ハ左ノ標準ニ依ル
- 一 農林漁業用資材ノ配給調整施設ニ付テハ道府縣ノ費用ニ對シ指導職員ノ設置及需給狀況調査ニ要スル費用ノ三分ノ二以内、道府縣ノ補助金ニ對シ道府縣漁業組合聯合會ノ配給調整ニ關スル職員設置及事務處理ニ要スル費用ノ二分ノ一以内、漁業組合其ノ他ノ團體ノ配給調整ニ關スル職員設置ニ要スル費用ノ三分ノ一以内
 - 二 漁業用藁製品ノ共同購入又ハ購入斡旋ニ付テハ其ノ取扱ニ係ル藁製品十貫當三十錢以内
 - 三 國內産漁業用染料材ノ蒐集ニ付テハ其ノ蒐集ニ係ル染料材十貫當五十錢以内
 - 四 漁業用資材ノ合理的使用消費ノ指導督勵施設ニ付テハ其ノ費用ノ三分ノ二以内
- 第十七條 第二條第七號ノ施設ニ關スル助成金ノ額ハ左ノ標準ニ依ル
- 一 農山漁村勞力ノ調整調査施設ニ付テハ其ノ費用ノ範圍内

- 二 農山漁村勤勞奉仕施設ニ付テハ其ノ費用ノ範圍内
- 三 集團的移動勞力施設ニ付テハ其ノ費用ノ範圍内
- 四 農業機械ノ移動配給調整及修理施設ニ付テハ
 - (一) 農業機械共同利用斡旋指導施設ニ付道府縣ノ費用ニ對シ一道府縣當五百圓以内、道府縣ノ補助金ニ對シ其ノ補助金ノ範圍内ニシテ一團體當二百圓以内
 - (二) 農業機械ノ共同利用ニ伴フ改装整備ニ付其ノ費用ノ二分ノ一以内ニシテ農業機械一組當百圓以内
 - (三) 既存農業機械ノ購入ニ付買入費ノ五分ノ一以内ニシテ農業機械一組當百四十圓以内、借入ニ付借入費ノ範圍内ニシテ農業機械一組當十圓以内
 - (四) 農機具巡回修理班ノ設置ニ付其ノ費用ノ二分ノ一以内ニシテ一班當八百圓以内
- 五 共同利用改良農具ノ購入ニ付テハ購入費ノ三分ノ二以内ニシテ一部落當五十圓以内
- 六 共同畜力利用機具ノ購入ニ付テハ購入費ノ三分ノ二以内ニシテ一部落當百五十圓以内
- 七 沿岸小型漁船用共同曳船ノ建造又ハ購入ニ付テハ建造費又ハ購入費ノ三分ノ二以内ニシテ二十噸程度ノ曳船ノ建造費又ハ購入費ニ相當スル金額ノ範圍内
- 八 共同簡易小水力利用設備ニ付テハ設備費ノ二分ノ一

- 以內ニシテ一箇所五百圓以内
- 九 養蠶共同施設ニ付テハ稚蠶共同飼育並ニ壯蠶ノ共同飼育及分配飼育ニ要スル費用ノ二分ノ一以内
- 十 農地ノ交換分合ノ指導斡旋施設ニ付テハ其ノ費用ノ範圍内
- 十一 農耕馬ノ賃借斡旋ニ關スル施設ニ付テハ其ノ費用ノ範圍内但シ鐵道運賃ニ付テハ普通運賃ノ五分ノ一以内
- 第十八條 農林大臣特ニ已ムコトヲ得ザル理由アリト認めルトキハ前七條ノ標準ヲ超エテ助成金ヲ交付スルコトアルベシ
- 第十九條 助成金ノ交付ヲ受ケントスル道府縣ハ申請書ニ
 - 一 事業計畫書
 - 二 收支豫算書
 - 三 補助又ハ獎勵ニ關スル規程
- 前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認めル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ
- 第二十條 助成金ノ交付ヲ受ケ又ハ助成金ノ交付ノ許可ヲ受ケタル道府縣前條第一項ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ

- 第二十一條 第三條第一號ノ増産獎勵金ニ對スル補助金ニ付第十一條第一號ノ規定ニ依リ生産基準數量ニ對スル増産數量ノ總量ニ應ジ助成金ノ交付ノ許可ヲ受ケタル道府縣助成金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ請求書ニ調書ヲ添付シ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ
- 第二十二條 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ翌年度六月三十日迄ニ事業成績書及收支決算書ヲ農林大臣ニ提出スベシ
- 第二十三條 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣助成金ノ交付ヲ受ケテ支出シタル費用又ハ補助金ヲ返納セシメタルトキハ事由ヲ具シ其ノ旨ヲ遲滞ナク農林大臣ニ報告スベシ
- 第二十四條 助成金ノ交付ヲ受ケ又ハ助成金ノ交付ノ許可ヲ受ケタル道府縣左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ助成金交付ノ許可ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル助成金ノ全部若ハ一部ノ還付ヲ命スルトコトアルベシ
 - 一 本則ノ規定ニ違反シタルトキ
 - 二 助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
 - 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
 - 四 支出額ガ豫算額ニ比シ減少シタルトキ

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

重要農林水産物増産關係施設助成金ニ關スル件

昭和十五年六月十三日附一五對第二九三五號農林次官依命通牒

標記ノ件ニ關シ本年六月七日附農林省令第三十九號ヲ以テ重要農林水産物増産助成規則中改正相成候處右規則ニ基ク助成金並ニ其ノ他重要農林水産物増産關係施設助成金ノ本年度貴縣(道府)ニ對スル交付見込總額ハ

以內ノ内譯ハ別表ノ通)ニ有之候ニ付テハ時局ニ鑑ミ周密ナル綜合計畫ヲ樹立實行シ以テ所期ノ目的貫徹ヲ圖ル様致度左記事項御諒知ノ上速ニ事業計畫ヲ樹立シ申請相成度依命此段及通牒候也

記

- 一 本助成施設ニ對シテハ時局ニ鑑ミ特ニ周到嚴正ナル指導監督ヲ加ヘ其ノ遂行ニ遺憾ナキヲ期スルコト
- 二 本事業ニ關シテハ其ノ重要性ニ鑑ミ貴縣(道府)ニ於テモ可成相當額ノ經費ヲ計上セラレ度キコト
- 三 事業計畫ヲ綜合的ナラシムル爲申請書ノ提出ニ付テハ

- 各生産關係事務擔當者ノ係ニ於テ豫メ管内全般ノ増産計畫ニ付十分聯絡統合シ之ヲ進達スルコト
- 四 事業計畫ハ管内事情ニ最モ適合スル如ク樹立スルコト之ガ爲別表備考欄ニ於テ特ニ指定スル事項ニ付テハ經費ノ流用ヲ認メラレルモノナルコト
- 五 其ノ他本助成金交付ニ關スル事項ハ夫々關係規程(省令及通牒)ノ外別途關係部局長ノ通牒ニ據ルコト

(別表)

重要農林水産物増産關係施設助成金交付内示一覽表抄録)

事	項	金額	備考
二蠶絲類増産施設			
(滿増産確保施設助成金)			
(一)	違作防止施設助成		
(二)	速成桑園設置助成		
(三)	病蟲害防除施設助成		
(四)	滿増産共勵選奨助成		

重要農林水産物増産關係施設助成金ニ關スル件

重要農林水産物増産關係施設助成金ニ關スル件

重要農林水産物増産關係施設助成金ニ關スル件

滿増産確保獎勵ニ關スル件

(昭和十五年六月八日附一五對第五二〇六號蠶絲局長臨時農村對策部長依命通牒)

政府ハ昭和十四年度ヨリ昭和十四年四月六日農林省令第九號重要農林水産物増産助成規則

昭十四年六月二十八日農林省令第三十三號改正

昭十四年十二月二日農林省令第七十一號改正

昭十五年六月七日農林省令第三十九號改正

ニ基キ滿ノ増産ヲ獎勵致居候處右ハ爾今左記ニ依リ處理相成度依命此段及通牒候也

記

- 一 滿増産獎勵ノ實施ニ當リテハ道府縣ノ適當ト認ムル方

滿増産確保獎勵ニ關スル件 二六五

蠶絲業改良獎勵關係規則

- 法ニ依リ部落別又ハ養蠶實行組合ノ區域別(二部落以上ノ地域ニ亙リ養蠶實行組合ノ設置シアル場合)ニ生産目標數量及生産基準數量ヲ決定スルコト
- 前項ノ生産基準數量ノ合計ハ農林省ヨリ道府縣ニ對スル割當生産基準數量ト合致セシムルコト
- 二 規則第四條第一號ノ補助金ハ道府縣ガ部落團體ノ違作共濟用蠶兒ノ飼育ニ要スル蠶種代、桑葉代、蠶室使用料及補溫費等ノ一切ノ費用並ニ蠶病防除ニ要スル消毒藥品ノ購入費ニ對シ部落團體ニ交付スルモノタルコト
- 前項ノ違作共濟用蠶兒ノ飼育ハ一年ニ蠶期以上之ヲ行フコト
- 三 規則第四條第二號ノ補助金ハ道府縣ガ部落團體員ニ速成桑園ヲ設置セシムルコトヲ條件トシテ部落團體ニ對シ交付スルモノタルコト
- 前項ノ速成桑園ニシテ混作桑園ノ畦間又ハ空地等ヲ利用シ桑樹ヲ栽植スル場合ハ其ノ見積面積ヲ基準トシ補助金ヲ交付スルコト
- 四 規則第四條第三號ノ補助金ハ道府縣ガ部落團體員ニ桑ノ病害蟲ヲ防除セシムルコトヲ條件トシテ部落團體ニ對シ交付スルモノタルコト
- 五 規則第四條第四號ノ費用又ハ補助金ハ道府縣ノ優良繭

- 増産ノ實績顯著ナル養蠶實行組合ノ選奨ニ要スル費用又ハ道府縣ガ道府縣養蠶業組合聯合會若ハ大日本蠶絲會道府縣支會ノ右選奨ニ支出スル費用ニ對シ交付スル補助金タルコト
- 六 規則第十九條第一項ノ申請書並ニ之ニ添付スベキ書類ハ毎年六月三十日迄ニ副本二通ヲ添へ提出スルコト
- 規則第四條第四號ニ基キ行フ施設ニ付テハ實施團體ノ繭増産共勵選奨規程類ヲ申請書ニ添附シ提出スルコト
- 七 規則第十九條第一項第一號ノ事業計畫書及第二十二條ノ事業成績書ハ様式第一號ニ依リ、第十九條第一項第二號ノ收支豫算書ハ様式第二號ニ依リ、第二十二條ノ收支決算書ハ様式第三號ニ依ルコト
- 八 規則第九條第九號ニ依ル養蠶共同施設助成ニ付テハ昭和十三年四月九日附一三蠶第二五七六號農林次官依命通牒養蠶共同施設助成金交付要項及同日附一三蠶局第八〇四號蠶絲局長通牒養蠶共同施設獎勵ニ關スル件ヲ準用スルコト

標式

第一號

事業計畫書(事業成績書)

事業計畫書(成績)		事業實施團體數		事業實施團體員	
違作防止施設	速成桑園設置	事業實施團體數	事業實施團體員數	摘	要
桑ノ病害蟲防除	繭増産共勵選奨施設		出品養蠶實行組合數		
指導督勵施設		養蠶業組合數	養蠶實行組合數		

第二號

收支豫算書

違作防止施設	速成桑園設置	豫算額			摘要
		總額	國庫助成金	道府縣負擔額	
					事業實施團體數
					事業實施團體ノ總經費
					設置桑園段別
					桑園設置ノ總經費
					段當補助金額
					町段畝
					圓圓錢
					圓圓錢

繭増産確保獎勵ニ關スル件

合 計	指導督勵施設	繭増産共勵選奨施設	桑ノ病害蟲防除	豫算額		決算額		比 較	摘 要
				總額	國庫道府縣助成金負擔額	總額	國庫道府縣助成金負擔額		
									實施桑園段別藥劑購入費ノ總額 町 圓 段 畝
									表彰會場費 選奨金及賞狀費 調査費 印刷費 其ノ他 計
									道府縣ノ費用 養蠶業組合聯合會ニ對スル補助金額 養蠶業組合ニ對スル補助金額

第三號

收支決算書

合 計	速成桑園設置	違作防止施設	桑ノ病害蟲防除	豫算額		決算額		比 較	摘 要
				總額	國庫道府縣助成金負擔額	總額	國庫道府縣助成金負擔額		
									事業實施團體ノ總經費 町 圓 段 畝
									設置桑園段別桑園補助ノ總經費 町 圓 段 畝
									實施桑園段別藥劑購入費ノ總額 町 圓 段 畝

合 計	指導督勵施設	繭増産共勵選奨施設	豫算額		決算額		比 較	摘 要
			總額	國庫道府縣助成金負擔額	總額	國庫道府縣助成金負擔額		
								表彰會場費 選奨金及賞狀費 調査費 印刷費 其ノ他 計
								道府縣ノ費用 養蠶業組合聯合會ニ對スル補助金額 養蠶業組合ニ對スル補助金額

養蠶共同施設獎勵ニ關スル件

昭和十三年四月九日附一三蠶第二五七六號
次 官 依 命 通 牒

今次事變ニ伴フ應召等ニ因リ養蠶農家ハ勞力不足ヲ來シ爲ニ蠶作ノ不安、産繭ノ減少ヲ招來シ養蠶經營上多大ノ困難ヲ生ズルノ虞有之候處元來養蠶業ハ蠶兒ノ飼育上特殊ノ技術ト細心ノ注意トヲ要スルノミナラズ壯蠶期ニ於テ一時ニ多クノ勞力ヲ必要トシ單ナル隣保共助ニ依リテハ彼此融通作業ヲ行フコト殆ド望ミ難キ實情ニ有之候ニ付テハ今般雜蠶ノ共同飼育、壯蠶ノ共同飼育又ハ分配飼育ヲ獎勵シ蠶作ノ不安ヲ除クト共ニ生産力ノ減退ヲ防止シ以テ養蠶經營ノ

養蠶共同施設獎勵ニ關スル件

安定ヲ圖ルノ必要ヲ認メ昭和十三年度ニ於テ養蠶共同施設ヲ獎勵スルコトトシ左記要項ニ依リ之ヲ實施スルコトト相成候ニ付テハ本事業ノ趣旨篤ト御諒知ノ上目的達成上萬遺憾ナキ様御配意相成度依命此段及通牒候也

記

養蠶共同施設助成金交付要項

- 第一 農林大臣ハ事變下養蠶經營ノ安定ヲ圖ル目的ヲ以テ養蠶共同施設ヲ助成スル爲本要項ニ依リ豫算ノ範圍内ニ於テ助成金ヲ交付ス
- 第二 助成金ハ養蠶實行組合カ左ニ掲グル事業ヲ行フコトヲ條件トシテ道府縣ガ養蠶實行組合ニ交付スル獎勵金ニ對シ道府縣ニ之ヲ交付ス

之ヲ交付スルコト

新用途繭ノ蠶種製造助成ニ關スル件

昭和十五年四月三十日一五蠶第三七八五號
蠶絲局長 依 命 通 牒

政府ハ昭和十四年度ヨリ新用途繭ノ生産ヲ獎勵致スコトト相成リ昭和十四年六月三日附一四蠶第四四六四號蠶絲局長依命通牒ニ基キ原蠶種製造助成金ヲ交付致シ居リ候處本年度ヨリハ別紙要項ニ依リ適當ナル道府縣ノ原蠶種及普通蠶種ノ製造ニ對シ助成金ヲ交付スルコトト相成候ニ付本施設ノ目的達成上可然御配意相成度依命此段及通牒候也

新用途繭ノ蠶種製造助成金交付要項

- 第一 農林大臣ハ新用途繭生産獎勵ノ目的ヲ以テ其ノ原蠶種及普通蠶種ノ製造ヲ助成スル爲本要項ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ助成金ヲ交付ス
- 第二 助成金ハ道府縣ノ新用途繭ノ原蠶種及普通蠶種ノ製造ニ要スル費用ニ對シ之ヲ交付ス但シ別ニ國庫ヨリ獎勵金、補助金又ハ助成金ノ交付ヲ受クベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第三 助成金ノ額ハ原蠶種一蛾ニ付十二錢以内、普通蠶種

テハ農林大臣ハ助成金交付ノ許可ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル助成金ノ全部若ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本要項ニ違反シタルトキ
- 二 助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ

第四中二月末日迄トアルハ昭和十五年度ニ限リ六月二十日迄トス

第一號

事業計畫書(事業成績書)

計	品種別				備考
	原蠶種(普通蠶種)製造數量	掃立供用數量	配付數量	其ノ他計	
	蛾(瓦)	蛾(瓦)	蛾(瓦)	蛾(瓦)	

備考

新用途繭ノ蠶種製造助成ニ關スル件

新用途繭生産處理施設助成ニ關スル件

- 一 瓦ニ付十錢以内トス但シ特ニ已ムコトヲ得ザル事由アル場合ニ於テハ此ノ率ヲ超テ交付スルコトアルベシ
- 第四 助成金ノ交付ヲ受ケントスル道府縣ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ

一 様式第一號ニ依ル事業計畫書

二 様式第二號ニ依ル收支豫算書

前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第五 助成金交付ノ許可ヲ受ケタル道府縣第四第一項各號ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受クベシ

第六 助成金交付ノ許可ヲ受ケタル道府縣助成金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ請求書ニ様式第二號ニ依ル收支精算書及様式第一號ニ依ル事業成績書ヲ添へ翌年度四月十日迄ニ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第七 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣助成金ノ交付ヲ受ケテ支出シタル費用ヲ返納セシメタルトキハ事由ヲ具シ其ノ旨ヲ遲滞ナク農林大臣ニ報告スベシ

第八 助成金ノ交付ノ許可ヲ受ケタル道府縣又ハ助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於

本表ハ原蠶種、普通蠶種別ニ作成スルコト

様式第二號亦同シ

第二號

收支豫算書(收支精算書)

收入ノ部(支出ノ部)

項 目	豫算額		前年度豫算額		比 較	摘 要
	圓	圓	圓	圓		
					増	
					減	

備考

摘要欄ニハ算出内譯ヲ記載スルコト

新用途繭生産處理施設助成ニ關スル件

昭和十五年四月三十日一五蠶第三七八六號
蠶絲局長 依 命 通 牒

政府ハ昭和十四年度ヨリ新用途繭ノ廉價適品生産ヲ獎勵ス

蠶絲業改良獎勵規則

二七四

ル爲之カ生産處理施設ニ對シ助成金ヲ交付致居候處右ハ爾今別紙要項ニ依リ之ヲ交付スルコトト相成候條御諒知相成度依命此段及通牒候也

新用途繭生産處理施設助成金交付要項

- 第一 農林大臣ハ新用途繭ノ廉價生産處理ヲ獎勵スル爲左ニ掲グル事項ニ關シ本要項ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ道府縣ニ助成金ヲ交付ス但シ別ニ國庫ヨリ獎勵金、補助金又ハ助成金ノ交付ヲ受クベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ
 - 一 繭生産施設
 - 二 繭處理施設
 - 三 蠶種ノ購入
 - 四 指導督勵施設
- 第二 繭生産施設ニ關スル助成金ハ道府縣ノ左ニ掲グル補助金ニ對シ之ヲ交付ス
 - 一 養蠶實行組合カ新用途繭生産ニ關シ左ニ掲グル事業ヲ行フコトヲ條件トシテ養蠶實行組合ニ對シ交付スル補助金
 - (一) 組合員ノ生産ニ關スル實施計畫ノ樹立
 - (二) 組合員ノ特殊桑園ノ設置又ハ桑園肥培管理ノ改善

用ニ對シ交付スル補助金

- 第六 助成金ノ額ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付ス
 - 一 繭生産施設ニ關スル助成金ニ在リテハ一養蠶實行組合ニ付二百五十圓以内
 - 二 繭處理施設ニ關スル助成金ニ在リテハ生繭一貫匁ニ付四十錢以内
 - 三 蠶種ノ購入ニ關スル助成金ニ在リテハ蠶種一瓦ニ付十錢以内
 - 四 指導督勵施設ニ關スル助成金ニ在リテハ道府縣ノ費用ニ對シ一道府縣ニ付千二百五十圓以内、道府縣ノ補助金ニ對シ一道府縣養蠶業組合聯合會ニ付四百五十圓以内、一養蠶業組合ニ付二百五十圓以内
- 特ニ已ムコトヲ得ザル事由アル場合ニ於テハ助成金ハ前項ノ標準ヲ超エテ之ヲ交付スルコトアルベシ
- 第七 助成金ノ交付ヲ受ケントスル道府縣ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ
 - 一 様式第一號ニ依ル事業計畫書
 - 二 様式第二號ニ依ル經費豫算書

第一號

新用途繭生産處理施設助成ニ關スル件

二七五

(三) 組合員ノ蠶種ノ共同催青及稚蠶共同飼育

- (四) 組合員ノ飼育法及上蔭法ノ簡易化
- 二 養蠶業組合ノ交付スル前號ノ補助金ニ對シ交付スル補助金
- 第三 繭處理施設ニ關スル助成金ハ道府縣ノ左ニ掲グル補助金ニ對シ之ヲ交付ス
 - 一 養蠶實行組合ノ新用途繭ノ乾燥、保管、集荷、輸送等ノ共同處理ニ要スル費用ニ對シ交付スル補助金
 - 二 養蠶業組合ノ交付スル前號ノ補助金ニ對シ交付スル補助金
- 第四 蠶種ノ購入ニ關スル助成金ハ道府縣ノ左ニ掲グル補助金ニ對シ之ヲ交付ス
 - 一 養蠶實行組合ノ新用途繭用普通蠶種ノ購入ニ要スル費用ニ對シ交付スル補助金
 - 二 養蠶業組合ノ交付スル前號ノ補助金ニ對シ交付スル補助金
- 第五 指導督勵施設ニ關スル助成金ハ道府縣ノ左ニ掲グル費用又ハ補助金ニ對シ之ヲ交付ス
 - 一 新用途繭ノ生産ニ關スル指導督勵竝ニ蠶種配給及繭處理ノ斡旋等ノ施設ニ要スル費用
 - 二 道府縣養蠶業組合聯合會又ハ養蠶業組合ノ前號ノ費用

三 補助監督ニ關スル規程

- 前項各號ノ書類ニ記載シタル事項ニ變更アリタルトキハ事由ヲ具シ遲滞ナク其ノ旨農林大臣ニ報告スベシ
 - 第八 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ様式第一號ニ依ル事業成績書及様式第二號ニ依ル經費決算書ヲ翌年度六月三十日迄ニ農林大臣ニ提出スベシ
 - 第九 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣助成金ノ交付ヲ受ケテ支出シタル費用又ハ補助金ヲ返納セシメタルトキハ事由ヲ具シ其ノ旨遲滞ナク農林大臣ニ報告スベシ
 - 第十 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ既ニ交付シタル助成金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ
 - 一 本要項又ハ助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
 - 二 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
 - 三 決算額カ豫算額ニ比シ減少シタルトキ
- 附則
- 第七中二月末日迄トアルハ昭和十五年度ニ限り五月三十一日迄トス

事業計畫書(事業成績書)
(イ) 要項第二乃至第四ニ依ルモノ

養蠶業組合別	實施養蠶實行組合數	實施養蠶實行組合員數	蠶種購入數量	繭處理數量(生)	平均一實施養蠶實行組合當		摘	要
					實施組合員數	蠶種購入數量(生)		
計								

備考

- 一 本表ハ之ヲ春蠶、夏秋蠶別ニ調製スルコト
- 二 要項第二第二號、第三第二號又ハ第四第二號ニ該當スルモノハ摘要欄ニ其ノ旨ヲ記載スルコト

(ロ) 要項第五ニ依ルモノ

縣(道府)指導督勵費	縣(道府)養蠶業組合聯合會指導督勵費	何々養蠶業組合指導督勵費	豫算額(決算額)		道府縣補助金(國庫助成金)	同上補助率	摘	要
			國庫助成	道府縣負擔額				
計								

第二號

經費豫算書(經費決算書)

(イ) 要項第二乃至第四ニ依ルモノ

繭生產施設補助金	繭處理施設補助金	蠶種購入補助金	豫算額(決算額)		養蠶業組合豫算額(決算額)	摘	要
			國庫助成	道府縣負擔額			
計							
						實施養蠶實行組合數	組合
						繭(生)處理數量	圓貫
						繭一貫及當補助金額	圓貫
						蠶種購入數量	圓瓦
						蠶種一瓦當補助金額	圓瓦

備考

摘要欄ノ記載事項ハ之ヲ春蠶、夏秋蠶別ニ明記スルコト

(ロ) 要項第五ニ依ルモノ

道府縣指導督勵費	團體指導督勵補助金	道府縣養蠶業組合聯合會ノ分	豫算額(決算額)			摘	要
			國庫助成	道府縣負擔額	總額		
計							

新用途繭生產處理施設助成ニ關スル件

養蠶業組合ノ分		實施養蠶業組合數	
計		一 組合當補助金額	
		組合	

新用途繭生產處理施設助成ニ關スル件

昭和十五年四月三十日一五蠶局第五八八號

標記ノ件ニ關シ本日別途依命通牒候處要項第一第三號蠶種ノ購入助成金ハ本年度春蠶用蠶種ニ限リ之ヲ交付シ同夏秋蠶用蠶種ヨリハ之ヲ製造シタル道府縣ニ對シ四月三十日附一五蠶第三、七八五號新用途繭ノ蠶種製造助成ニ關スル件ニ依リ助成金ヲ交付スルコトトシタル義ニ付御承知相成度尙左記事項御諒知相成度此段及通牒候也

記

- 一 本事業ハ全國中適當ト認ムル道府縣ヲ選定シ試驗的ニ實施スルモノナルヲ以テ之カ指導督勵方ニ關シ特ニ配意アリタキコト
- 二 要項第七ニ依リ助成金交付申請書ノ提出ニ當リテハ申請書、事業計畫書及經費豫算書ヲ寫テ添付スルコト
- 三 要項第二乃至第四ニ關スル補助金ハ養蠶實行組合ノ事

新用途繭生產費低減研究助成ニ關スル件

昭和十四年六月三日一四蠶局第四四六一號

新用途繭生產ニ對スル研究ヲ行ヒ以テ之カ適品生産ト生産費低減トノ實現ニ努ムルノ要アルヲ認メ本年度ヨリ新ニ之カ獎勵ニ必要ナル經費ヲ豫算ニ計上シ適當ナル道府縣ヲシテ研究ヲ行ハシメ別紙要項ニ依リ助成金ヲ交付スルコトト相成候處貴縣(府)蠶業試驗場ヲシテ右ニ關スル研究ヲ行ハシメラレルニ於テハ助成金ヲ交付可相成見込ニ候條御諒知ノ上可然御配意相成度依命此段及通牒候也

新用途繭生產費低減研究助成金交付要項

第一 農林大臣ハ新用途繭ノ適品生産及生産費低減ニ關スル研究ヲ助成セシカ爲本要項ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ助成金ヲ交付ス

第二 助成金ハ道府縣ノ新用途繭生産ニ關スル栽桑、飼育、上蔭及產繭處理方法等ニ關スル研究ニ要スル費用ニ對シ道府縣ニ之ヲ交付ス但シ別ニ國庫ヨリ獎勵金、補助金、又ハ助成金ノ交付ヲ受クベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三 助成金ノ交付ヲ受ケントスル道府縣ハ申請書ニ左ニ掲ケル書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

- 一 事業計畫書
- 二 別記様式ニ依リ經費豫算書

前項各號ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第四 助成金交付ノ許可ヲ受ケタル道府縣第三第一項各號ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受クベシ

第五 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ事業成績書及別記様式ニ依リ經費決算書ヲ翌年度六月三十日迄ニ農林大臣ニ提出スベシ

第六 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣本研究ヲ完了シタル新用途繭生產費低減研究助成ニ關スル件

トキハ其ノ成績ヲ取纏メ農林大臣ニ報告スベシ

第七 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣助成金ノ交付ヲ受ケテ支出シタル費用ヲ返納セシメタルトキハ事由ヲ具シ其ノ旨ヲ遲滞ナク農林大臣ニ報告スベシ

第八 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ既ニ交付シタル助成金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本要項又ハ助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 二 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 三 決算額ガ豫算額ニ比シ減少シタルトキ

附則

第三中二月末日迄トアルハ昭和十四年度ニ限リ六月二十日迄トス

別記様式

經費豫算書(經費決算書)

借地料	豫算額	前年度豫算額	比較	摘要
	(決算額)	算額		
圓	圓	圓	増減	

肥料代	
桑苗代	
備人料	
備品費	
消耗品費	
圖書印刷費	
其ノ他	
計	

備考

摘要欄ニハ算出内譯ヲ記載スルコト

季節養蠶指導員設置助成ニ關スル件

昭和十四年六月三日一四蠶第四四六二號
蠶絲局長 依 命 通 牒

昭和九年四月農林省令第五號養蠶實行組合指導員設置助成規則ニ依リ設置シタル養蠶實行組合指導員ニシテ應召アリタル場合ノ處置方ニ關シテハ昭和十二年八月十九日附一二

蠶第七三四六號蠶絲局長名ヲ以テ別途及通牒置候處今回蠶絲業現下ノ情勢ニ鑑ミ繭増産確保ト統後養蠶經營ノ安定ヲ期セシガ爲一段ト指導ノ徹底ヲ期スルノ要緊切ナルモノアルヲ認メ昭和十四年度ヨリ更ニ季節養蠶指導員ノ設置ニ對シ別紙要項ニ依リ國庫ヨリ助成金ヲ交付スルコトト相成候ニ付テハ本施設ノ目的達成上遺憾ナキヲ期セラレ度依命此段及通牒候也

季節養蠶指導員設置助成金交付要項

- 第一 農林大臣ハ季節養蠶指導員ノ設置ヲ獎勵スル爲本要項ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ助成金ヲ交付ス
- 第二 助成金ハ道府縣ノ左ニ掲グル補助金ニ對シ道府縣ニ之ヲ交付ス但シ別ニ國庫ヨリ獎勵金、補助金又ハ助成金ノ交付ヲ受クベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ
 - 一 養蠶業組合ノ設置スル季節養蠶指導員ノ俸給ニ對シ交付スル補助金
 - 二 道府縣養蠶業組合聯合會ノ交付スル前號ノ補助金ニ對シ交付スル補助金
 - 三 助成金ノ額ハ季節養蠶指導員一人ニ付月額三十圓以内ニシテ總額二百十圓ヲ超エザルモノトス
 - 第四 助成金ノ交付ヲ受ケントスル道府縣ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベ

第六 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣助成金ノ交付ヲ受ケテ支出シタル補助金ヲ返納セシメタルトキハ事由ヲ具シ

其ノ旨ヲ遲滞ナク農林大臣ニ報告スベシ

第七 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ既ニ交付シタル助成金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命スルコトアルベシ

- 一 本要項又ハ助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 二 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 三 決算額ガ豫算額ニ比シ減少シタルトキ

附 則

第四中二月末日迄トアルハ昭和十四年度ニ限り六月二十日迄トス

様式

第一號

事業計畫書(事業成績書)

指導員設置 養蠶業組合 別	指導員設 置員數	設		置		費		道府縣ノ 補助金	道府縣養 蠶業組合 聯合會補 助金	摘 要
		平均一人當設置費	總額	平均一人當俸給	補助金	道府縣ノ補助金	道府縣養蠶業組合聯合會補助金			
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	

季節養蠶指導員設置助成ニ關スル件

第五章

產繭處理統制法關係法規

一 產繭處理統制法關係法規

産繭處理統制法

昭和十一年五月二十六日法律第九號

第一條 養蠶者ノ依ルベキ繭ノ處理方法ハ地方ノ狀況其ノ他特別ノ事由ニ因リ生繭ノ賣買取引ヲ必要トスル場合ヲ除クノ外左ノ各號ニ掲グルモノトス

- 一 乾繭ニ依ル賣買取引（乾繭取引）
- 二 收購前爲シタル契約ニ基キテ行フ生繭ノ賣買取引（特約取引）
- 三 産業組合又ハ産業組合聯合會ニ依リ行フ製絲加工（組合製絲）

四 前各號ニ掲グルモノノ外勅令ヲ以テ定ムル方法

第二條 道府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ繭ノ品位ニ付檢定ヲ行フベシ
前項ノ規定ニ依ル繭ノ檢定ニ關シ必要ナル費用ハ道府縣ノ負擔トス但シ國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ豫算ノ範圍内ニ於テ道府縣ニ對シ其ノ檢定施設ニ要スル經費ノ二分ノ一以内ヲ補助スルコトヲ得

第三條 繭ノ賣買取引其ノ他命令ヲ以テ規定スル繭ノ處理ハ前條ノ檢定ニ依ル品位ニ依ルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ但シ命令ヲ以テ規定スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

産繭處理統制法

第四條 特約取引ヲ爲サントスル者ハ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ認可ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 蠶絲業組合又ハ繭ノ處理ヲ爲ス團體ガ其ノ組織員ノ繭ノ處理ニ關シ統制ヲ爲シタル場合ニ於テ行政官廳必要アリト認ムルトキハ其ノ統制ヲ故ナク棄シ又ハ棄サントスル組織員ニ對シ其ノ組合又ハ團體ノ統制ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得
前項ノ規定ハ蠶絲業組合法第十八條第二號ニ掲グル者ニ付テハ之ヲ適用セズ

第六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

- 一 第三條ノ規定ニ違反シタル者
- 二 第四條ノ認可ヲ受ケズシテ特約取引ノ契約ヲ爲シタル者

第七條 養蠶者、養蠶實行組合、繭ノ處理ヲ爲ス産業組合其ノ他ノ法人、繭ノ賣買取引若ハ取次ヲ業トスル者又ハ製絲業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

産繭處理統制法關係法規

二九〇

第八條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

昭和十二年三月三十一日
勅令第四十九號

第九條 第五條ノ規定ニ依ル行政官廳ノ命令ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ過料ニ處ス

昭和十五年一月十三日
勅令第十三號

第十條 本法ハ命令ヲ以テ定ムル繭ノ處理ニ付テハ之ヲ適用セズ

産繭處理統制法第一條第四號ノ規定ニ依リ繭ノ處理方法ヲ定ムルノ件

昭和十一年十月二十二日
勅令第三百八十四號

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

産繭處理統制法施行期日ノ件

昭和十一年十一月二十二日
勅令第三百八十三號

産繭處理統制法第一條、第四條、第五條、第六條第二號及第七條乃至第十條ノ規定ハ昭和十一年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ昭和十一年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

産繭處理統制法施行規則

昭和十一年十月二十二日
農林省令第三十號

第一條 特約取引ノ認可ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シ當事者連署ノ上繭生産地ヲ管轄スル地方長官ニ之ヲ提出スベシ

ル書類

四 賣方タル養蠶實行組合又ハ産業組合ノ最近三年間ニ於ケル各年ノ繭處理狀況ノ概要ヲ記載シタル書類

一 契約期間

二 繭價格ノ決定方法

三 繭代金支拂ノ時期及方法

四 繭受渡ノ場所及方法

五 買方ニ於テ賣方ニ對シ蠶種其ノ他ノ物品ノ供給又ハ購入斡旋、資金ノ融通、奨励金ノ交付、養蠶又ハ栽桑ニ關スル指導等ヲ爲ス場合ニ在リテハ其ノ要領

六 第三條但書ニ該當スル場合ニ在リテハ其ノ特別ノ事由

由

第二條 前條ノ申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 契約書案

二 契約期間内各年ノ蠶期別繭取引豫定數量ヲ記載シタル書類

三 賣方タル養蠶實行組合又ハ産業組合ニ屬スル養蠶者ノ數及其ノ一年間ノ蠶期別繭生産額概定數ヲ記載シタル書類

産繭處理統制法施行期日ノ件
産繭處理統制法第一條第四號ノ規定ニ依リ繭ノ處理方法ヲ定ムルノ件
産繭處理統制法施行規則

二九一

第八條 特約取引ノ認可ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ヅベシ

- 一 特約取引ノ契約ヲ爲シタルトキ
- 二 特約取引ノ契約期間ヲ短縮シタルトキ
- 三 第一條第四號又ハ第五號ニ掲グル事項ヲ變更シタルトキ
- 四 特約取引ノ契約ヲ解約シタルトキ

前項第一號ノ場合ニ在リテハ届出書ニ契約書ノ謄本ヲ添附スベシ

第九條 特約取引ヲ爲シタル者ハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ特約取引報告書ヲ地方長官ニ提出スベシ

第十條 特約取引ノ認可ヲ受ケタル者ノ所爲ニシテ産繭處理統制法若ハ之ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認めタルトキハ地方長官ハ認可ヲ取消スコトヲ得

第十一條 乾繭ノ賣買取引ニシテ買方ニ於テ賣方ニ對シ收繭前蠶種其ノ他ノ物品ノ供給若ハ購入斡旋、資金ノ融通、獎勵金ノ交付又ハ養蠶若ハ栽桑ニ關スル指導ヲ爲スモノハ其ノ賣買取引ニ付繭生産地ヲ管轄スル地方長官ノ定ムル所ニ依リ地方長官ノ認可ヲ受ケベシ

第十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

- 一 第七條ノ規定ニ違反シタル者
- 二 第十一條ノ認可ヲ受ケズシテ乾繭ノ賣買取引ヲ爲シタル者

第十七條 第八條第一項又ハ第九條ノ規定ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十八條 玉繭又ハ屑繭ノ處理ニ付テハ産繭處理統制法及本則ノ規定ハ之ヲ適用セズ左ノ各號ノ一ニ該當スル繭ノ處理ニ付亦同シ

- 一 學術研究ノ用ニ供セントスルトキ
- 二 蠶種製造其ノ他生絲製造以外ノ用ニ供セントスルトキ
- 三 自家製絲ノ用ニ供セントスルトキ

第十九條 産繭處理統制法第四條ノ行政官廳ハ地方長官トス
産繭處理統制法第五條ノ行政官廳ハ農林大臣及地方長官トス
第十三條及第十四條ニ於テ地方長官トアルハ繭ノ處理ヲ爲ス團體ノ區域ガ道府縣ノ區域ヲ超ユル場合ニ在リテハ農林大臣トス

第十二條 産繭處理統制法第五條ノ繭ノ處理ヲ爲ス團體ハ繭ノ處理ヲ爲ス産業組合、産業組合聯合會及蠶絲共同施設組合トス

第十三條 蠶絲業組合又ハ繭ノ處理ヲ爲ス團體ハ總會又ハ總代會ノ決議ニ基キ地方長官ニ對シ産繭處理統制法第五條ノ規定ニ依リ命令ヲ發スルコトヲ申請スルコトヲ得
前項ノ決議ニハ蠶絲業組合ニ在リテハ蠶絲業組合法第三十六條第一項ノ規定ヲ、繭ノ處理ヲ爲ス團體ニ在リテハ産業組合法第二十八條ノ規定ヲ準用ス

第十四條 蠶絲業組合又ハ繭ノ處理ヲ爲ス團體前條ノ申請ヲ爲サントスルトキハ申請書ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シ地方長官ニ之ヲ提出スベシ

- 一 申請ノ理由
- 二 統制施設
- 三 統制ヲ確保スル爲執リタル措置

前項ノ申請書ニハ統制施設ニ關スル決議録ノ謄本又ハ定款及前條第一項ノ規定ニ依リ決議録ノ謄本ヲ添附スベシ
前項ノ書類ノ外地方長官ハ必要ト認めル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第十五條 地方長官産繭處理統制法第五條ノ規定ニ依リ命令ヲ發セントスルトキハ豫メ農林大臣ノ指揮ヲ請フベシ

第二十條 地方長官産繭處理統制法及本則ノ施行ニ關スル規定ヲ定メントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受ケベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

産繭處理統制法施行ニ關スル件

昭和十一年十月二十二日附 一蠶第八五一〇號次官通牒

政府ハ養蠶者産繭處理ノ確保ト取引ノ公正圓滑ヲ圖リ以テ蠶絲業ノ維持更生ヲ期スルコトノ最緊要ナルヲ認め第六十九回帝國議會ノ協賛ヲ經テ産繭處理統制法ヲ制定シ本年十月二日ヨリ其ノ一部ヲ施行スルコトトシ今般同法施行規則公布相成候處之カ所期ノ效果ヲ擧ゲ得ルト否トハ懸ツテ法律運用ノ當否竝ニ關係業者指導ノ適否ニ存スルヲ以テ廳府縣ニ於テモ右ノ趣旨ヲ體シ左記事項了知ノ上法律制定ノ目的達成上萬遺憾ナキヲ期セラレ度依命此段及通牒候也
追而産繭處理統制法第二條第一項及第三條ノ規定ハ道府縣繭檢定所ノ檢定設備ノ完備ヲ俟チ大體昭和十四年頃ヨリ施行ノ豫定ニ有之候條右施行期以前ニ於テ速ニ之カ必要ナル設備ノ普及擴充ヲ圖ラレ度爲念申添候

記

第一 産繭處理方法ノ合理化ニ關スル事項（産繭處理統制法第一條）

(一) 産繭處理ノ基礎團體タル養蠶實行組合ノ指導方針

(1) 蠶絲業組合法中改正法律ニ基キ組合ノ區域ハ其ノ重複ヲ避ケ且出來得ル限り部落又ハ之ニ準ズル區域ヲラシメ以テ協同團體トシテノ機能發揮ニ遺憾ナカラシムルコト

(2) 組合員ノ産繭ニ付テハ規畫ノ統一ヲ圖ルト共ニ其ノ處理方法ハ出來得ル限り之ヲ一處理形態ヲラシムルコト

(二) 産業組合ノ産繭處理ヲ行フ場合ノ指導方針

(1) 養蠶者（養蠶實行組合ヲ含ム）ヲ町村産業組合ニ加入セシメ其ノ産業組合又ハ同聯合會ニ依リ産繭處理ヲ爲サシムルカ或ハ養蠶者（養蠶實行組合ヲ含ム）ノミヲ以テ産業組合ヲ組織セシメ其ノ産業組合又ハ同聯合會ニ依リ産繭處理ヲ爲サシムルカハ共ニ地方ノ事情ニ即シ之ヲ定ムルコト

(2) 乾繭販賣又ハ生絲販賣ヲ目的トスル産業組合ノ區域ハ原則トシテ郡市トスルコトトシ郡市以上ニ互ル場合ニ於テハ特別ノ事由ナキ限り聯合會組織ヲラシ

(二) 産繭處理統制法施行規則第三條第一項但書ニ該當スル場合ハ成ルベク賣方が産業組合聯合會ナルトキ又ハ買方が委託製絲ノ目的ヲ以テ繭ノ購入ヲ爲ス者ナルトキニ限ルコト

(三) 特約取引ノ認可ハ當該地方ニ於ケル既存ノ産繭處理狀況並ニ將來ノ推移就中乾繭販賣組合若ハ生絲販賣組合ノ供繭又ハ従前ノ特約取引關係ニ及ボス影響等ヲ十分考慮シ且契約内容及買方タル當事者ノ契約履行ニ關スル資力信用等ヲ精査シタル上之ヲ爲スコト

(四) 蠶絲業法第十九條ノ規定ニ基キ制定セラレタル繭買買取締ニ關スル府縣令中特約取引取締ニ關スル規定（強制檢定ニ關スルモノヲ除ク）ハ之ヲ改廢スルコト

産繭處理統制法施行手續標準

ニ關スル件

昭和十一年十月二十二日附
一一蠶局第一七五八號蠶絲局長通牒

産繭處理統制法ハ本年十二月一日ヨリ其ノ一部施行セラレルコトト相成本日官報ヲ以テ關係勅令及同法施行規則夫々

産繭處理統制法施行ニ關スル件 産繭處理統制法施行手續標準ニ關スル件

ムルコト

(3) 既存ノ乾繭又ハ生絲販賣ヲ目的トスル産業組合ニシテ區域廣汎ニ互リ供繭ノ實件ハザルモノニ付テハ之ヲ聯合會組織ニ改組セシムルカ或ハ區域ヲ縮小セシメ其ノ供繭確保ト經營ノ刷新ヲ圖ラシムルコト
尙區域重複セルモノニ付テハ區域ノ整理廢合又ハ組合自體ノ整理合同ヲ行ハシムルコト

(4) 同一區域内ニ於ケル乾繭販賣組合及生絲販賣組合ノ重複ハ原則トシテ之ヲ認メザルコト

(5) 既存ノ乾繭販賣組合又ハ生絲販賣組合ニシテ經營不振ナルモノハ速ニ整理合同其ノ他ノ方法ニヨル更生計畫ヲ樹立セシムルコト

(三) 産繭處理指導機關

右ノ産繭處理指導ニ當リテハ道府縣養蠶業組合聯合會及養蠶業組合ヲシテ製絲業組合、産業組合指導團體其ノ他關係團體ト能ク協調ヲ保タシメ以テ其ノ機能ヲ發揮セシムルコト

第二 特約取引ノ認可ニ關スル事項（産繭處理統制法第四條）

(一) 産繭處理統制法施行規則第一條第二號ノ繭價格ノ決定方法ハ繭檢定ノ成績、絲價及生絲生産費等ヲ基礎ト

公布セラレ候處之ガ施行ニ關シ道府縣ニ於テ制定公布相成ルベキ施行手續制定上ノ参考ノ爲別添産繭處理統制法施行手續標準及送付候也

産繭處理統制法施行手續標準

第一條 産繭處理統制法施行規則第一條ノ規定ニ依リ特約取引ノ認可申請書ハ春蠶繭ヨリ取引ヲ爲サントスルモノニ在リテハ 月 日迄ニ、夏秋蠶繭ヨリ取引ヲ爲サントスルモノニ在リテハ 月 日迄ニ様式第一號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

第二條 前條ノ認可申請書ニハ産繭處理統制法施行規則第二條第一項各號ニ掲グル書類ノ外左ノ書類ヲ添付スベシ

一 賣方タル養蠶實行組合又ハ産業組合ノ組合員ノ一部ガ組合ニ對シ特約取引ノ爲供繭スル場合ニ於テハ其ノ供繭ヲ爲ス組合員ノ氏名及他ノ組合員ノ産繭處理方法ノ概要ヲ記載シタル書類

二 賣方タル養蠶實行組合、産業組合又ハ其ノ組合員ガ繭ノ處理ヲ爲ス産業組合又ハ産業組合聯合會ノ組合員又ハ所屬組合ナル場合ニ於テハ之ニ對スル供繭義務數量ヲ記載シタル書類

三 賣方タル養蠶實行組合又ハ産業組合ガ現ニ他ノ製絲業者、繭買業者又ハ蠶絲共同施設組合ト特約取引ヲ

産蘭處理統制法關係法規

爲ス場合ニ於テハ其ノ相手方ノ氏名又ハ名稱及契約期間内各年ノ蠶期別蘭取引豫定數量ヲ記載シタル書類
 第三條 特約取引ヲ認可シタルトキハ買方ニ對シ認可指令書ヲ交付シ賣方ニ對シ其ノ旨ヲ通知ス
 前項ノ認可指令書ノ交付ヲ受クベキ場所ハ豫メ本縣内ニ於テ之ヲ定メ特約取引ノ認可申請書ニ之ヲ記載スベシ
 第四條 特約取引ノ賣方第二條第一號又ハ第二號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ知事ニ届出ツベシ
 第五條 産蘭處理統制法施行規則第四條第二項ノ規定ニ依ル特約取引ノ認可申請書ハ契約期間満了前 月迄ニ知事ニ之ヲ提出スベシ
 第六條 産蘭處理統制法施行規則第七條ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ變更ノ事由ヲ記載スベシ
 第七條 特約取引ノ買方ハ産蘭處理統制法施行規則第九條ノ規定ニ依ル特約取引報告書ヲ毎年 月 日迄ニ様式第二號ニ依リ知事ニ提出スベシ
 第八條 産蘭處理統制法施行規則第十一條ノ規定ニ依ル乾蘭ノ賣買取引ノ認可ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シ當事者連署ノ上様式第一號ニ準シ知事ニ之ヲ提出スベシ

一 契約期間
 二 蘭價格ノ決定方法
 三 蘭代金支拂ノ時期及方法
 四 蘭乾燥ノ場所並ニ蘭受渡ノ場所及方法
 五 買方カ賣方ニ對シテ行フ蠶種其ノ他ノ物品ノ供給若ハ購入斡旋、資金ノ融通、獎勵金ノ交付又ハ養蠶若ハ栽桑ニ關スル指導ノ要領
 第九條 産蘭處理統制法施行規則第十一條ノ認可ヲ受ケタル者前條第二號又ハ第三號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ知事ノ認可ヲ受クベシ
 前項ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ變更ノ事由ヲ記載スベシ
 第十條 産蘭處理統制法施行規則第十一條ノ認可ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ遲滞ナク其ノ旨ヲ知事ニ届出ツベシ
 一 第八條第四號又ハ第五號ニ掲グル事項ヲ變更シタルトキ
 二 契約期間ヲ短縮シ又ハ契約ヲ解約シタルトキ
 第十一條 産蘭處理統制法施行規則第十一條ノ乾蘭ノ賣買取引ノ買方ハ乾蘭取引報告書ヲ毎年 月 日迄ニ様式第二號ニ準シ知事ニ提出スベシ

第十二條 産蘭處理統制法施行規則第二條乃至第四條、第六條及第十條並ニ本手續第一條乃至第五條ノ規定ハ産蘭處理統制法施行規則第十一條ノ乾蘭ノ賣買取引ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス
 第十三條 第九條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
 第十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
 一 第四條ノ規定ニ違反シタル者
 二 第十條又ハ第十一條ノ規定ニ違反シタル者
 三 第十二條ノ規定ニ依リ準用スル本手續第四條ノ規定ニ違反シタル者

附 則

本令ハ昭和十一年 月 日ヨリ之ヲ施行ス
 様式

第一號

特約取引認可申請書

今般下名當事者間ニ於テ特約取引致度候ニ付テハ産蘭處理統制法施行規則第一條ノ記載事項左記ノ通ニ有之候條御認可相成度關係書類相添ヘ此段連署ヲ以テ及申請候也
 年 月 日

産蘭處理統制法施行手續標準ニ關スル件

知事宛

記

- (五) 産蘭處理統制法施行規則第一條第五號ニ關スル事項
 一 契約期間
 二 蘭價格ノ決定方法
 三 蘭代金支拂ノ時期及方法
 四 蘭受渡ノ場所及方法

蠶種ノ供給又ハ購入斡旋ノ方法	供給ノ指定又ハ購入斡旋ノ別方法	代金決済ノ時期及方法	供給物品ノ種類	購入斡旋物品ノ種類	代金決済ノ時期及方法
物品ノ供給又ハ購入斡旋	物品ノ供給又ハ購入斡旋	物品ノ供給又ハ購入斡旋	物品ノ供給又ハ購入斡旋	物品ノ供給又ハ購入斡旋	物品ノ供給又ハ購入斡旋

賣方住所 代表者氏名 名印
 買方住所 業種氏名 名稱 印
 (代表者氏名印)

資金ノ融 通	融通期間及利率	
	回収ノ時期及方法	
養蠶又ハ 栽桑ニ關 スル指導	指導方法ノ概要	
	養蠶指導員派遣ノ 場合ニ於ケル給料 ノ負擔割合	
獎勵金ノ交付其ノ他	養蠶指導員設置補 助ノ場合ニ於ケル 補助率	

(六) 産繭處理統制法施行規則第三條但書ニ該當スル場合ニ在リテハ其ノ特別ノ事由)

備考

認可指令書ノ交付ヲ受クベキ場所

第二號

特約取引報告書

昭和 年ニ於ケル特約取引ノ概況左記ノ通及報告候也
年 月 日

住所

業種 氏名(名稱)印
(代表者氏名印)

知事宛

ス左ニ掲ケル方法ニ依ル繭ノ處理ハ産繭處理統制法第二
條第一項ノ規定ニ依ル繭ノ檢定(繭檢定)ニ依ル品位ニ
依ルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

一 乾繭取引

二 特約取引

三 委託製絲

四 地方長官ガ農林大臣ノ認可ヲ受ケ指定スル方法ニ依
ル取引

第二條 繭檢定ハ其ノ繭ノ生産地ノ屬スル道府縣之ヲ行フ
但シ第十七條第一項ノ規定ニ依リ繭檢定ノ效力ヲ失ヒタ
ル繭ニ付テハ失効ノ際ノ其ノ繭ノ所在地ノ屬スル道府縣
之ヲ行フ

第三條 道府縣ハ其ノ設置スル繭檢定所ニ於テ繭檢定ヲ行
フベシ

道府縣ハ特別ノ事由アル場合ニ於テ農林大臣ノ認可ヲ受
ケ繭檢定ニ關スル作業ヲ他ノ道府縣ノ設置スル繭檢定所
ニ委託スルコトヲ得

第四條 繭檢定ハ取引(委託製絲ノ委託ヲ含ム)以下之ニ同
シ)ノ相手方ノ定マレル場合ニ於テハ養蠶者及其ノ相手
方、然ラザル場合ニ於テハ養蠶者ノ請求ニ因リ之ヲ行フ
第五條 繭檢定ノ請求ハ相手方ノ定マレル場合ニ於テハ様

産繭處理統制法施行手續標準ニ關スル件 繭檢定規則

記

賣 方	名稱 所在地	供繭シタル組 合員數	蠶品種名	取引繭		供繭シタル組 合員數	蠶品種名	蠶 期
				價格	數量			

(備考) 取引繭ノ數量ハ上繭生量、價格ハ生繭一貫匁當
ヲ記載スルコト)

繭檢定規則

昭和十五年一月十八日農林省令第四號

第一條 養蠶者(養蠶者ノ團體ヲ含ム)以下之ニ同シ)ノ爲

式第一號、然ラザル場合ニ於テハ様式第二號ニ依ル檢定
請求書及檢定供用繭ヲ繭檢定所ニ提出シテ之ヲ爲スベシ
第十七條第一項ノ規定ニ依リ繭檢定ノ效力ヲ失ヒタル繭
ノ繭檢定ノ請求ハ様式第三號ニ依ル檢定請求書、檢定供
用繭及失効セル檢定證ヲ繭檢定所ニ提出シテ之ヲ爲スベ
シ但シ地方長官ノ定ムル場合ニ於テハ檢定供用繭ヲ提出
セザルコトヲ得

第六條 養蠶者又ハ取引ノ相手方二人以上ナルトキハ繭檢
定ノ請求ニ關シ代表者一人ヲ定メ之ヲ檢定請求書ニ記載
スベシ

代表者ニ變更アリタルトキハ繭檢定所長ニ其ノ旨届出ヅ
ベシ

第七條 檢定供用繭ハ左ニ掲ケル所ニ依リ之ヲ提出スベシ
一 相手方ノ定マレル場合ニ於テハ檢定請求者共同シテ
當該荷口ノ繭代金(委託製絲ノ場合ハ委託料額以下之
ニ同シ)決定ノ基礎ト爲スベキ秤量ノ際荷口ノ各部分
ニ互リ採取シ袋詰ト爲シ且封印ヲ施スベシ
二 相手方ノ定マラザル場合ニ於テハ檢定請求者當該荷
口ノ秤量ノ際荷口ノ各部分ニ互リ採取シ袋詰ト爲シ繭
檢定所職員之ニ封印ヲ施シ採取ヲ終リタル當該荷口ノ
繭ニ付テハ檢定請求者袋詰ト爲シ各袋ニ様式第四號ニ

産繭處理統制法關係法規

依ル檢定照合票ヲ結附シ且封印ヲ施シ封印ニハ繭檢定所職員様式第五號ニ依ル證印ヲ捺捺スベシ但シ荷口内容變改ノ虞ナキ設備ニ收容シタル場合ニ於テハ當該荷口ニ對スル檢定照合票ノ結附及封印ハ其ノ設備ニ對シ之ヲ爲スコトヲ得

前項第二號ノ場合ニ於テハ繭檢定所職員ハ檢定請求者ノ秤量、採取、袋詰其ノ他ヲ指揮スルモノトス前項第一號ノ場合ニ於テ地方長官必要アリト認ムルトキ亦同シ

第八條 檢定供用繭ハ左ノ區分ニ依ル數量ノモノヲ提出スベシ

- 一 生繭ノ荷口ノ檢定(生繭檢定)
 - 第一區 一荷口ノ數量七五〇疋(二〇〇貫)迄
 - 第二區 一荷口ノ數量二、二五〇疋(六〇〇貫)迄
 - 第三區 一荷口ノ數量四、五〇〇疋(一、二〇〇貫)迄
 - 第四區 一荷口ノ數量四、五〇〇疋(一、二〇〇貫)ヲ超ユルモノ
- 二 乾繭ノ荷口ノ檢定(乾繭檢定)
 - 第一區 一荷口ノ數量二八一・二五疋(七五貫)迄
 - 第二區 一荷口ノ數量二、二五〇疋(六〇〇貫)迄
 - 第三區 一荷口ノ數量四、五〇〇疋(一、二〇〇貫)迄
 - 第四區 一荷口ノ數量四、五〇〇疋(一、二〇〇貫)ヲ超ユルモノ

法ニ關シ第八條及第十一條ノ規定ニ拘ラズ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第十條 繭檢定ハ左ニ掲グル項目ノ總テニ付之ヲ行フ

- 一 選除繭歩合
- 二 繭ノ整齊度
- 三 解舒絲長
- 四 解舒率
- 五 繭絲織度
- 六 生絲量歩合
- 七 練絲量
- 八 小 類

第十一條 前條第一號及第二號ノ項目ニ付テノ檢定ハ肉眼檢定ヲ以テ左ニ掲グル所ニ依リ之ヲ行フ但シ檢定供用繭生繭ナルトキハ乾繭ト爲シタル後之ヲ行フ

- 一 選除繭歩合
 - 供用繭全部ニ付同功繭其ノ他練絲ニ適セザル繭ヲ選除繭標準ト對照シテ選除シ檢定供用繭全部ニ對スル選除繭ノ重量歩合ヲ算出シ百分比例ヲ以テ其ノ成績ヲ表ス
- 二 繭ノ整齊度
 - 選除繭ヲ除キタル供用繭全部ニ付繭形、繭層ノ厚薄、繭色及縮皺ノ齊否ノ程度ヲ検査シ良、並又ハ稍劣ヲ以

繭檢定規則

三〇〇

第二區 一荷口ノ數量八二五疋(二二〇貫)迄

第三區 一荷口ノ數量一、六五〇疋(四四〇貫)迄

第四區 一荷口ノ數量一、六五〇疋(四四〇貫)ヲ超ユルモノ

第九條 左ニ掲グル場合ニ於テハ繭檢定所長ハ其ノ旨檢定請求者ニ通知シ新ニ檢定供用繭ヲ提出セシムベシ

- 一 檢定供用繭ノ採取方法其ノ他ニ不正ノ廉アリト認めタルトキ
 - 二 檢定供用繭ノ數量其ノ他ニ瑕疵アリト認めタルトキ
 - 三 檢定供用繭ノ滅失、毀損其ノ他ノ事由ニ因リ繭檢定檢定請求者前項ノ規定ニ依リ新ニ提出ヲ命セラレタル檢定供用繭ヲ提出スルコト能ハザル場合ニ於テハ事由ヲ具シ遲滞ナク其ノ旨繭檢定所長ニ届出ヅベシ
- 地方長官ハ前項ノ場合ニ於ケル檢定供用繭數量及檢定方

テ其ノ成績ヲ表ス

前條第三號乃至第八號ノ項目ニ付テノ檢定ハ煮繭シタル後練絲檢定ヲ以テ左ニ掲グル所ニ依リ之ヲ行フ

- 一 練絲檢定
 - 繭四百粒ヲ卷取速度一分間春蠶繭ニ在リテハ二百二十米、夏秋蠶繭ニ在リテハ二百米各六粒付四緒練ニ依リ練絲シ左ニ掲グル所ニ依リ其ノ成績ヲ表ス但シ解舒不良ナリト認ムルトキハ一緒ヲ減シ練絲スルコトヲ得
- 二 解舒率
 - 練絲ニ依リ得タル生絲ノ絲長(米)ニ六ヲ乘ジタルモノヲ練絲中ニ於ケル添緒回数ヲ以テ除シテ表ス
- 三 繭絲織度
 - 練絲ニ依リ得タル生絲ノ正量(瓦)ノ數值ヲ其ノ絲長(米)ノ數值ヲ以テ除シタルモノニ一、五〇〇ヲ乘ジテ表ス

第二練絲檢定

白繭ニ在リテハ目的織度十四「デニール」、黃繭ニ在リテハ目的織度二十一「デニール」トシ左ニ掲グル所

ニ依リ別表ノ緒數及卷取速度ヲ以テ繰絲シ其ノ成績ヲ表ス但シ白繭ニ付檢定請求者ノ希望アリタルトキハ目的度織二十一「デニール」トシ繰絲スルコトヲ得

一 生絲量歩合

(一) 生繭檢定

- (イ) 第一區ノ荷口ニ在リテハ選除繭ヲ除キタル供用繭ノ三十分ノ十ヲ繰絲シテ得タル生絲ノ正量(疋)ヲ一疋ヲ以テ除シ生繭ニ對スル生絲量歩合ヲ算出シ百分比ヲ以テ表ス
- (ロ) 第二區ノ荷口ニ在リテハ選除繭ヲ除キタル供用繭ノ四十五分ノ二十ヲ繰絲シテ得タル生絲ノ正量(疋)ヲ二疋ヲ以テ除シ生繭ニ對スル生絲量歩合ヲ算出シ百分比ヲ以テ表ス
- (ハ) 第三區ノ荷口ニ在リテハ選除繭ヲ除キタル供用繭ノ六十分ノ三十ヲ繰絲シテ得タル生絲ノ正量(疋)ヲ三疋ヲ以テ除シ生繭ニ對スル生絲量歩合ヲ算出シ百分比ヲ以テ表ス
- (ニ) 第四區ノ荷口ニ在リテハ選除繭ヲ除キタル供用繭ノ七十五分ノ四十ヲ繰絲シテ得タル生絲ノ正量(疋)ヲ四疋ヲ以テ除シ生繭ニ對スル生絲

量歩合ヲ算出シ百分比ヲ以テ表ス

(二) 乾繭檢定

- (イ) 第一區ノ荷口ニ在リテハ選除繭ヲ除キタル供用繭ノ十二分ノ四ヲ繰絲シテ得タル生絲ノ正量(疋)ヲ〇・四疋ヲ以テ除シ乾繭ニ對スル生絲量歩合ヲ算出シ百分比ヲ以テ表ス
- (ロ) 第二區ノ荷口ニ在リテハ選除繭ヲ除キタル供用繭ノ十八分ノ八ヲ繰絲シテ得タル生絲ノ正量(疋)ヲ〇・八疋ヲ以テ除シ乾繭ニ對スル生絲量歩合ヲ算出シ百分比ヲ以テ表ス
- (ハ) 第三區ノ荷口ニ在リテハ選除繭ヲ除キタル供用繭ノ二十四分ノ十二ヲ繰絲シテ得タル生絲ノ正量(疋)ヲ一・二疋ヲ以テ除シ乾繭ニ對スル生絲量歩合ヲ算出シ百分比ヲ以テ表ス
- (ニ) 第四區ノ荷口ニ在リテハ選除繭ヲ除キタル供用繭ノ三十分ノ十六ヲ繰絲シテ得タル生絲ノ正量(疋)ヲ一・六疋ヲ以テ除シ乾繭ニ對スル生絲量歩合ヲ算出シ百分比ヲ以テ表ス

二 繰絲量

繰絲ニ依リ得タル生絲ノ正量(瓦)ヲ繰絲ニ要シタル時間ヲ以テ除シ一時間ニ對スル繰絲量(瓦)ヲ以テ表ス

三 小 類

繰絲ニ依リ得タル生絲ヨリ二十「バネル」ヲ採取シ輸出生絲檢査法施行規則ニ依リ小類標準寫眞ニ對照シテ附點シ其ノ平均點數ヲ以テ表ス

第十二條 繭檢定ヲ爲シタル荷口ニハ附録ノ定ムル所ニ依リ格ヲ附ス

前項ノ格ノ等級ハ優等、一等、二等、三等、四等、五等、六等ノ順トス

第十三條 繭檢定所繭檢定ヲ終リタルトキハ檢定請求者ニ對シ様式第六號ニ依リ檢定證ヲ交付ス

養蠶者及取引ノ相手方ヨリ繭檢定ノ請求アリタル場合ニ於テハ檢定證二通ヲ作製シ養蠶者及取引ノ相手方ニ各一通ヲ交付ス

第十四條 檢定請求者其ノ他繭檢定ヲ受ケタル繭ニ付利害關係アル者ハ檢定證ノ謄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第十五條 檢定供用繭ヲ繭檢定ノ爲繰絲シテ得タル生絲(小類檢定料絲及織度絲ヲ除ク)及其ノ殘繭(選除繭ヲ除ク)ハ之ヲ檢定請求者ニ還付ス但シ天災其ノ他已ムヲ得ザル事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

繭檢定規則

前項ノ還付ニ要スル費用ハ檢定請求者ノ負擔トス

第十六條 養蠶者特ニ必要アル場合ニ於テ繭檢定ヲ受ケタル繭ノ荷口ノ内容ノ閱覽ヲ爲サントスルトキハ許可申請書ニ檢定證ヲ添附シ之ヲ其ノ荷口ノ所在地ノ屬スル道府縣ノ繭檢定所長ニ提出シ其ノ許可ヲ受クベシ

繭檢定所長前項ノ許可ヲ爲シタルトキハ其ノ職員ノ指揮ノ下ニ閱覽ヲ爲サシメ檢定照合票ノ再結附、封印ノ再施行及證印ノ再押捺ヲ爲シ檢定證ニ内容閱覽ノ旨記載シ之ヲ還付スベシ

第十七條 繭檢定ヲ受ケタル繭ガ引渡前左ノ各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ繭檢定ハ效力ヲ失フ但シ繭代金決定後ハ此ノ限ニ在ラズ

一 當該荷口ヲ分割シタルトキ
二 地方長官ガ農林大臣ノ認可ヲ受ケ定メタル事由發生シタルトキ

前項ノ場合ニ於テハ其ノ繭ニ付繭檢定ヲ受ケタル者ハ遲滯ナク其ノ旨其ノ繭檢定ヲ爲シタル繭檢定所長及其ノ繭ノ所在地ノ屬スル道府縣ノ繭檢定所長ニ届出ヅベシ

第十八條 前條ノ規定ニ依リ繭檢定ノ效力ヲ失ヒタル繭ニ付繭檢定ノ請求アリタル場合ニ於テハ繭檢定所長ハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ檢定作業ノ全部又ハ一部ヲ省略ス

産繭處理統制法關係法規

ルコトヲ得

第十九條 左ニ掲グル場合ニ於テハ養蠶者ノ爲ス繭ノ處理ハ第一條ノ規定ニ拘ラズ繭檢定ニ依ル品位ニ依ラズシテ之ヲ爲スコトヲ得

一 地方長官ガ農林大臣ノ認可ヲ受ケ定ムル數量ニ達セザル數量ノ荷口ヲ取引スル場合
 二 天災其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ檢定ヲ爲スコト能ハザル場合

三 地方長官ガ農林大臣ノ認可ヲ受ケ指定シタル場合
 第二十條 地方長官本則ノ施行ニ關スル規程ヲ定メントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受ケベシ之ヲ變更セントストキ亦同シ

第二十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 不正ノ手段ニ依リ繭檢定ヲ受ケ又ハ受ケントシタル者

二 檢定證ヲ不正ニ使用シ又ハ使用セントシタル者

附則

本令ハ昭和十五年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

北海道又ハ沖繩縣ニ於テ生産セラレタル繭ニ付テハ當分ノ内本則ハ之ヲ適用セズ

第様式

繭檢定請求書 (目的織度 「デニール」)			
荷口番(記)號	乾繭程度	%	
蠶期黃白別	主蠶品種名		
荷口繭重量	生(乾)繭	貫(疋)	
繭處理方法別	上簇月日	月 日	
檢定供用繭	採取場所		
	採取期間	自至 月 日	採取數量 貫(疋)
採取者 氏名印	養蠶者		
	相手方		
規則第十五條-依生絲及殘繭ノ還付ヲ受ケベキ者			
繭檢定所記事	檢定番號		
備考			
上記ノ繭檢定請求候也			
年 月 日			
住所		住所	
養蠶者	名稱(氏名) ㊟	代表者氏名	㊟
(賣方又ハ委託者)		(買方又ハ受託者)	
住所		住所	
相手方	名稱(氏名) ㊟	代表者氏名	㊟
(買方又ハ受託者)			
繭檢定所長宛			

備考 繭檢定所記事ノ欄ハ繭檢定所ニ於テ記載スルモノトス
 繭檢定規則

別表

緒數 (緒)	一緒ノ一卷分當り取速度 (米)	解舒絲量 (匁)	
		目的織度十四 (「デニール」)	目的織度二十一 (「デニール」)
3	180	9.85迄	12.67迄
3	200	10.89〃	14.00〃
3	220	11.93〃	15.33〃
4	180	13.14〃	16.89〃
4	200	14.69〃	18.89〃
5	180	16.42〃	21.11〃
5	200	18.15〃	23.33〃
5	220	19.88〃	25.56〃
6	200	21.78〃	28.00〃
6	220	23.85〃	30.67〃
6	240	25.93〃	33.33〃
6	260	28.00〃	36.00〃
6	280	28.00超過	36.00超過

備考 解舒絲量ハ繭絲織度「デニール」ノ數値ニ解舒絲長(米)ノ數値ヲ乘シタルモノヲ九十ヲ以テ除シ之ヲ求ム

第二號

繭 檢 定 請 求 書 (目的織度 「デニール」)			
荷口番(記)號		乾 繭 程 度	%
蠶 期 黃 白 別		主タル蠶品種名	
荷口乾繭重量	貫(疋)	荷口繭袋(室)數	袋(室)
生 産 地			
生 産 者 名 稱 (氏 名)			
探 取 供 用 希 望	月 日	月 日	
場 所	場 所		
繭 檢 定 所 記 事	檢 定 番 號	照 合 票 番 號	
	荷 口 乾 繭 重 量	貫(疋)	荷口繭袋(室)數 袋(室)
	乾 繭 程 度	%	檢定供用繭數量 貫(疋)
	立 會 者 官 職 氏 名 印		
備 考			
上記ノ繭檢定請求候也			
年 月 日			
住 所			
名 稱(氏 名)Ⓜ			
代 表 者(氏 名)Ⓜ			
繭 檢 定 所 長 宛			

備考 繭檢定所記事ノ欄ハ繭檢定所ニ於テ記載スルモノトス

第三號

繭 檢 定 請 求 書 (目的織度 「デニール」)			
元 檢 定 證 番 號	府 縣	年 月 日 附 第 號	號
再 檢 定 ヲ 要 ス ル 事 由			
分 割 方 法			
檢 定 供 用 繭	月 日	月 日	
採 取 ノ 希 望	場 所	場 所	
繭 檢 定 所 記 事	檢 定 番 號	照 合 票 番 號	
	荷 口 乾 繭 重 量	貫(疋)	荷口繭袋(室)數 袋(室)
	乾 繭 程 度	%	檢定供用繭數量 貫(疋)
	立 會 者 官 職 氏 名 印		
備 考			
上記ノ繭檢定請求候也			
年 月 日			
請 求 者 氏 名			
繭 檢 定 所 長 宛			

備考 請求者ノ記載ハ取引ノ相手方ノ定マレルモノニ在リテハ第一號様式、然ラザルモノニ在リテハ第二號様式ニ準ズ 繭檢定所記事ノ欄ハ繭檢定所ニ於テ記載スルモノトス

繭檢定規則

繭 檢 定 證			
檢 定 番 號	照 合 票 番 號		
請 求 者 名 稱 (氏 名)			
荷口番(記)號	蠶 期 黃 白 別		
主タル蠶品種名	荷口繭袋(室)數	袋(室)	
荷口繭重量	貫(匁)		
生 產 地			
生絲量歩合 %			
格等級 等	目的織度 「デニール」		
綜合點		點	
繭ノ整齊度	繭 絲 織 度	「デニール」	
解 舒 絲 長	米 小 類	點	
解 舒 率	% 繰 絲 量	瓦	
選除繭歩合 %			
備 考	本證記載ノ生産地及主タル蠶品種名ハ繭檢定請求書ヨリ轉記シタルモノナリ		
年 月 日			
繭 檢 定 所 長 印			

(本證ノ文字ハ改竄セザルモノトス)

縦二〇〇浬 横一三五浬

第五號

表



直徑一浬

裏



備考 (甲)ハ荷口ノ一袋ニ、(乙)ハ其ノ他ノ總テノ袋ニ結附ス

第四號

(甲)

産繭處理統制法關係法規

檢 定 照 合 票	
照 合 票 番 號	
荷口繭袋(室)數	袋(室)
荷口繭重量	貫(匁)
請求者名稱(氏名)	
蠶 期 黃 白 別	
封 印 年 月 日	年 月 日
封印者官職氏名印	
繭 檢 定 所 印	

(乙)

檢 定 照 合 票	
照合票番號	
袋 番 號	第 號
繭 檢 定 所 印	

附録

繭檢定ヲ爲シタル荷口ニハ左ノ方法ニ依リ格ヲ附ス

一 絲質點

(一) 解舒絲長成績ニ左ノ區分ニ依リ點數ヲ附ス
目的織度十四「デニール」

點數	解舒絲長(米)	目的織度二十一「デニール」	
		以上	以下
八四・五	以上	九〇〇	八三〇
八四・〇	九〇〇	八三〇	七七〇
八三・五	八九〇	八二〇	七二〇
八三・〇	八八〇	八一〇	六七五
八二・五	八七〇	八〇〇	六三〇
八二・〇	八六〇	七九〇	五八〇
八一・五	八五〇	七八〇	五三〇
八一・〇	八四〇	七七〇	四八〇
八〇・五	八三〇	七六〇	四三〇
八〇・〇	八二〇	七五〇	三八〇
七九・五	八一〇	七四〇	三三〇
七九・〇	八〇〇	七三〇	二八〇
七八・五	七九〇	七二〇	二三〇
七八・〇	七八〇	七一〇	一八〇
七七・五	七七〇	七〇〇	一三〇
七七・〇	七六〇	六九〇	八〇
七六・五	七五〇	六八〇	三〇
七六・〇	七四〇	六七〇	〇

(二) 解舒率成績ニ左ノ區分ニ依リ點數ヲ附ス

點數	解舒率(%)	目的織度十四「デニール」	
		以上	以下
(+) 〇・五	以上	七〇	六七五
(-) 〇・五	九五	七〇	六三五
(+) 〇・五	八〇	六五	六〇
(-) 〇・五	九〇	六〇	五七〇
(+) 〇・五	七五	五五	五三〇
(-) 〇・五	八五	五〇	四九〇
(+) 〇・五	七〇	四五	四五〇
(-) 〇・五	八〇	四〇	四一〇
(+) 〇・五	六五	三五	三七〇
(-) 〇・五	七五	三〇	三三〇
(+) 〇・五	六〇	二五	二九〇
(-) 〇・五	七〇	二〇	二五〇
(+) 〇・五	五五	一五	二一〇
(-) 〇・五	六五	一〇	一七〇
(+) 〇・五	四〇	五	一三〇
(-) 〇・五	五〇	〇	九〇

備考

解舒率前表ニ記載セラレザルモノナル場合ハ零點ヲ附ス

(三) 繭絲織度成績ニ左ノ區分ニ依リ點數ヲ附ス

目的織度十四「デニール」

繭檢定規則

繭絲織度	點數	繭絲織度	點數
二・四〇以下	(+)	三・〇一乃至三・三五	(-)
二・四一乃至二・四五	(+)	三・六一乃至三・七〇	(-)
二・六乃至二・八〇	(+)	三・七一以上	(-)
二・六一乃至二・七五	(+)		
二・八一乃至二・九〇	(+)		
二・九一乃至二・九五	(+)		
二・九六乃至三・〇〇	(+)		
三・〇一乃至三・一〇	(+)		
三・一一乃至三・二〇	(+)		
三・二一乃至三・三〇	(+)		
三・三一乃至三・四〇	(+)		
三・四一乃至三・五〇	(+)		
三・五一乃至三・六〇	(+)		
三・六一乃至三・七〇	(+)		
三・七一以上	(+)		

目的織度二十一「デニール」

繭絲織度	點數	繭絲織度	點數
二・七五以下	(+)	三・六乃至三・七五	(-)
二・七六乃至二・八〇	(+)	四・〇六乃至四・二五	(-)
二・九一乃至三・〇〇	(+)		
三・〇一乃至三・一〇	(+)		
三・一一乃至三・二〇	(+)		
三・二一乃至三・三〇	(+)		
三・三一乃至三・四〇	(+)		
三・四一乃至三・五〇	(+)		
三・五一乃至三・六〇	(+)		
三・六一乃至三・七五	(+)		
三・七六乃至四・〇五	(+)		
四・〇六以上	(+)		

(四) 繭ノ整齊度成績ニ左ノ區分ニ依リ點數ヲ附ス

繭ノ整齊度	點數	繭ノ整齊度	點數
良	(+)	稍	(-)
並	〇	劣	(-)
	一・〇		〇
	一・五		一・〇

- (一) 依リ得タル點數(原點)ニ
- (二) (三) 及(四)ニ依リ得タル點數(増減點)ヲ加算シ之ヲ其ノ荷口ノ絲條質點トス
- (五) 絲條質點數ニ百分ノ六十ヲ、小類點數ニ百分ノ二十五ヲ乘シ各積ヲ合計シタル點數二十一點ヲ加ヘテ得タル點數ヲ以テ其ノ荷口ノ絲質點トス
- (六) 絲質點數ハ小數點第一位ニ於テ四捨五入シテ整數トシ且目的織度十四「デニール」ニ在リテハ七十七點未滿ハ之ヲ七十六點トシ目的織度二十一「デニール」ニ在リテハ七十六點未滿ハ之ヲ七十五點トス
- (七) 絲條質點數又ハ小類點數ガ左表ニ於テ前號ニ依リ定マリタル絲質點ノ屬スル階級ニ對シ下位ノ階級ニ屬スルモノアルトキハ其ノ階級中ノ下位ノ階級ノ上位ノ絲質點數ヲ以テ其ノ荷口ノ絲質點トス
- (八) 目的織度十四「デニール」ニ在リテハ繭絲織度三・七〇「デニール」以上ノモノニシテ前二號ニ依リ定マリタル絲質點ガ左表ニ於テb階級以上ニ屬スルモノアルトキハc階級ノ上位ノ絲質點數ヲ以テ其ノ荷口ノ絲質點トス

階級	絲質點	絲條質點	小類點
a	八八以上	八九以上	九〇以上
b	八七	八六	八八
c	八五	八四	八七
d	八三	八二	八五
e	八一	八〇	八三
f	七九	七七	八一
g	七六	七六	未滿

産繭處理統制法關係法規

目的織度二十一「デニール」

階級	a	b	c	d	e	f	g
絲質點	以上 八八	八七	八六	八五	八四	八三	八二
絲條質點	以上 八九	八八	八七	八六	八五	八四	八三
小類點	以上 九〇	八九	八八	八七	八六	八五	八四

二 線絲量點

線絲量成績ニ左ノ區分ニ依リ點數ヲ附ス

目的織度十四「デニール」

線絲量(瓦)	點數
以上 一三〇	九〇
一三〇	八九
一二〇	八八
一一〇	八七
一〇〇	八六
九〇	八五
八〇	八四
七〇	八三
六〇	八二
五〇	八一
四〇	八〇
三〇	七九
二〇	七八
一〇	七七
未滿 四〇	七六
未滿 三〇	七五

目的織度二十一「デニール」

線絲量(瓦)	點數
以上 一九〇	九〇
一七五	八九
一六〇	八八
一四五	八七
一三〇	八六
一二五	八五
一〇〇	八四
九〇	八三
八〇	八二
七〇	八一
六五	八〇
六〇	七九
五五	七八
五〇	七七
四五	七六
未滿 四五	七五

三 綜合點

線質點數ト線絲量點數ト同一ナル場合ハ其ノ線質點數ヲ以テ其ノ荷口ノ綜合點トス又線質點數ト線絲量點數トノ間

ニ差アル場合ハ其ノ差ノ點數ニ目的織度十四「デニール」ニ在リテハ〇・七ヲ、目的織度二十一「デニール」ニ在リテハ〇・八ヲ乗ジテ得タル點數ヲ、線質點數ヨリ線絲量點數ガ多キ場合ハ線質點數ニ加ヘ、線質點數ヨリ線絲量點數ガ少キ場合ハ線質點數ヨリ減ジテ得タル點數ヲ以テ其ノ荷口ノ綜合點トス

四 格付

左表ニ依リ綜合點數ノ該當格ヲ以テ其ノ荷口ノ格トス

目的織度十四「デニール」

格	優等	一等	二等	三等	四等	五等	六等
綜合點	以上 八八	八六	八四	八三	八〇	七七	未滿 七七

目的織度二十一「デニール」

格	優等	一等	二等	三等	四等	五等	六等
綜合點	以上 八八	八五	八三	八二	七九	七六	未滿 七六

産繭處理統制法第二條第一項、第三條及第六條第一號ノ施行ニ關スル件

昭和十五年一月十八日附
一五蠶第三八七號次官通牒

産繭處理統制法ハ蠶ニ其ノ一部ヲ施行シ産繭處理上漸次所

産繭處理統制法第二條第一項、第三條及第六條第一項ノ施行ニ關スル件

期ノ效果ヲ舉ゲツツアル處ナルガ今般道府縣ニ於ケル繭檢定施設ノ完備ト繭檢定及格付方法ノ確立ヲ見タルヲ以テ更ニ繭取引ノ公正圓滑ト繭質ノ改善ヲ圖ル爲同法第二條第一項、第三條及第六條第一號ヲ昭和十五年二月一日ヨリ施行スルコトトシ今般繭檢定規則公布相成候處繭檢定事業ハ其ノ性質上之ガ運用ノ當否並關係業者指導ノ適否ハ蠶絲業全般ニ影響スル所至大ナルヲ以テ道府縣ニ於テモ右ノ趣旨ヲ

體シ左記事項了知ノ上周到ナル監督ト適切ナル指導トニ依リ所期ノ效果ヲ擧ゲシムル様萬遺漏無キヲ期セラレ度依命此段及通牒候也

記

一 繭檢定ノ適用範圍ニ關スル事項

(一) 地方ノ狀況其ノ他特別ノ事由ニ因リ生繭ノ賣買取引ヲ爲スモノニ對シテハ産繭ノ共同處理ヲ爲サシメ繭檢定ヲ受ケ得ル様指導スルコト

(二) 産業組合製絲ノ繭代金ノ配分ヲ繭檢定成績ニ依ラシムルコトハ繭質改善其ノ他ニ鑑ミ緊要ナリト認ムルヲ以テ極力指導獎勵スルコト

二 荷口調製ニ關スル事項

産繭ノ製絲原料價値ヲ向上セシメ一面檢定ニ對スル手數ト負擔ヲ輕減スル爲極力養蠶者ノ共同處理ヲ獎勵シ荷口ノ増大ヲ圖ルコト

三 繭檢定方法ノ統一ニ關スル事項

繭檢定方法ニ關シテハ別途蠶絲局長ヨリ通牒ノ繭檢定所檢定心得ニ依ルト共ニ繭檢定員ノ養成施設ノ充實ヲ圖ル等其ノ統一ニ遺漏ナキヲ期スルコト

四 繭檢定成績運用ニ關スル事項

從來ノ繭檢定取引ノ實情ヲ見ルニ往々繭格ト生絲量歩合

ガ評價上ノ均衡ヲ失シ爲ニ繭取引ノ圓滑ト繭質改善上支障ヲ來ス虞アルニ鑑ミ之ニ對スル適當ノ方途ヲ講シ繭檢定成績ノ運用ニ遺憾ナカラシムルコト

繭檢定規則施行手續標準ニ關スル件

關スル件

昭和十五年一月十八日附蠶局第七八號蠶絲局長通牒

産繭處理統制法第二條第一項、第三條及第六條第一號ヲ昭和十五年二月一日ヨリ施行セラルルコトト相成今般官報ヲ以テ關係勅令及繭檢定規則夫夫公布セラレ候處之ガ施行ニ關シ道府縣ニ於テ制定公布相成ルベキ施行手續制定上ノ參考ノ爲別添繭檢定規則施行手續標準及送付候也

繭檢定規則施行手續標準

第一條 繭檢定規則第七條ノ規定ニ依ル檢定供用繭ハ生繭檢定ニ在リテハ一荷口ヲ構成スル各小荷口ヨリ、乾繭檢定ニ在リテハ一荷口ヲ構成スル各袋又ハ各部分ヨリ豫メ

左ノ數量ヲ採取シ之ヲ能ク混合シタルモノ(豫備採取繭)ヨリ繭檢定規則第八條ノ規定ニ依ル數量ノモノヲ採取スベシ

一 生繭檢定

(一) 荷口數量 一〇〇貫迄

用紙ニ依リ採取者之ニ封印ヲ施シ別記様式ノ繪符(甲)ヲ袋ニ附結スベシ

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル繭ハ繭檢定規則第八條第一項ノ規定ニ依リ生繭檢定ノ供用繭ヲ乾繭ト爲シタル後提出スルコトヲ得

一 知事ノ指定スル地域内ニ於テ生産シタルモノ

二 繭檢定所長ノ承認ヲ受ケタルモノ

三 前項ノ場合ニ於ケル乾繭方法ハ繭檢定所長ノ指示ニ依ルベシ

第一項第二號ニ依リ繭檢定所長ノ承認ヲ受ケントスルトキハ上簇後ノ經過日數及乾繭ト爲スヲ必要トスル事由ヲ具シ其ノ旨申請スベシ

第五條 繭檢定規則第九條第一項第二號又ハ第三號ニ該當シ新ニ檢定供用繭ヲ提出スルコト能ハザルモノニシテ檢定供用繭ノ瑕疵、滅失若ハ毀損ノ程度輕微ナル場合ニ於テ第六條及第七條ノ規定ニ依ル檢定ヲ受ケントスル者ハ其ノ旨繭檢定所長ニ申請スベシ

第六條 繭檢定規則第九條第三項ノ規定ニ依ル檢定供用繭ハ既ニ提出シタル檢定供用繭ヨリ繭檢定所職員正當ト認ムル繭ヲ採取シ之ニ付第七條ノ方法ニ依ル檢定ヲ行フ

産繭處理統制法第二條第一項、第三條及第六條第一號ノ施行ニ關スル件

繭檢定規則施行手續標準ニ關スル件

體シ左記事項了知ノ上周到ナル監督ト適切ナル指導トニ依リ所期ノ效果ヲ擧ゲシムル様萬遺漏無キヲ期セラレ度依命此段及通牒候也

記

一 繭檢定ノ適用範圍ニ關スル事項

(一) 地方ノ狀況其ノ他特別ノ事由ニ因リ生繭ノ賣買取引ヲ爲スモノニ對シテハ産繭ノ共同處理ヲ爲サシメ繭檢定ヲ受ケ得ル様指導スルコト

(二) 産業組合製絲ノ繭代金ノ配分ヲ繭檢定成績ニ依ラシムルコトハ繭質改善其ノ他ニ鑑ミ緊要ナリト認ムルヲ以テ極力指導獎勵スルコト

二 荷口調製ニ關スル事項

産繭ノ製絲原料價値ヲ向上セシメ一面檢定ニ對スル手數ト負擔ヲ輕減スル爲極力養蠶者ノ共同處理ヲ獎勵シ荷口ノ増大ヲ圖ルコト

三 繭檢定方法ノ統一ニ關スル事項

繭檢定方法ニ關シテハ別途蠶絲局長ヨリ通牒ノ繭檢定所檢定心得ニ依ルト共ニ繭檢定員ノ養成施設ノ充實ヲ圖ル等其ノ統一ニ遺漏ナキヲ期スルコト

四 繭檢定成績運用ニ關スル事項

從來ノ繭檢定取引ノ實情ヲ見ルニ往々繭格ト生絲量歩合

小荷口數量ノ 約五〇分ノ一

(二) 荷口數量 五〇〇貫迄

小荷口數量ノ 約二〇〇分ノ一

(三) 荷口數量 五〇〇貫ヲ超ユルモノ

小荷口數量ノ 約二〇〇分ノ一

二 乾繭檢定

(一) 荷口數量 四〇貫迄

各袋又ハ各部分ノ數量ノ 約五〇分ノ一

(二) 荷口數量 二〇〇貫迄

各袋又ハ各部分ノ數量ノ 約一〇〇分ノ一

(三) 荷口數量 二〇〇貫ヲ超ユルモノ

各袋又ハ各部分ノ數量ノ 約二〇〇分ノ一

第二條 繭檢定規則第八條第一項第一號ニ規定スル一荷口ノ受渡二日以上ニ互ルトキハ各受渡日毎ニ豫備採取繭ヲ秤量區分シ其ノ最終日ニ於テ更ニ之ヲ秤量シ減耗歩合ヲ求メ之ニ依リ各受渡日ノ一荷口ノ檢定供用繭ヲ構成スベキ數量ヲ算出スベシ

前項ノ場合ニ於テ別記様式ノ繪符ノ備考欄ニ毎日ノ受渡數量及減耗歩合ヲ記載スベシ

第三條 繭檢定規則第七條第一號ノ規定ニ依ル檢定供用繭ノ袋詰ハ布袋詰トシ之ニ別記様式ノ繪符乙ヲ挿入シ封印

産繭處理統制法第二條第一項、第三條及第六條第一號ノ施行ニ關スル件

繭檢定規則施行手續標準ニ關スル件

産繭處理統制法關係法規

第七條 繭檢定制規則第九條第三項ノ規定ニ依ル檢定方法ハ同則第十一條ニ規定スル方法ニ準ジ之ヲ行フ但シ第二線絲檢定ニ於ケル生絲量歩合ノ生繭檢定ノ供用繭ノ數量ハ第一區ノ荷口ニ在リテハ一疋、第二區ノ荷口ニ在リテハ二疋、第三區ノ荷口ニ在リテハ三疋、第四區ノ荷口ニ在リテハ四疋ヨリ選除繭ヲ除キタルモノトス
前項ノ場合ニ於テハ檢定證備考欄ニ檢定供用繭ノ瑕疵、減失又ハ毀損ノ事實ヲ記載ス

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ繭檢定制規則第十七條第一項第二號ノ規定ニ依リ繭檢定ハ其ノ效力ヲ失フ
一 檢定證交付後 月ヲ經過シタルトキ
二 、 、 、 、

第九條 繭檢定所長左ノ各號ノ一ニ該當スト認メタルトキハ繭檢定制規則第五條第二項但書ノ規定ニ依リ檢定供用繭ヲ提出セザルコトヲ得
一 荷口ヲ無選擇ニ分割シタルトキ
二 、 、 、 、

第十條 繭檢定所長繭檢定制規則第十八條ノ規定ニ依リ荷口無選擇ニ分割セラレタリト認メタルトキハ檢定作業ノ全部ヲ、第八條ノ規定ニ該當スルモノニシテ肉眼檢定又ハ

様式

(甲)

考	備			對百匁生乾繭粒數	氏名	請求者名稱又ハ相手方	生産者	(記) 號	荷口番	號	檢定供用生(乾)繭數量	貫	匁
	計	第一日目	第二日目										

線 取 切

(乙)

考	備			對百匁生乾繭粒數	氏名	請求者名稱又ハ相手方	生産者	(記) 號	荷口番	號	檢定供用生(乾)繭數量	貫	匁
	計	第一日目	第二日目										

第一線絲檢定ニ依リ繭質ニ變化ナシト認メタルトキハ檢定作業ノ一部ヲ省略シ失效セル繭檢定ノ成績ヲ以テ其ノ繭檢定ノ成績ト爲スコトヲ得
第十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ養蠶者ノ爲ス繭ノ處理ハ繭檢定制規則第十九條ノ規定ニ依リ繭檢定ニ依ル品位ニ依ラズシテ之ヲ爲スコトヲ得
一 一荷口ノ數量生繭ニ在リテハ 貫、乾繭ニ在リテハ 貫ニ滿タザル場合
二 、 、 、 、

附則
本令ハ昭和 年 月 日ヨリ之ヲ施行ス

繭檢定制規則施行手續標準ニ關スル件

綜合評價點算出方法ニ關スル件

昭和十五年一月十八日附
蠶局第七六號蠶絲局長通牒

産繭處理統制法第二條第一項、第三條及第六條第一號ノ施行ニ關シ本日農林次官ヨリ別途依命通牒相成候處繭檢定成績運用ニ付テハ特約取引等ノ如ク取引ノ相手方ノ定マレルモノニシテ取引當事者ノ合意アル場合ニ於テハ左記綜合評價點算出方法ニ依リ繭格ト生絲量歩合ヲ綜合シ之ヲ繭價決定ノ基礎ト爲スコトヲ適當ナル方途ト認メ候條此段及通牒候也

綜合評價點算出方法

- 一 府縣ヲ區域トスル繭檢定成績ニ付蠶期、繭色（黃繭、白繭別）、目的織度及荷口ノ生繭、乾繭別ニ綜合點及生絲量歩合ノ平均ヲ求ム
- 二 前項ニ依リ得タル平均生絲量歩合ヲ中心トシ荷口ノ生絲量歩合〇・三％ノ範圍内ノモノヲ基準生絲量歩合トシ之ニ前項ニ依リ得タル平均綜合點ト同一點數ヲ附シ之ヲ其ノ荷口ノ生絲量歩合點トシ又各荷口ノ生絲量歩合ガ基準生絲量歩合ニ比シ増減アル場合ハ生絲量歩合〇・三％以内ノ増減毎ニ一點ヲ増減シテ得タル點數ヲ以テ其ノ荷

口ノ生絲量歩合點トス

三 繭檢定成績ノ示ス各荷口ノ綜合點ヲ甲トシ前項ニ依リ得タル其ノ荷口ノ生絲量歩合點ヲ乙トス

四 Aハ一掛ニ平均生絲量歩合ヲ乘シタルモノ、Bハ標準掛目ニ〇・三％ヲ乘シタルモノトシ左ノ式ニ依リ一及二ヲ求メ甲ニ一ヲ乘シ乙ニ二ヲ乘シタル各積ヲ合計シテ得タル點數ヲ以テ綜合評價點トス

$$\frac{A}{A+B}$$

$$\frac{B}{A+B}$$

$$\frac{A+B}{A+B}$$

道府縣繭檢定所規程

昭和六年六月三十日農林省令第十一號
改正 昭和十五年一月十八日農林省令第五號

- 第一條 本規程ニ於テ道府縣繭檢定所ト稱スルハ北海道地方費又ハ府縣費ヲ以テ設立スルモノヲ謂フ
 - 第二條 道府縣繭檢定所ノ地方産業職員左ノ如シ
- 所長
技師
技手
主事補

第五條 農林大臣必要アリト認ムルトキハ檢定設備ノ種類及員數ニ付變更ヲ命ズルコトアルベシ

第六條 地方長官ハ道府縣繭檢定所ノ前年度ノ業務功程ヲ毎年五月三十一日迄ニ農林大臣ニ報告スベシ

農林大臣必要アリト認ムルトキハ地方長官ニ對シ道府縣繭檢定所ノ業務ニ關シ報告ヲ命ズルコトアルベシ

第七條 道府縣繭檢定所又ハ其ノ支所ヲ廢止シタルトキハ地方長官ハ其ノ事由ヲ具シ農林大臣ニ之ヲ届出ヅベシ

附則

本令ハ昭和十五年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ第三條第一項ノ業務ニ相當スル業務ヲ行フ繭檢定所ニシテ府縣費ヲ以テ設立シタルモノアルトキハ道府縣蠶業試驗場規程ニ依ルモノヲ除ク外地方長官ハ本令施行後一月以内ニ農林大臣ニ第四條第一項各號ニ掲グル事項ヲ届出テ且檢定ニ關スル規程ノ認可ヲ申請スベシ

前項ノ規程ニ依リ届出及申請ヲ爲シタル繭檢定所ハ之ヲ本規程ニ依リ設立シタルモノト看做ス

前項ノ繭檢定所ニ於テハ檢定ニ關スル規程ノ認可申請ニ付其ノ處分ヲ受クル迄仍從前ノ例ニ依リ第三條第一項ノ業務ヲ行フコトヲ得

道府縣繭檢定所規程

前項第一號、第二號、第五號又ハ第六號ニ掲グル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ地方長官ハ農林大臣ニ之ヲ届出ヅ

- 一 名稱及位置
- 二 業務ノ項目
- 三 用地及建物ノ面積
- 四 用地及建物ノ平面圖
- 五 檢定設備ノ種類及員數
- 六 職員ノ職名、員數及事務分擔
- 七 收支豫算書

第四條 道府縣繭檢定所ヲ設立シタルトキハ地方長官ハ左ノ事項ヲ具シ遲滞ナク農林大臣ニ之ヲ届出ヅベシ支所ヲ設ケタルトキ亦同シ

查

- 一 繭ノ鑑定
- 二 繭ノ品位並ニ繭ノ檢定及鑑定ニ關スル試験研究及調査
- 三 講習、講話、傳習及質問應答

所長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ但シ技手ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第三條 道府縣繭檢定所ハ繭ノ品位ノ檢定ヲ行フモノトス道府縣繭檢定所ハ前項ノ業務ノ外左ノ業務ヲ行フコトヲ得

繭檢定手数料ニ關スル件

昭和十五年一月十三日勅令第十四號

道府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ産繭處理統制法第二條第一項ノ規定ニ依ル繭ノ品位ノ檢定ニ關シ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

附則

本令ハ昭和十五年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

繭檢定手数料規則

昭和十五年一月十八日農林省令第七號

第一條 昭和十五年勅令第十四號ニ依リ道府縣ニ於テ徵收スル手数料ハ左ニ掲グルモノトシ左ノ金額ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ズ

- 一 繭檢定手数料 第一區ノ荷口ニ付 一 圓
- 第二區ノ荷口ニ付 一圓五十錢
- 第三區ノ荷口ニ付 二 圓
- 第四區ノ荷口ニ付 二圓五十錢
- 二 繭檢定規則第十六條ノ規定ニ依ル檢定濟繭ノ内容開覽手数料 一件ニ付 一 圓
- 三 繭檢定證原本手数料 一通ニ付 十 錢

附則

本令ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

繭檢定施設費國庫補助ニ關スル件

昭和十二年四月一日附則 一二蠶第二五八九號次官依命通牒

産繭處理統制法ニ基ク道府縣ノ繭檢定ハ昭和十四年度ヨリ實施セラルベキ豫定ニ有之候處今般昭和十二年勅令第五十號ヲ以テ「産繭處理統制法第二條第二項但書ノ規定ニ依ル國庫補助ニ關スル件」公布セラレタルヲ以テ爾今道府縣ノ繭檢定施設費補助ハ別紙要項ニ依リ實施可致候條右御了知ノ上之カ目的達成上遺憾ナキヲ期セラレ度依命此段及通牒候也

繭檢定施設費補助要項

- 第一 補助スベキ施設費ハ繭ノ檢定ヲ行フニ必要ナル建物 工作物又ハ器具機械ノ新設、増設、改設又ハ買入ニ要スル費用トス
- 第二 補助金ノ交付ヲ受ケントスル道府縣ハ申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

繭檢定手数料ニ關スル件 繭檢定手数料規則 産繭處理統制法第二條第二項 但書ノ規定ニ依ル國庫補助ニ關スル件 繭檢定施設費國庫補助ニ關スル件

繭檢定規則第九條第三項ノ規定ニ依ル檢定ノ手数料ハ前項第一號ノ金額ノ外各區ノ荷口ニ付一圓ヲ徵收スルコトヲ得

第二條 道府縣前條ノ手数料ニ關スル條例ヲ定メタルトキハ之ヲ農林大臣ニ報告スベシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

附則

本令ハ昭和十五年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

從前道府縣條例ニ依リ第一條ニ掲グル手数料同條ノ金額ノ制限ヲ超エテ徵收スル道府縣ハ當分ノ内從前ノ手数料額ノ範圍内ニ於テ同上ノ金額ノ制限ヲ超エテ之ヲ徵收スルコトヲ得

産繭處理統制法第二條第二項

但書ノ規定ニ依ル國庫補助ニ關スル件

昭和十二年三月三十一日 勅令 第五十一號

産繭處理統制法第二條第二項但書ノ規定ニ依ル國庫補助ハ道府縣ガ繭ノ檢定ヲ行フニ必要ナル建物、工作物又ハ器具機械ノ創設ノ爲ニ支出シタル額ヨリ其ノ支出ニ充ツベキ寄附金其ノ他ノ收入ヲ控除シタル精算額ニ對シ之ヲ爲ス

- 一 様式第一號ニ依ル事業計畫書
- 二 様式第二號ニ依ル設備要領書
- 三 様式第三號ニ依ル收支豫算書
- 前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第三 補助金交付ノ許可ヲ受ケタル道府縣第二ノ書類ニ記載シタル事項ニ重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第四 補助金交付ノ許可ヲ受ケタル道府縣補助金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ工事完成又ハ物件買入終了後請求書ニ様式第四號ニ依ル收支精算書ヲ添附シ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

附則

第五 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ補助金交付ノ許可ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル補助金ノ全部若ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ

第一 本要項又ハ補助金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

様式

第一號

事業計畫書

一 産繭處理狀況及檢定件數

處理方法	現 狀		將 來	
	生上繭數量	件數(推定)	生上繭數量(見込)	件數(見込)
乾繭取引	春蠶繭	夏秋蠶繭	春蠶繭	夏秋蠶繭
	担	担	担	担
特約取引	春蠶繭	夏秋蠶繭	春蠶繭	夏秋蠶繭
	件	件	件	件
委託製絲	春蠶繭	夏秋蠶繭	春蠶繭	夏秋蠶繭
	件	件	件	件
組合製絲	春蠶繭	夏秋蠶繭	春蠶繭	夏秋蠶繭
	件	件	件	件
其ノ他	春蠶繭	夏秋蠶繭	春蠶繭	夏秋蠶繭
	件	件	件	件
計				

注意 一 現狀欄ハ最近年度ノ事實ニ依リ記載スルコト

二 將來欄ハ産繭處理統制計畫並ニ一養蠶實行組合一處理形態ノ指導方針及産繭ノ規格統一施設ノ普及ニ伴フ荷口數量ノ増大ノ點ヲ考慮シ記載スルコト

二 檢定繭出廻狀況

(一) 現 狀

出廻月日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	備 考
出廻荷口數(推定)	荷口	荷口	荷口	荷口	荷口	荷口	荷口	荷口	荷口	荷口	考

注意 一 最近年度ノ春蠶期ニ於ケル繭出廻ノ事實ニ依リ記載スルコト

二 乾繭取引、特約取引及委託製絲ノ繭ニ付記載スルコト

(二) 將 來

出廻月日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	備 考
出廻荷口數(見込)	荷口	荷口	荷口	荷口	荷口	荷口	荷口	荷口	荷口	荷口	考

注意 一 産繭處理統制計畫並ニ一養蠶實行組合一處理形態ノ指導方針及産繭ノ規格統一施設ノ普及ニ伴フ荷口數量ノ増大ノ點ヲ考慮シ記載スルコト

二 春蠶期ニ於ケル繭出廻ノ見込ニ依リ乾繭取引、特約取引及委託製絲ノ繭ニ付記載スルコト

三 檢定能力

繭檢定施設費國庫補助ニ關スル件

計	買入	増設	新設	既設	設備	備考
					繰繰機ノ 釜數	一日檢定 可能件數
					釜	件

- 四 業務ノ項目
- 五 設置豫定地 郡、市町村、大字 地番
- 六 建物、工作物及器具機械ノ概要

(一) 建物

種類	面積			構造ノ概要	備考
	一階	二階	計		
	平方米	平方米	平方米		

- 注意
- 一 一切ノ建物ニ付記載スルコト
 - 二 備考欄ニハ既設、新設、増設、改設又ハ買入ノ別ヲ記載スルコト
 - 三 二箇年以上ニ互リ繼續シテ設置スル計畫ノ場合ニ於テハ備考欄ニ其ノ年度ヲ記載スルコト
- (二) 工作物及器具機械

七 設備費豫算

(昭和 年度)

種類	員數	備考

- 注意
- 前表ノ注意ニ準ズルコト
 - 用地、建物、工作物其ノ他ノ配置圖別紙(二通)ノ通

科目	金額	備考
建物關係經費	圓	
工作物及器具機械關係經費		
用地關係經費		
計		

- 注意
- 一 新ニ設置セントスル設備ニ要スル經費ニ付記載スルコト
 - 二 二箇年以上ニ互リ繼續シテ設置スル計畫

八 職員ノ員數及事務分擔

事務	職員數			備考
	技師	技手	主事補	
	人	人	人	

- 注意
- 職員數ノ欄ニハ本務及兼務別ニ其ノ員數ヲ記載シ兼務ノ職員ニ付テハ之ヲ朱書シ且備考欄ニ其ノ本務名ヲ記載スルコト

事務	檢定員數			備考
	男	女	計	
	人	人	人	

職檢定施設費國庫補助ニ關スル件

十 一箇年收支豫算

科目	員數	金額	備考
計		圓	

科目	員數	金額	備考
計		圓	

- 第二號 設備要領書
- 注意
- 一 設置場所毎ニ記載スルコト
 - 二 申請年度ニ於テ補助ヲ受ケントスル建物、工作物及器具機械ニ付テノ記載スルコト

科目	豫算額	精算額	比較		備考
			増	減	
計	圓	圓	圓	圓	

注意 備考欄ニハ計算ノ基礎トナルベキ事項ヲ記載スルコト

二 支出精算書

- 注意
- 一 設置場所毎ニ記載スルコト
 - 二 補助金交付ノ許可ヲ受ケ竣工又ハ買入ヲ了シタル建物、工作物及器具機械ニ付テノミ記載スルコト
 - 三 種類欄及員數欄ニハ申請書添附ノ收支豫算書ニ變更認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ變更後ノ收支豫算書ニ記載シタル種類及員數ヲ記載スルコト
 - 四 備考欄ニハ新設、増設、改設又ハ買入ノ別ヲ記載スルコト

繭檢定施設費國庫補助ニ關スル件

昭和十二年四月一日附
一 蠶局第五二八號蠶絲局長通牒
標記ノ件ニ關シ本日農林次官ヨリ別途依命通牒相成候處尙左記事項御了知相成度此段及通牒候也

- 記
- 一 補助スベキ繭檢定ノ工作物及器具機械ノ種類及構造ニ付テハ昭和十一年三月三十一日附一一蠶局第四八六號通牒繭檢定所設備標準ニ關スル件ニ依ルコト
 - 一 繭檢定施設補助金交付申請書添附書類事業計畫書及設備要領書ノ圖面及仕様書ノ作成ニ付テハ昭和七年十月二十日附七蠶局第五六五號通牒繭檢定所圖面及仕様書作成ニ關スル件ニ依ルコト

繭檢定所設備標準ニ關スル件

昭和十一年三月三十一日附
一 蠶局第四八六號蠶絲局長通牒
改正 昭和十四年十月二十五日附
一 蠶局第二一七六號蠶絲局長通牒
改正 昭和十五年二月二十三日附
一 蠶絲局第三一八號蠶絲局長通牒
産繭處理ノ改善統制ヲ圖ル爲本年度ヨリ四ヶ年ノ計畫ヲ以テ全國的ニ繭檢定施設ノ普及ヲ圖リ繭檢定事業ノ統一ヲ期シ以テ産繭處理ノ圓滑公正ト繭質改善トニ資スルコト、相成

繭檢定施設費國庫補助ニ關スル件 繭檢定所設備標準ニ關スル件

(一) 建物

種類	員數	豫算額	精算額	比較		備考
				増	減	
計	平方米	圓	圓	圓	圓	

(二) 工作物及器具機械

種類	員數	豫算額	精算額	比較		備考
				増	減	
計		圓	圓	圓	圓	

(三) 總計金額

豫算額	精算額	比較	
圓	圓	増	減
		圓	圓

候ニ付テハ今後助成スベキ繭檢定所ノ工作物及器具機械ノ種類構造等ニ付テハ別記「繭檢定所設備標準」ニ依ルコト、相成候條御了知相成度此段及通牒候也
追而線絲機ニ付テハ從來「ケンネル」式煮線分業五緒線又ハ六緒線ノモノヲ助成シ來リタル處今後ハ「ケンネル」式煮線分業六緒線ノモノノミヲ助成スルコト、改メラレタル次第ニ付御留意相成度尙現在ノ五緒線絲機ハ成ルベク速ニ之ヲ六緒線ニ改メラレル様致度申添候

繭檢定所設備標準

- 第一 助成スベキ工作物及器具機械ノ種類
線絲機、煮繭鍋、滲透鍋、生絲揚返機、乾繭機、生絲整理器、再線機、生絲檢查機、生絲檢查用照明裝置、生絲檢查用標準寫眞、秤、樹、濕度計、湯溫計、廻轉計、ストツプウオッチ、カウンタ、選繭器、選除繭標準、汽罐、原動機、煙突、給水裝置、蒸汽管裝置、動力傳動裝置
- 第二 助成スベキ繭檢定所ノ線絲機、生絲揚返機及乾繭機ノ構造標準
- 一 線絲機ハ「ケンネル」式煮線分業六緒線トシ各窓毎ニ廻轉ヲ調節シ得ル構造ナルコトヲ要シ浮線機ニ在リテハ自働索緒器ヲ裝置シタルモノナルコト
 - 二 生絲揚返機ハ四摺揚トシ普通機ノ外自働停止裝置及

産繭處理統制法關係法規

廻轉計附機ヲ設備スルコト但シ自働停止装置及廻轉計附機ノミヲ設備スルモ可ナルコト

三 乾繭機ハ

(イ) 檢定供用繭ヲ檢定荷口別ニ區分シテ乾燥スルニ

第三 助成スベキ繭檢定所ノ設備標準(三十釜ノ場合)

適スル構造ナルコト

(ロ) 換氣ノ完全ナルコト

(ハ) 乾燥ノ程度ニ不同チ生ズル虞ナキモノナルコト

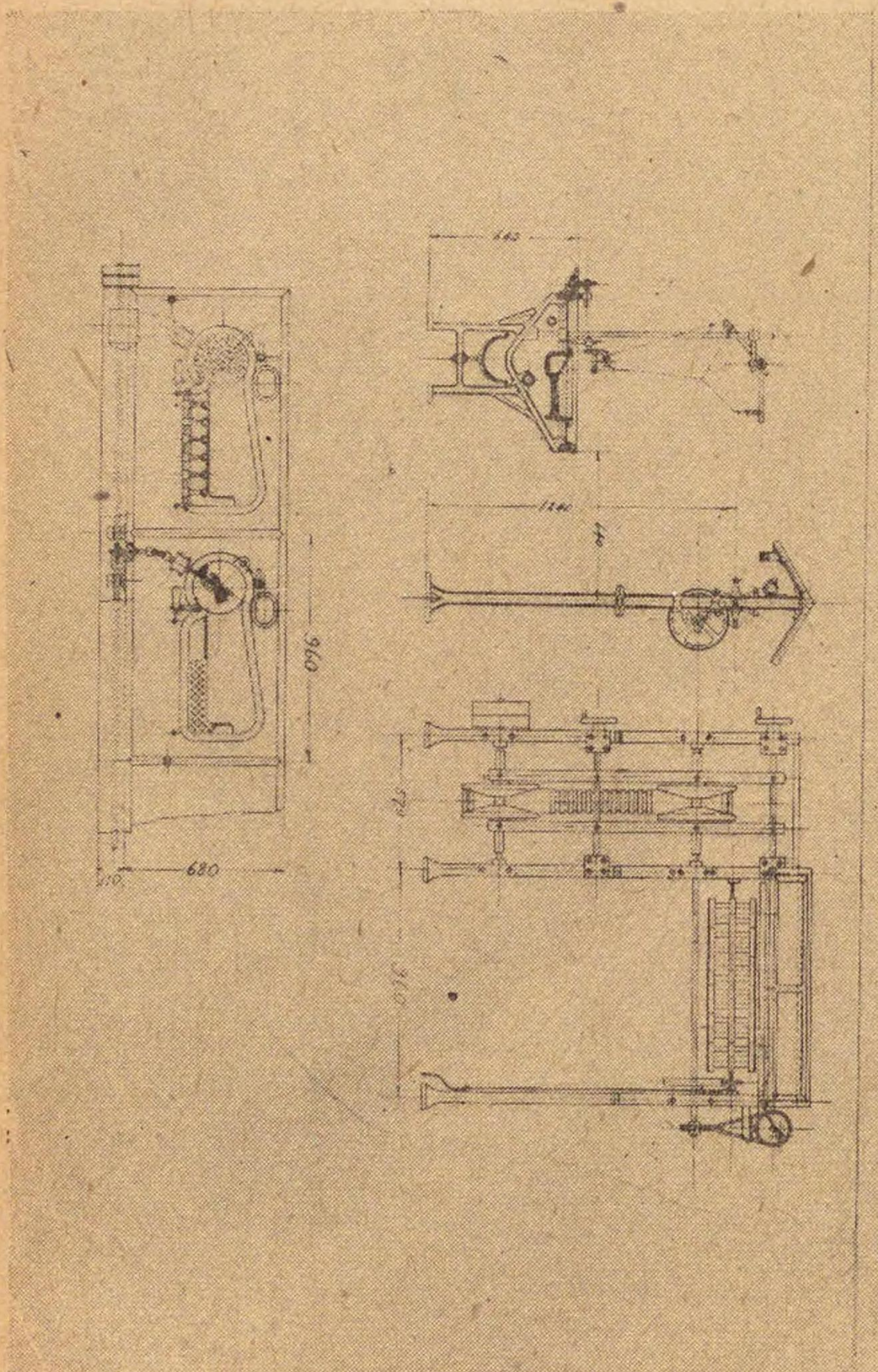
種類	員數	附屬品	備考
線絲機	三〇	小枠心軸一窓ニ付六種宛 七二〇	
煮繭鍋	一六	小桶 六〇 如露	
滲透鍋	四	繭揚器 三 配繭器 三	浮線分業ノ場合ニ限リ設備スルコト
生絲揚返機	三六		
普通機	二四	大枠	七二
自動停止装置及廻轉計附機	一二	大枠	四八
乾繭機			乾繭機一晝夜ノ本乾燥能力ハ檢定供用繭最高集中見込數量ヲ處理シ得ルモノタルコト
生絲整理器	一		括箱 絲捻器 鈎 針
再線機	一	ホビン フワリ	一〇窓
セリブレーション	一	モーター板 黒板 一五	
生絲檢査用照明装置	一	スタンド	水平垂直兩装置

生絲檢査用標準寫眞	生絲水分檢査機	檢尺器	檢位衡	秤	樹	濕度計	湯溫計	廻轉計	ストツブウオツチ	カウンタ	擴大鏡	選繭器	選除繭標準	汽罐
四	三	三	二	三	三	四	五	一	二	四	一	一	一	一
イープネス 變化標準寫眞 各一	豫算室附電熱			臺秤一(秤量一〇疋感量一瓦)四分ノ一 天秤一(秤量五疋感量一五瓦)生絲秤量秤一(秤量二疋感量〇・〇五瓦)	一〇立 一 二立 一 一立 一									多管式罐胴 徑四尺 長一五尺 常用壓力 八〇封度

繭檢定所設備標準ニ關スル件

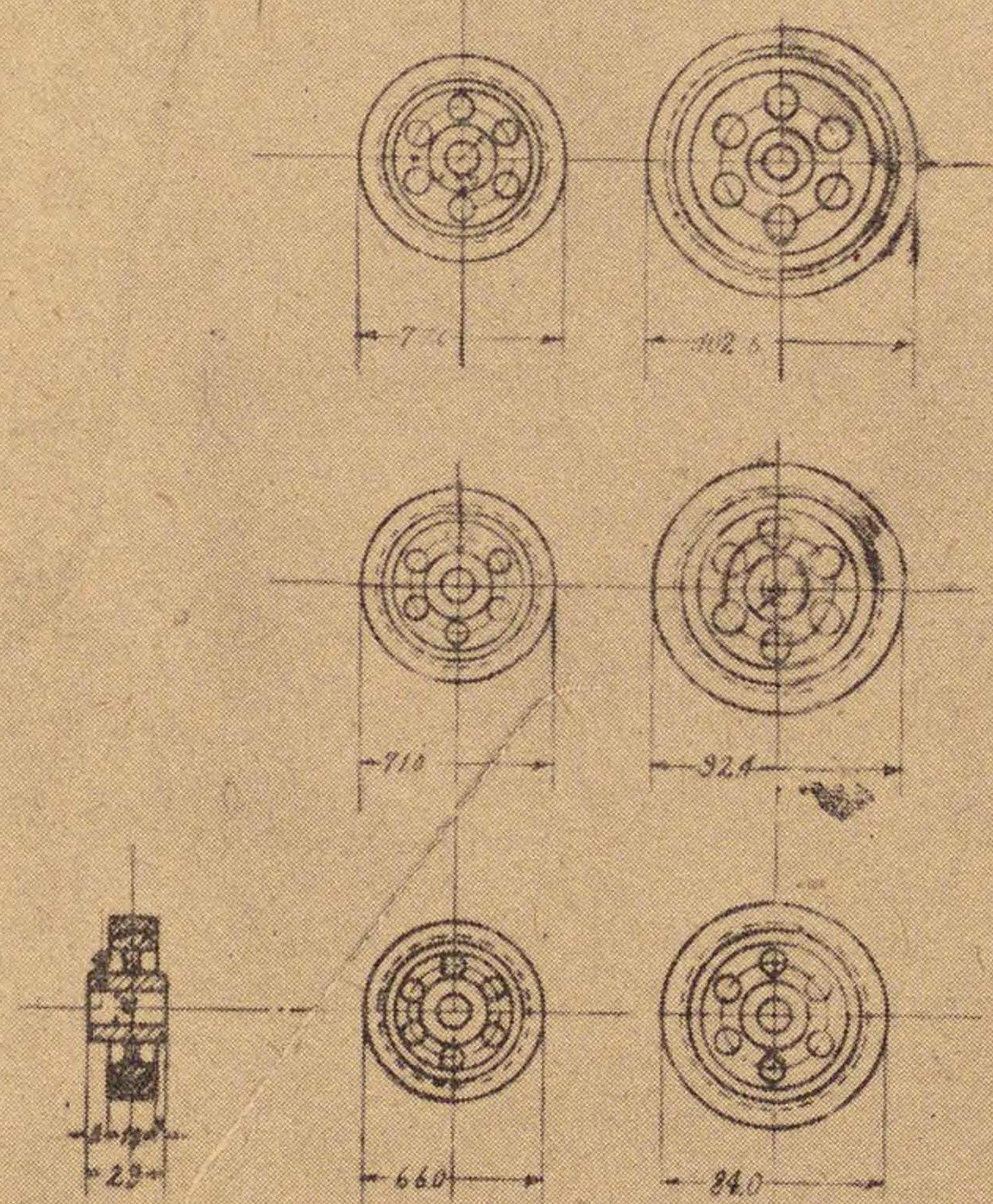
動力傳導裝置	一式				
蒸汽管裝置	一式				
給水裝置	一式				貯水池 タンク ポンプ 配管等一切
原動機	二				モーター各一馬力 一臺 「レヂューサー」附
煙突	一				

綫絲器械單位概

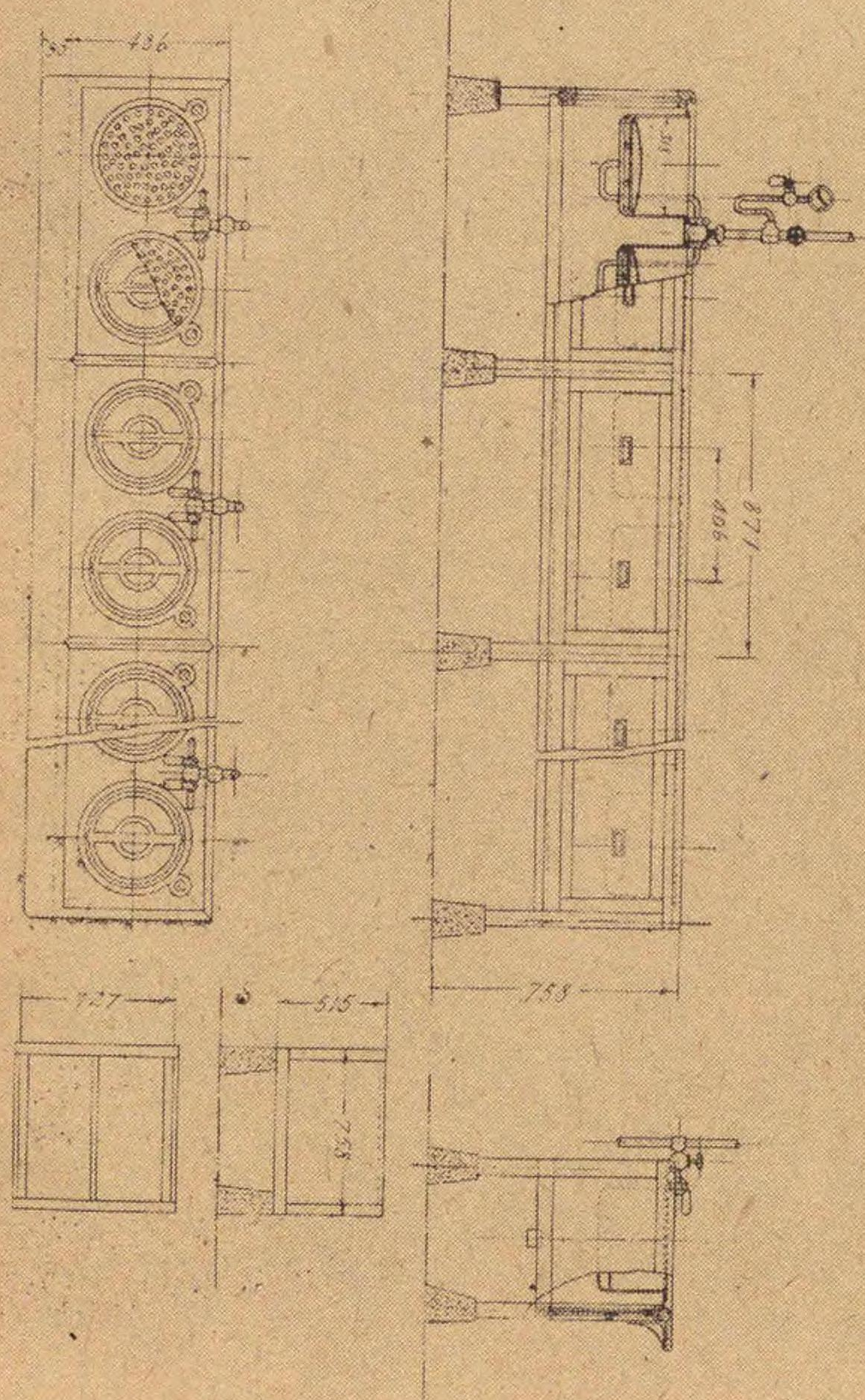


繭檢定所設備標準ニ關スル件

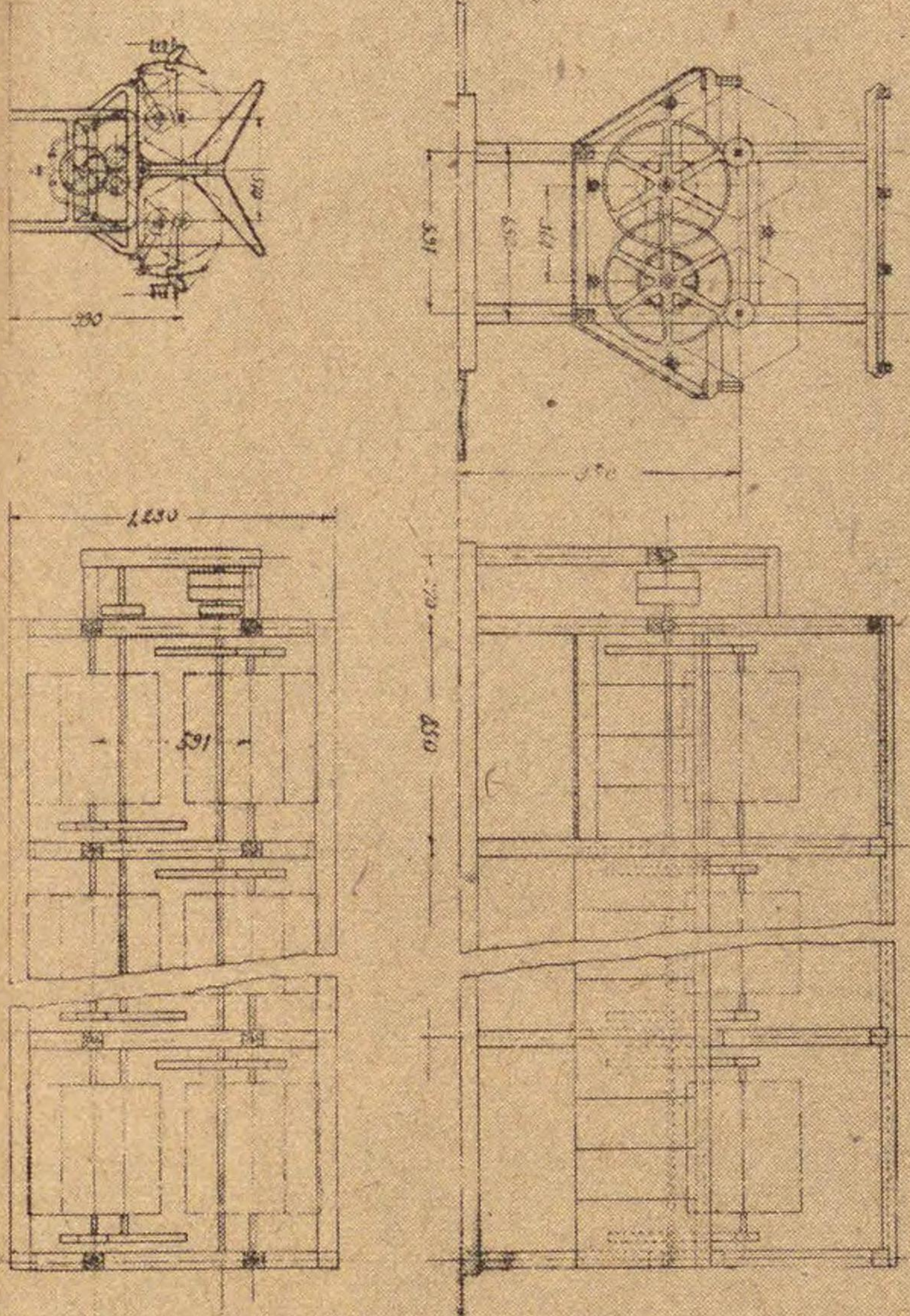
小摺車



煮繭器位單



繭位單 機器 逐揚



繭檢定所圖面及仕様書作成ニ關スル件

昭和七年十月二十日附
七蠶局第五六五號蠶絲局長通牒

昭和六年六月三十日附六蠶第二五二號次官依命通牒ニ依リ繭檢定事業助成金交付申請書提出相成場合ハ爾今別記参照ノ上圖面及仕様書作成相成度此段及通牒候也

繭檢定所圖面及仕様書作成上ノ注意

一 建物

圖面作成上ノ注意

- (一) 配置圖及平面圖ニハ新設、増設、改設、買入又ハ既設ノ別ヲ明示シ且建物ノ名稱(同一建物内ニ用途ヲ異ニスルモノニ以上アルモノニ在リテハ其ノ名稱)ヲ記入シ同一名稱ノモノニ以上アル場合ハ適當ノ記號ヲ附スルコト
- (二) 平面圖ニハ面積算出ノ基礎トナル尺度ヲ記入シ尙床ハ板張ナルカ「コンクリート」打ナルカ土間ナルカヲ明示スルコト
- (三) 斷面圖ニハ階層ヲ異ニスル建物(一部二階建等)アルトキハ各階ヲ示シ得ル様ニ作成スルコト

繭檢定所圖面及仕様書作成ニ關スル件

(四) 改設ヲ爲サントスルモノニ在リテハ改設前及改設後ノ各階平面圖、建圖及斷面圖ヲ作成スルコト

(五) 圖面ハ左ノ縮尺ニ依ルコト

- (1) 配置圖 百分ノ一又ハ二百分ノ一
- (2) 平面圖 五十分ノ一、百分ノ一又ハ二百分ノ一

(3) 建圖及斷面圖 五十分ノ一又ハ百分ノ一

(六) 尺度及面積ハ次ニ依リ米法ニテ記載スルコト

- (1) 一間ハ之ヲ一・八一八米トシテ換算スルコト
- (2) 面積ハ計算スベキ建物毎ニ其ノ梁間及桁行ヲ前項ニ依リ米ニ換算シ之ヲ乘シテ算出シタル平方米ヲ小數點第二位以下ヲ切捨ツルコト

二 線絲機、煮繭機、揚返機及乾繭機

(一) 圖面ニハ新設、増設、改設、買入又ハ既設ノ別ヲ明示スルコト

(二) 改設ヲ爲サントスルモノニ在リテハ改設前及改設後ノ圖面ヲ作成スルコト

(三) 既設ノ線絲機、煮繭機、揚返機又ハ乾繭機ヲ有スルモノニ在リテハ其ノ圖面ヲ作成スルコト

(四) 線絲機ハ全體圖ノ外ニ大攪輪及小枠心軸附攪輪(四種)ノ擴大圖ヲ作成スルコト(輪ノ徑ヲ記入スル)

コト) 尙浮線分業用線絲機ニ在リテハ自働索緒機ノ詳細圖ヲ作成スルコト

(五) 自働停止裝置及廻轉計附揚返機ハ全體圖ノ外ニ梓ノ廻轉(正轉及逆轉)カ廻轉計ニ作用スル部分及停止裝置ノ詳細圖及作用説明書ヲ作成スルコト

(六) 煮繭釜ハ蒸汽吹込ミノ部分ヲモ明示スルコト

(七) 圖面ハ左ノ縮尺ニ依ルコト

(1) 線絲機及揚返機

全體圖 十分ノ一

詳細圖及擴大圖 二分ノ一又ハ五分ノ一

(2) 煮繭鍋 十分ノ一

(3) 乾繭機 十分ノ一又ハ五分ノ一

仕樣書

(一) 建物名稱、梁間、桁行、各階面積、合計面積、軒高等ヲ建物毎ニ(同一建物内ニ用途ヲ異ニスルモノニ以テアルモノニ在リテハ其ノ名稱毎ニ)記載スルコト尙同一名稱ノモノニ以上アル場合ハ圖面ト對照シタル記號ヲ附スルコト

(二) 新設、増設、改設又ハ買入ノ別ヲ記載スルコト

(三) 尺度及面積ハ米法ニ依リ記載スルコト(圖面作成上ノ注意ト同シ)

(四) 改設又ハ買入ノ場合ハ新設ノ場合ニ倣ヒ作成スルコト

繭格付研究助成ニ關スル件

昭和十年六月十九日附一〇蠶第五三九八號
官 依 命 通 牒

繭取引ノ現状ニ鑑ミ繭格付制度ノ確立ハ極メテ緊要トスル處ナルヲ以テ速ニ十分ナル研究ヲ遂グルノ必要ヲ認メ道府縣ノ繭格付研究事業ニ對シ別記繭格付研究助成要項ニ依リ助成金ヲ交付スルコト、相成候條右御了知ノ上本施設ノ目的ヲ達成スル様御配意相成度依命此段及通牒候也

繭格付研究助成要項

- 第一 農林大臣ハ繭ノ格付ニ關スル研究ヲ助成スル爲本要項ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ助成金ヲ交付ス
 - 第二 助成金ハ道府縣繭檢定所(道府縣蠶業試驗場ヲ含ム)ニ於テ繭ノ格付ニ關スル研究ヲ爲スニ必要ナル費用ニ對シ其ノ二分ノ一以内ヲ道府縣ニ交付ス
 - 第三 助成金ノ交付ヲ受ケントスル道府縣ハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ
- 一 研究項目

今般産繭處理改善施設ノ一トシテ繭格付制度ノ確立ヲ圖ル爲道府縣ニ於ケル之ガ研究ヲ助成スルコト、相成本日農林次官ヨリ繭格付研究助成要項ニ關シ別途依命通牒相成候處右ハ左記ノ方針ニ依リ處理致スコト、相成候條御諒相成度此段及通牒候也

記

一、助成金ハ左ノ費用ニ對シ交付スルコト

(イ) 供試材料費

(ロ) 供試繭購入用諸費

(ハ) 供試繭乾燥保管費

(ニ) 諸 給

(イ) 諸傭人給(格付研究調査ノ爲メ使用スル助手給、工男女給其ノ他雇傭人給)

(ロ) 諸傭人ニ對スル出張旅費

(三) 雜 費

(イ) 燃料動力費

(ロ) 消耗品其ノ他

- 二、繭格付研究助成要項第三ニ掲グル事項中第一號乃至第三號ニ付テハ研究項目別ニ記載スルコト但シ第三號ノ研究ニ關スル計畫ニ就テハ左記事項ニ付記載スルコト

二 研究ノ目的

三 研究ニ關スル計畫

四 研究費ノ收支豫算

第四 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣第三ノ添附書類ニ記載シタル事項ニ重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受ケベシ

第五 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ翌年度六月三十日迄ニ農林大臣ニ前年度ノ研究ノ成績ヲ報告シ助成ヲ受ケタル豫算ニ對スル決算書ヲ提出スベシ

第六 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ既ニ交付シタル助成金ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ

一 本要項又ハ助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

二 研究ノ目的ヲ達成スルコト能ハザルニ至リタルトキ

三 決算額ガ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ

附 則

第三申二月末日迄トアルハ昭和十年年度ニ限り七月三十一日迄トス

繭格付研究助成ニ關スル件

昭和十年六月十九日附一〇蠶局
第八九五號蠶絲局長通牒

繭檢定所圖面及仕樣書作成ニ關スル件 繭格付研究助成ニ關スル件

- (一) 研究ノ目標
 - (二) 研究ノ方法
供試繭ニ付線絲ニ供スル迄ノ處理過程、線絲ノ方法、生産生絲ノ検査處理方法及右成績ノ取纏メノ方法等ニ付記載スルコト
 - (三) 供試材料
供試繭ニ付其ノ種類別(蠶品種別季節別黃白別)數量ヲ記載スル外各數量ニ付テ買入又ハ借入別及供試繭ノ區分方法及一區ノ繭數量ヲ明示スルコト
 - (四) 研究用設備
設備ヲ借入レ之ニ依リ研究ヲ爲サントスルトキハ其ノ設備ノ名稱及設置場所ヲ記載スルコト
 - (五) 研究期間及研究着手豫定年月日
 - (六) 研究ノ主任者氏名及擔當職員、雇傭員事務別員數
- 三、研究費ノ收支豫算ハ左ノ様式ニ依ルコト

種目	金額	備考
生産生絲代	圓	

(一) 収入

燃料動力費	
筆紙墨費	
雜費	
合計	

- 注意 (一) 備考欄ニ經費算出ノ基礎ヲ明記スルコト
- (二) 支所アル場合ニ於テハ本所及各支所毎ニ之ヲ作成スルコト
- 四、助成金交付ノ申請ヲ爲サントスル道府縣ハ豫メ其ノ計畫ヲ具シ當省ト打合セテナスコト
- 五、農林大臣必要アリト認ムルトキハ研究事項ヲ指示スルコトアルコト
- 六、各研究ノ經過及成績ニ關シテハ全國的ニ本研究ノ連絡統一ヲ圖ル爲適宜之ガ報告ヲ爲シ研究ヲ了シタルトキハ速ニ其ノ成績ヲ報告スルコト
- 七、助成金ノ交付ヲ受ケ本研究ヲ爲サントスル繭檢定所(蠶業試驗場ヲ含ム)ハ研究日誌ヲ備ヘ研究ノ經過ヲ記載スルコト

繭格付研究助成ニ關スル件 繭檢成員養成施設助成ニ關スル件

三四三

種目	金額	備考
供試材料費	圓	
供試繭代		
繭購入費		
乾燥保管費		
諸給		
助手給		
雇員給		
旅費		
雜費		
合計		

(二) 支出

注意 備考欄ニ經費算出基礎ヲ明記スルコト

繭檢定員養成施設助成ニ關スル件

昭和十三年五月九日附一三蠶第三六二一號次官依命通牒

- 繭檢定ニ従事スル者ノ養成ニ付テハ昭和六年度以降蠶絲試驗場ニ於テ之ヲ實施シ來リタル處産繭處理改善計畫ニ基テ繭檢定制度ノ目的達成上繭檢定員ノ充實及技術ノ統一ヲ要スルコト益々緊切ナルモノアルニ鑑ミ爾今蠶絲試驗場ニ於テハ専ラ檢定員ノ直接指導ニ當ベキ教婦ノ養成ヲ行ヒ檢定員ノ養成ハ道府縣ニ於テ爲スコトトシ之ヲ獎勵スル爲別紙要項ニ依リ助成金ヲ交付スルコトト相成候ニ付テハ右御了知ノ上本施設ノ完壁ヲ期スル様特ニ御配意相成度依命此段及通牒候也
- 繭檢定員養成施設助成要項
- 第一 農林大臣ハ繭檢定員ノ養成ヲ獎勵スル爲本要項ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ助成金ヲ交付ス
- 第二 助成金ハ道府縣繭檢定所ニ於テ繭檢定員ノ養成ヲ爲スニ必要ナル經費ニ對シ其ノ二分ノ一以内ヲ道府縣ニ交付ス
- 第三 助成金ノ交付ヲ受ケントスル道府縣ハ申請書ニ左ニ

揚グル書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

- 一 事業計畫書
- 二 經費豫算書
- 三 養成ニ關スル規程
- 四 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣前項ノ添附書類ニ記載シタル事項ニ變更ヲ加ヘタルトキハ事由ヲ具シ遲滞ナク其ノ旨ヲ農林大臣ニ報告スベシ
- 五 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ翌年度六月三十日迄ニ農林大臣ニ事業成績書及經費決算書ヲ提出スベシ
- 六 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣助成金ノ交付ヲ受ケテ支出シタル費用ヲ返納セシメ之ヲ歳入ニ組入レタルトキハ事由ヲ具シ遲滞ナク其ノ旨ヲ農林大臣ニ報告スベシ

- 一 本要項又ハ助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 二 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 三 決算額ガ豫算額ニ比シ減少シタルトキ

附則

第三中二月末日迄トアルハ昭和十三年度ニ限リ六月三十日

迄トス

繭檢定員養成施設助成ニ關スル件

昭和十三年五月九日附一三蠶局第一一六〇號蠶絲局長通牒

標記ノ件ニ關シ本日農林次官ヨリ別途依命通牒相成候處右ハ左記ニ依リ處理致スコト、相成候條御了知相成度此段及通牒候也

記

- 一 助成金ハ繭檢定員養成施設ニ必要ナル教婦及備人ノ給料、旅費、養成員ノ手當、燃料動力費、繭代及雜費ニ對シ交付スルコト
- 二 一ノ教婦ハ蠶絲試驗場ニ於ケル繭檢定教婦講習ヲ修了シタル者ニシテ繭檢定ニ關スル蠶絲技術ヲ指導スルモノタルコト
- 三 一ノ繭檢定員養成施設ハ道府縣繭檢定所ニ於テニ該當スル教婦ヲ設置シ四箇月以上ヲ期間トシ繭檢定ニ關スル蠶絲技術ヲ講習スルモノタルコト
- 四 繭檢定員養成施設助成要項第三第一項第一號ノ事業計畫書ニハ左ノ事項ヲ記載シ第二號ノ經費豫算書ハ様式第三

一號ニ依ルコト

- (一) 養成定員
- (二) 養成期間及開始豫定年月日
- (三) 學科及實習科目別時間數
- (四) 擔任教師職氏名
- (五) 擔任教婦ノ履歷

五 繭檢定員養成施設助成要項第四ノ事業成績書ニハ左ノ事項ヲ記載シ經費決算書ハ様式第二號ニ依ルコト

- (一) 授業日數
- (二) 學科及實習科目別授業時間數
- (三) 養成員數

様式

第一號

經費豫算書

種目	金額	備考
教婦給料	圓	
備人給料		
旅費		
養成員手當		

繭檢定員養成施設助成ニ關スル件

燃料動力費	繭代	雜費	計

注意 備考欄ニハ經費算出ノ基礎ヲ明記スルコト 第二號

種目	豫算額		決算額		比較	
	圓		圓		增	減
教婦給料	圓		圓		圓	圓
備人給料						
旅費						
養成員手當						
燃料動力費						
繭代						
雜費						
計						

繭檢定教婦講習規程

- 第一條 蠶絲試驗場ハ道府縣繭檢定所ニ於テ繭檢定員ノ指導ニ從事セル者(教婦)又ハ之ニ從事セントスル者ニ對シ繭檢定ニ關シ必要ナル講習ヲ行フ
- 第二條 講習生ノ定員ハ四十名以内トス
- 第三條 講習期間ハ道府縣繭檢定所ニ於テ繭檢定員ノ指導ニ從事セル者ニ在リテハ二箇月、從事セントスル者ニ在リテハ四箇月トス但シ時宜ニヨリ變更スルコトアルベシ
- 第四條 講習科目ハ繭檢定ニ關スル學科及實習トス
- 第五條 講習生ハ道府縣繭檢定所長ノ推薦ニ係ル者ニシテ蠶絲試驗場長ニ於テ適當ト認メタル者トス
- 第六條 講習生ヲ推薦セントスル道府縣繭檢定所長ハ推薦書ニ様式第一號ニ依ル履歷書及様式第二號ニ依ル健康證明書ヲ添ヘ指定ノ期日迄ニ蠶絲試驗場長ニ之ヲ提出スベシ
- 第七條 蠶絲試驗場長ハ講習生入場ノ際健康診斷及繰絲技術並ニ學力ノ考查ヲ行ヒ不適當ト認メタルトキハ入場ノ許可ヲ取消スコトアルベシ
- 第八條 講習生ハ指定ノ期日迄ニ様式第三號ニ依ル保證書ヲ蠶絲試驗場長ニ差出スベシ

一、何年何月何所ニ於テ何々賞又ハ罰ヲ受ケ右之通相違無之候也

年 月 日

氏 名

注意 何々ノ係ノ表示ハ煮繭、繰絲、揚返、生絲検査及計算等ニ區分ノコト

様式 第二號

健康證明書

現住所

氏 名

年 月 日生

- 一、體 格 一、視 力
- 一、身 長(寸) 一、色 盲
- 一、體 重(斤) 一、四肢ノ完否
- 一、胸 圍(寸) 一、既往及現在ノ疾患
- 一、聽 力

右之通相違無之仍テ證明候也

年 月 日

住 所

繭檢定教婦講習規程 繭檢定教婦講習ニ關スル注意事項

第九條 講習生ニシテ成業ノ見込ナキ者ト認ムルトキハ退場セシムルコトアルベシ

第十條 講習ヲ修了シタルトキハ修得證書ヲ授與ス

様式 第一號

履 歷 書

本 籍

現住所

(戸主又ハ戸主トノ續柄)

氏 名

年 月 日生

學 業

一、何年何月何學校又ハ何某ニ就キ何々修業又ハ卒業

一、何年何月何學校何講習所若ハ何講習會ニ於テ製絲ニ關スル學科又ハ技術ノ講習ヲ受ケ或ハ卒業證書ヲ受ケ

職 業

一、何年何月ヨリ何年何月迄何製絲場ニ於テ煮繭又ハ繰絲ニ從事ス

一、何年何月ヨリ何年何月迄何々ノ職トシテ何所ニ於テ

何々ノ係ニ從事ス

賞 罰

醫師 氏

名

様式 第三號

保 證 書

本 籍

住 所

氏 名

住 所

年 月 日

右ノ者今般御場繭檢定講習生トシテ入場御許可相成候ニ就テハ規則ヲ遵守セシムベキハ勿論本人在場中ニ係ル一切ノ事項ハ私共ニ於テ引受可申仍テ保證書差出候也

保 證 人 氏

住 所

年 月 日

保 證 人 氏

住 所

保 證 人 氏

住 所

保 證 人 氏

住 所

保 證 人 氏

住 所

保 證 人 氏

住 所

保 證 人 氏

住 所

保 證 人 氏

住 所

保 證 人 氏

住 所

保 證 人 氏

住 所

保 證 人 氏

住 所

保 證 人 氏

住 所

種別	初秋蠶		晚秋蠶		合計
	白繭 (二十四中)	黄繭 (二十一中)	白繭 (二十四中)	黄繭 (二十一中)	
合計					

備考 一、本成績中ニハ繭檢定規則第九條第三項ノ規定ニ依ル檢定(準檢定)ヲ含ム

二、乾繭檢定荷口數量ハ生繭重量ニ換算シタルモノヲ示ス

二、再檢定(繭檢定規則第五條第二項ノ規定ニ依ルモノ)件數及荷口數量

種別	春蠶		初秋蠶		晚秋蠶		合計
	白繭 (二十四中)	黄繭 (二十一中)	白繭 (二十四中)	黄繭 (二十一中)	白繭 (二十四中)	黄繭 (二十一中)	
合計							

備考 荷口數量ハ生繭重量ニ換算シタルモノヲ示ス

三、特別檢定及鑑定ノ件數並ニ荷口數量

種別	特別檢定		鑑定		特別檢定		鑑定	
	生繭	乾繭	生繭	乾繭	生繭	乾繭	生繭	乾繭
春蠶繭	件	件	件	件	貫	貫	貫	貫
初秋蠶繭	件	件	件	件	貫	貫	貫	貫
晚秋蠶繭	件	件	件	件	貫	貫	貫	貫
計								

備考 一、特別檢定トハ總荷口ト檢定供用繭トノ關聯ノ適確ヲ確認シ難キモノニシテ繭檢定規則第十條、第十一條及第十二條ノ規定ヲ準用シタルモノヲ謂フ

二、乾繭ノ特別檢定及鑑定荷口數量ハ生繭重量ニ換算シタルモノヲ示ス

四、檢定作業期間及日數

檢定	種別		春蠶期		初秋蠶期		晚秋蠶期		日數計
	期間	日數	期間	日數	期間	日數	期間	日數	

備考 春蠶繭檢定作業ハ 月 日ヨリ開始セリ

繭檢定所業務功程ニ關スル件

記載注意 一、作業期間ハ各蠶期ニ於ケル作業ノ最盛期ニ付記載スルコト

五、研究及調査

研究及調査項目

經過ノ概要

(三) 成績ノ概要

記載注意 一、項目別ニ記載スルコト

二、助成金ノ交付ヲ受ケタル研究及調査ニ付テハ(一)ノミヲ記載シ其ノ旨附記スルコト

六、其ノ他

(一) 講習、講話、傳習等

記載注意(期間、會場、人員、科目等ヲ記載スルコト)

(二) 受託試験繰絲

記載注意(件数、原料繭數量、生産生絲數量等ヲ記載スルコト)

檢定成績概要

一、生繭檢定

(一) 春蠶繭

項目	白繭 (件)				黄繭 (件)			
	最多	最少	平均	均	最多	最少	平均	均
選除繭歩合	%	%	%	%	%	%	%	%

目的織度 「デニール」

小類	繭ノ整齊度	解舒絲長	解舒率	繭絲織度	生絲量歩合	綠絲量	良		稍劣		並		良		稍劣		並			
							件	米	%	デニール	%	瓦	點	件	米	%	デニール	%	瓦	點

記載注意 一、白繭ハ目的織度別ニ取纏ノコト

二、様式ハ以下同シ

(三)(二) 初秋蠶繭
晚秋蠶繭

二、乾繭檢定

記載注意(様式ハ生繭檢定ニ準ズ)

備考 本成績中ニハ再檢定成績ヲ含マズ

檢定成績表

一、生繭檢定

繭檢定所業務功程ニ關スル件

(一) 春蠶繭

檢定 番號	蠶品 種名	荷口 數量	選除繭 歩合齊度	解舒 絲長	解舒 率	繭絲 織度	生絲 歩合量	繰絲 量	小類 點	綜合 點	繭格 等	備 考
			%	米	%	テニ ル	%	瓦	點	點	等	

記載注意 一、備考欄ニ準檢定ヲ受ケタルモノニ在リテハ其ノ事由ヲ、特殊事情ノ荷口ニ在リテハ其ノ事情ヲ記

載スルコト

二、様式ハ以下同ジ

(三)(二)
初秋蠶繭
晚秋蠶繭

二、乾繭檢定

記載注意

一、備考欄ニ準檢定又ハ再檢定ヲ受ケタルモノニ在リテハ其ノ事由ヲ、特殊事情ノ荷口ニ在リテハ其ノ事情ヲ記載スルコト
二、様式ハ生繭檢定ニ準ズ

二 繭價協定委員會關係規則

繭價協定委員會設置助成ニ關スル件

昭和十二年四月一日附一二蠶局
第五二〇號蠶絲局長通牒

繭取引ト公正圓滑ヲ圖ル爲昭和十年年度ヨリ道府縣ノ繭價協
定委員會ノ設置ヲ助成シ以テ之ガ適正ナル運用ノ助長ニ務
メツツアリタル處爾今右助成金ノ交付ニ付テハ別紙要項ニ
依リ處理致シ度候條御了知相成度此段及通牒候也

繭價協定委員會設置助成要項

第一 助成金ハ繭價協定委員會ノ會議費、調査費、手當、
旅費及雜費ニ對シ之ヲ交付シ助成金ノ額ハ其ノ二分ノ一
以內トスルコト

第二 助成スベキ繭價協定委員會ハ道府縣一圓ノ繭ノ取引
ニ適用スル目的ヲ以テ標準掛目ノ協定及其ノ適用ニ必要
ナル事項ノ調査及審議ヲ爲スモノトシ特別ノ事情ナキ限
リ主トシテ蠶絲關係者ヲ以テ構成シ取引當事者ノ利益ヲ
公平ニ代表シ得ル組織ノモノタルコト

第三 申請書ニハ左ノ書類ヲ添附シ毎年二月末日（昭和十
二年度ニ限り五月三十一日）迄ニ農林大臣ニ提出スルコ
ト

一 事業計畫書

繭價協定委員會設置助成ニ關スル件

二 經費豫算書
三 委員會ニ關スル規程（繭價協定委員會規程、同細則
等）

第四 事業計畫書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコト

(一) 目的及組織

(二) 調査審議スベキ事項

(三) 繭價決定ノ方法

(四) 開會ノ時期

第五 經費豫算書ハ左ノ様式ニ依ルコトトシ、備考欄ニハ
其ノ算出ノ基礎ヲ記載スルコト尙手當及旅費ニ關スル規
程アル場合ニ於テハ之ヲ添附スルコト

種目	金額	備考
會議費	圓	
調査費		
手當		
旅費		
雜費		
計		

繭價協定委員會關係規則

- 第六 第三ノ添附書類ニ記載シタル事項ニ變更ヲ加ヘタルトキハ其ノ理由ヲ具シ農林大臣ニ報告スルコト
- 第七 委員會終了シタルトキハ遲滞ナク其ノ報告書ヲ提出スルコト
- 前項ノ委員會報告書ニハ左ノ事項ヲ記載シ配付參考資料アル場合ニ於テハ之ヲ添附スルコト
- (一) 開會ノ日時及場所
- (二) 出席シタル委員ノ氏名及其ノ利益代表關係
- (三) 審議ノ經過概要
- (四) 協定シタル事項
- 第八 助成金ノ交付ヲ受ケタルトキハ翌年度六月三十日迄ニ事業成績書及經費決算書ヲ農林大臣ニ提出スルコト
- 第九 事業成績書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコト
- (一) 開會ノ回数及月日
- (二) 調査ノ概要
- (三) 協定シタル事項ノ要領
- (四) 標準掛目ニ依リタル蠶期別及處理方法別繭ノ取引數量
- 第十 經費決算書ハ左ノ様式ニ依ルコト

協定委員會助成要項第七ノ報告ニ關シ委員會ニ於テ生絲生産費及生絲價格ニ關スル事項ガ附議セラレ又ハ決定セラレタル場合ハ審議經過ト共ニ其ノ内容ニ關シ左記事項可成詳細ニ報告相成度此段及通牒候也

- 一、生絲生産費（百斤當）ニ關スル事項
 - (一) 生産費金額
 - (二) 生産費算出ノ基礎
 - (三) 一定ノ絲格ニ對スルモノニ在リテハ其ノ絲格並其ノ絲格ヲ決定シタル理由
 - (四) 副産物收入、利潤ノ取扱
 - (五) 其ノ他内容ヲ知ルニ足ル事項
- 二、生絲價格ニ關スル事項
 - (一) 基準生絲價格
 - (二) 採用絲格並其ノ決定理由
 - (三) 採用生絲相場
 - (四) 現物ニ在リテハ相場發表ノ機關名又ハ市場名
清算ニ在リテハ市場名、限月及節
 - (五) 生絲相場採擇ノ期間

繭價協定委員會報告ニ關スル件 日本中央蠶絲會繭掛目協定基準審議會規程 三六一

種目	豫算額	決算額	比較		備考
			増	減	
會議費	圓	圓	圓	圓	
調査費					
手當					
旅費					
雜費					
計					

第十一 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ既ニ交付シタル助成金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベキコト

- 一 本要項又ハ助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 二 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 三 決算額ガ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ

繭價協定委員會報告ニ關スル件

昭和十二年九月二十二日附一二蠶局第二〇二五號蠶絲局長通牒

昭和十二年四月一日附一二蠶局第五二〇號通牒ニ依ル繭價

(五) 基準生絲價格算出方法ノ概要

日本中央蠶絲會繭掛目協定基準審議會規程

- 第一條 繭掛目協定基準審議會ハ産繭ノ公正圓滑ナル取引ニ資スル爲繭掛目ノ基準及其ノ運用ニ關スル事項ヲ審議決定スルモノトス
- 第二條 審議會ハ會長、副會長、特別委員及委員ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第三條 特別委員ハ六名トシ内二名ヲ特別議員中ヨリ會長之ヲ指名シ四名及委員ハ左ノ配當數ニ依リ各會員ニ於テ之ヲ選任スルモノトス
 - 全國養蠶業組合聯合會 委員 六名
 - 全國製絲業組合聯合會 同 六名
 - 全國蠶種業組合聯合會 特別委員 一名
 - 全國産業組合製絲組合聯合會 同 一名
 - 生絲問屋業組合 同 一名
 - 生絲輸出業組合 同 一名
- 第四條 會員ハ其ノ選出シタル特別委員又ハ委員事故アル場合之ニ代ルベキ豫備委員ヲ選任スルモノトス
- 第五條 會長ハ委員會ノ會務ヲ總理シ會議ノ議長トナル